

トキメク、ミナトク。
TOKIMEKU MINATOKU

第6章

資料編



1 日本人港区来訪者調査

(1) 調査概要

インターネット調査により、10,000 サンプル以内でスクリーニング調査を行い、そのうち、1年以内に港区に来訪した旅行者を対象に調査を実施した。

900 サンプルの回答を得て集計・分析を行った。

(2) 調査手法

① 調査期間

令和4年11月1日～11月13日

② 調査対象者

1年以内に港区に来訪した日本人旅行者

③ サンプル数の設定

年代毎のサンプル数は均等とし、宿泊旅行者 700 サンプル、日帰り旅行者 200 サンプルの計 900 サンプル

※宿泊旅行者のサンプルの抽出に当たっては、関東地方在住者を除く。

④ 回収数

900 サンプル

宿泊旅行者（700 サンプル）、日帰り旅行者（200 サンプル）

(3) 報告書の見方

- ・各設問は記載がある問を除いて、基本的には単一回答である。
- ・調査結果の構成比率は、小数点第2位を四捨五入したものを記入しているため、構成比の合計が100%とならない場合がある。
- ・回答数が小さいもの(n=30未満)は、比率が上下しやすいため、表・グラフのみを参考として示すにとどめる。
- ・割合の表記は、以下のとおりとしている。

割合 (%)	表記
20.0～20.4	2割
20.5～20.9	約2割
21.0～23.9	2割を超える
24.0～26.4	2割半ば
26.5～28.9	3割近く
29.0～29.4	約3割
29.5～29.9	3割

(4) 回答者の属性

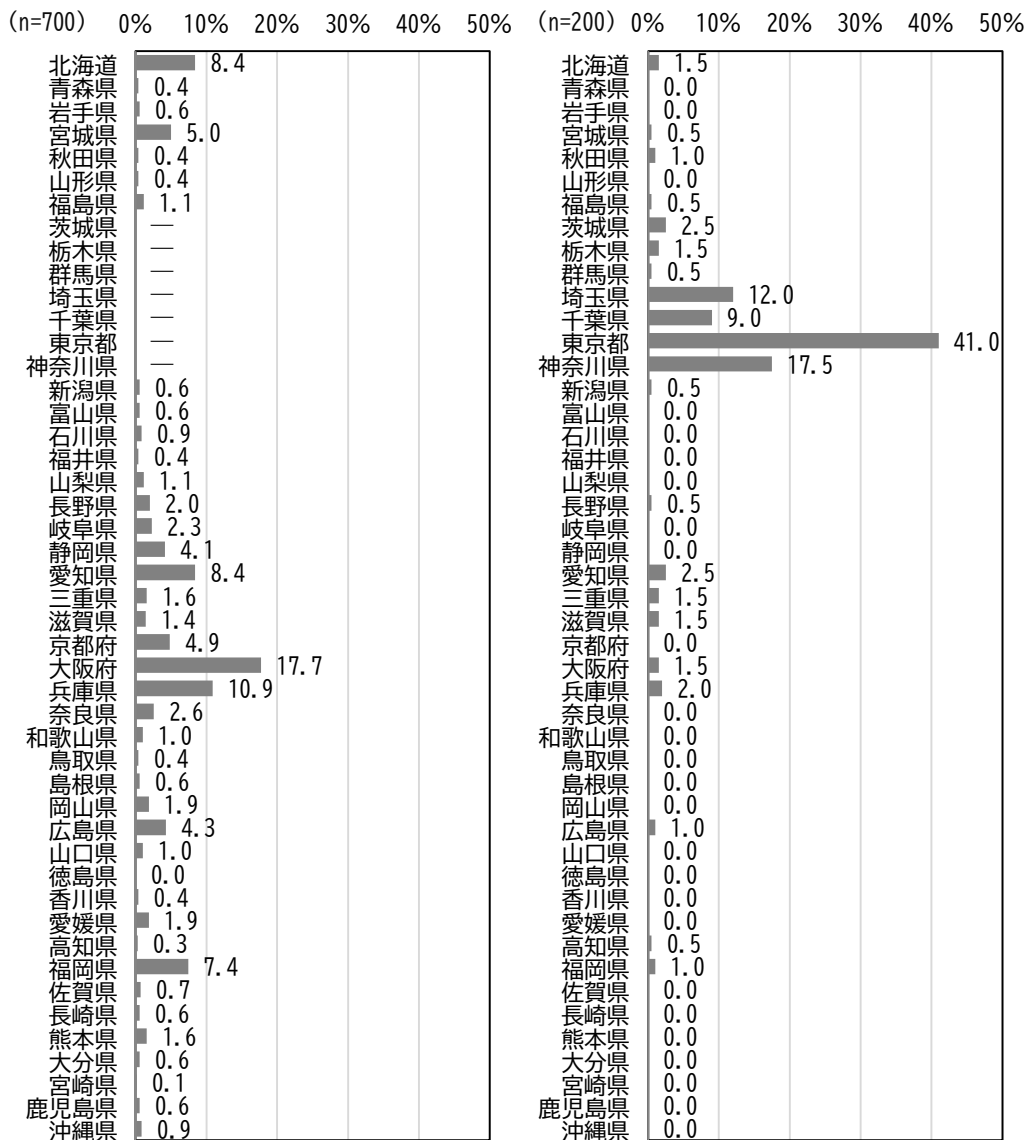
あなたの居住地（都道府県）を教えてください。

【居住地（47 都道府県）】

宿泊旅行者の居住地は、「大阪府」（17.7%）が2割近くで最も高く、次いで「兵庫県」（10.9%）、「北海道」、「愛知県」（各 8.4%）である。

日帰り旅行者は、「東京都」（41.0%）が4割を超えて最も高く、次いで「神奈川県」（17.5%）である。

居住地（左：宿泊旅行者、右：日帰り旅行者）



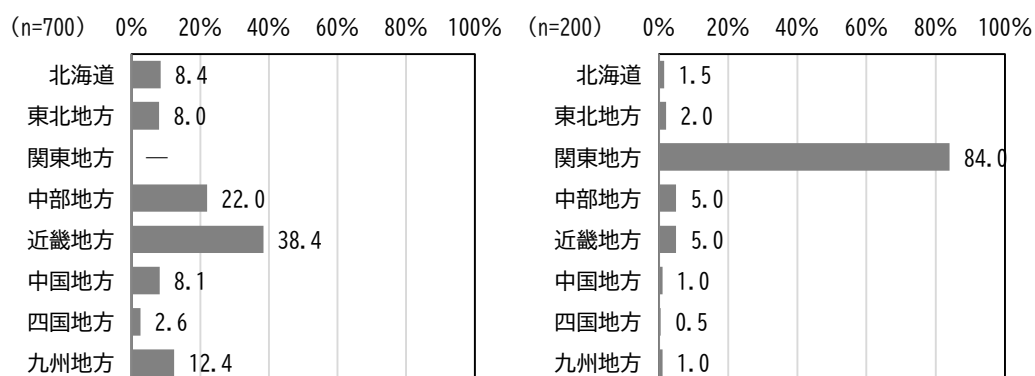
(注) 宿泊旅行者について、関東地方在住者は対象外のため「—」表示（以下、同様）。

【居住地（8地方区分）】

宿泊旅行者の居住地は、「近畿地方」（38.4%）が4割近くと最も高く、次いで「中部地方」（22.0%）である。

日帰り旅行者は、「関東地方」（84.0%）が8割半ばと最も高く、次いで「中部地方」、「近畿地方」（各5.0%）である。

8地方区分別の居住地（左：宿泊旅行者、右：日帰り旅行者）



(5) 調査結果

あなたが過去1年以内（令和3年11月～令和4年10月）に、旅行で港区を訪れた回数を、日帰りと宿泊、それぞれお答えください。

【過去1年以内の港区内へのお出かけ回数（日帰り／宿泊）】

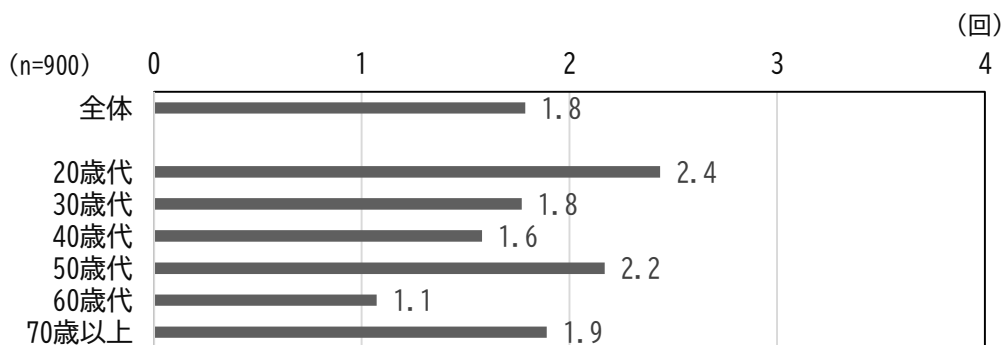
日帰りは、全体で平均1.8回である。

年代別で見ると、「20歳代」（2.4回）が最も多く、次いで「50歳代」（2.2回）である。

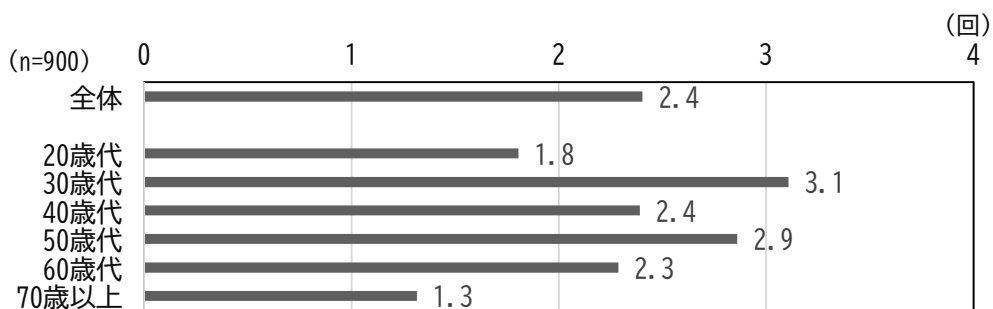
宿泊は、全体で平均2.4回である。

年代別で見ると、「30歳代」（3.1回）が最も多く、次いで「50歳代」（2.9回）である。

港区への平均旅行回数（日帰り）



港区への平均旅行回数（宿泊）



来訪時の主な目的をお答えください。

【来訪時の主目的】

全体では、「買い物・飲食」（30.7%）が約3割で最も高く、次いで「その他」（19.4%）、「行祭事・イベント見物」（14.9%）である。なお、「その他」をみると、友人・知人らとの交流、仕事を挙げる回答が多い。

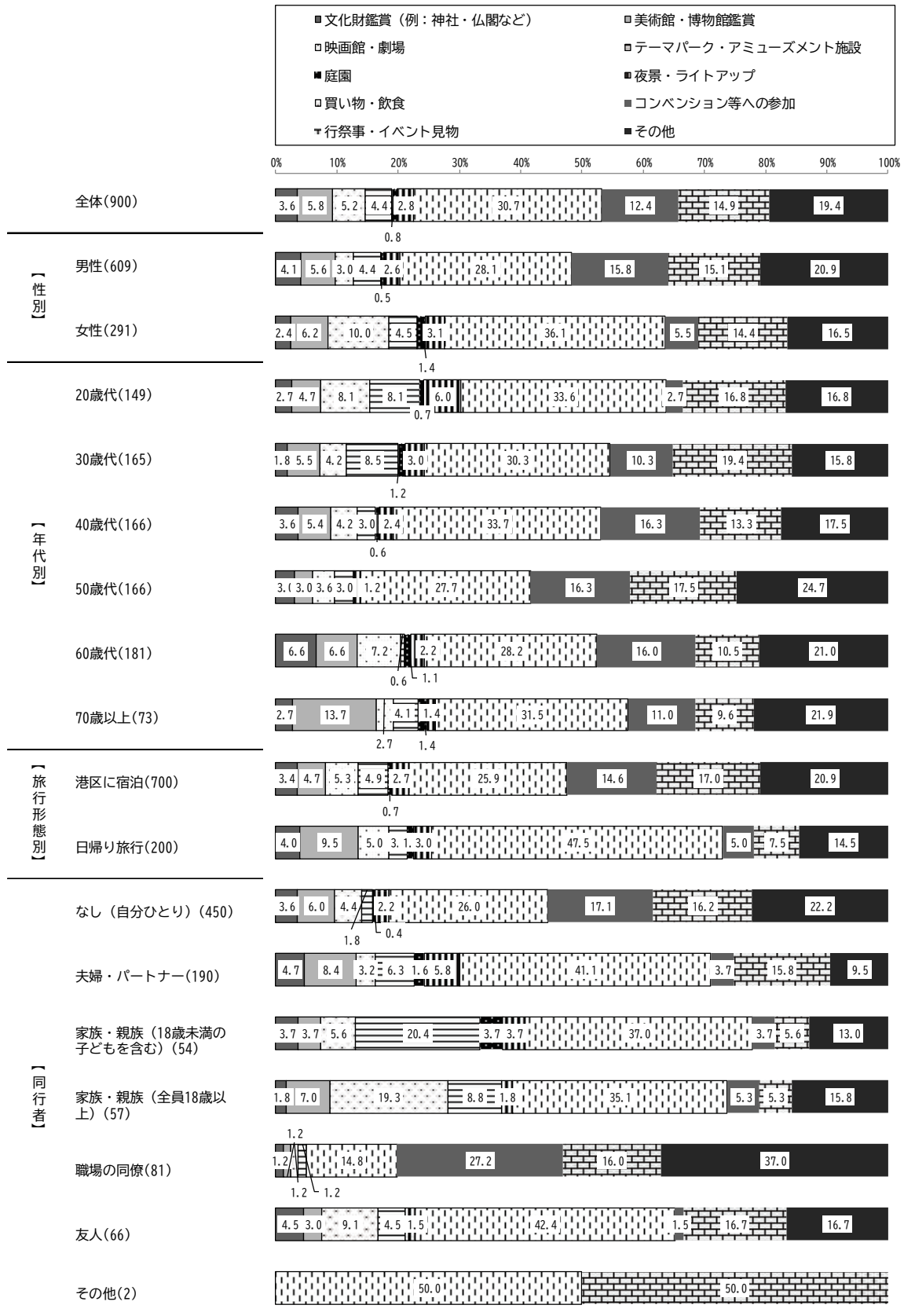
性別で見ると、男女ともに「買い物・飲食」（28.1%、36.1%）が最も高い。

年代別で見ると、全ての年代で「買い物・飲食」が最も高い。

旅行形態別で見ると、いずれも「買い物・飲食」が最も高いが、特に「日帰り旅行」は47.5%と全体（30.7%）より10ポイント以上高い。

同行者別で見ると、「職場の同僚」を除いて「買い物・飲食」が最も高い。「職場の同僚」は「その他」（37.0%）が最も高く、次いで「コンベンション等への参加」（27.2%）である。

来訪時の主目的



港区内の旅行中のそれぞれの費用（消費額）をお答えください。（概ね千円単位）

【港区での観光消費額】

観光消費額全体の合計金額は 38,707 千円、平均金額は 43 千円である。

使途別に全体の平均金額をみると、「宿泊費」（22 千円）と最も高く、次いで「飲食費」（13 千円）である。

観光消費額全体の平均金額において、性別でみると、「男性」が 41 千円、「女性」が 47 千円である。年代別でみると、「60 歳代」が 50 千円と最も高くなっている。

港区での観光消費額

宿泊費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		694	15,005	22
旅行形態別	日帰り	0	0	0
	宿泊	694	15,005	22
飲食費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		896	11,317	13
旅行形態別	日帰り	200	1,383	7
	宿泊	696	9,934	14
施設入場料		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		886	2,229	3
旅行形態別	日帰り	200	282	1
	宿泊	686	1,947	3
ショッピング		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		897	7,511	8
旅行形態別	日帰り	200	1,181	6
	宿泊	697	6,330	9
交通費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		880	2,646	3
旅行形態別	日帰り	199	285	1
	宿泊	681	2,361	3
観光消費額計		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		899	38,707	43
性別	男性	608	24,986	41
	女性	291	13,722	47
年代別	20歳代	149	5,179	35
	30歳代	165	7,434	45
	40歳代	165	6,737	41
	50歳代	166	7,430	45
	60歳代	181	8,976	50
	70歳以上	73	2,951	40
旅行形態別	日帰り	200	3,131	16
	宿泊	699	35,576	51

(注)「(平均金額) ± 3 × (標準偏差)」にて算出した金額を上回る特異値を除外した上で、観光消費額を算出している。また、千円未満を四捨五入しているため、全体の値と費目の積み上げ値が一致しない場合がある。

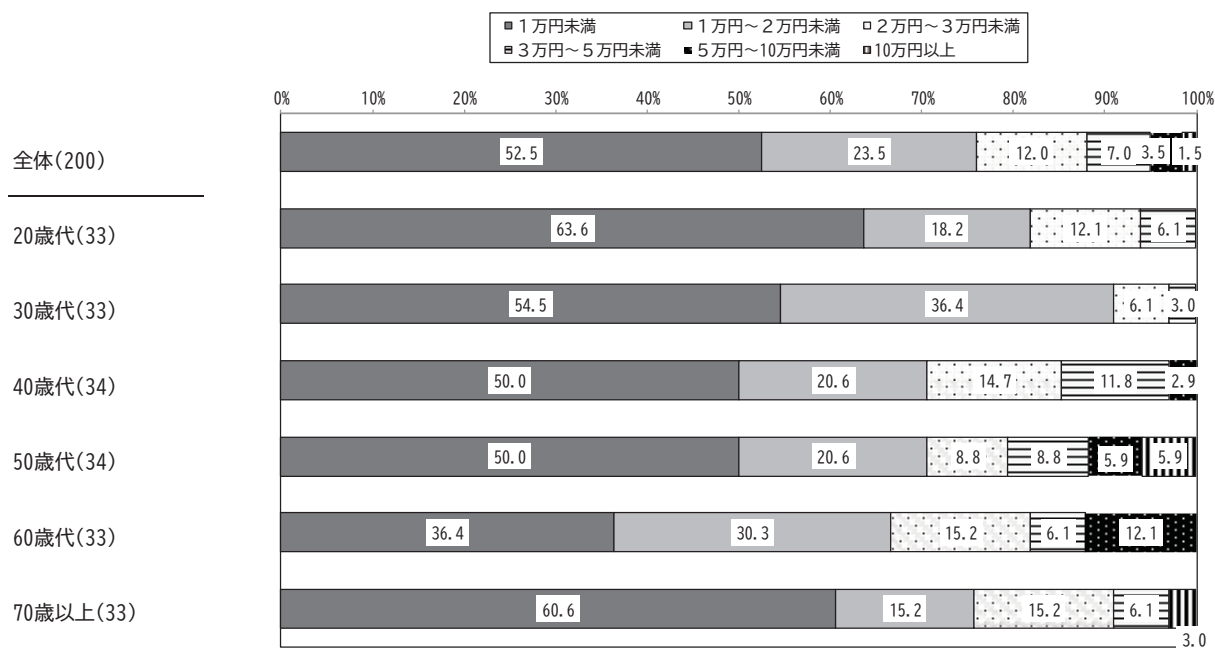
【観光消費額の分布】

(日帰り)

全体では、「1万円未満」(52.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「1万円～2万円未満」(23.5%)が2割を超える。

年代別で見ると、「50歳代」は「10万円以上」(5.9%)が他の年代と比べて割合が高い。

観光消費額と分布 (日帰り、年代別)

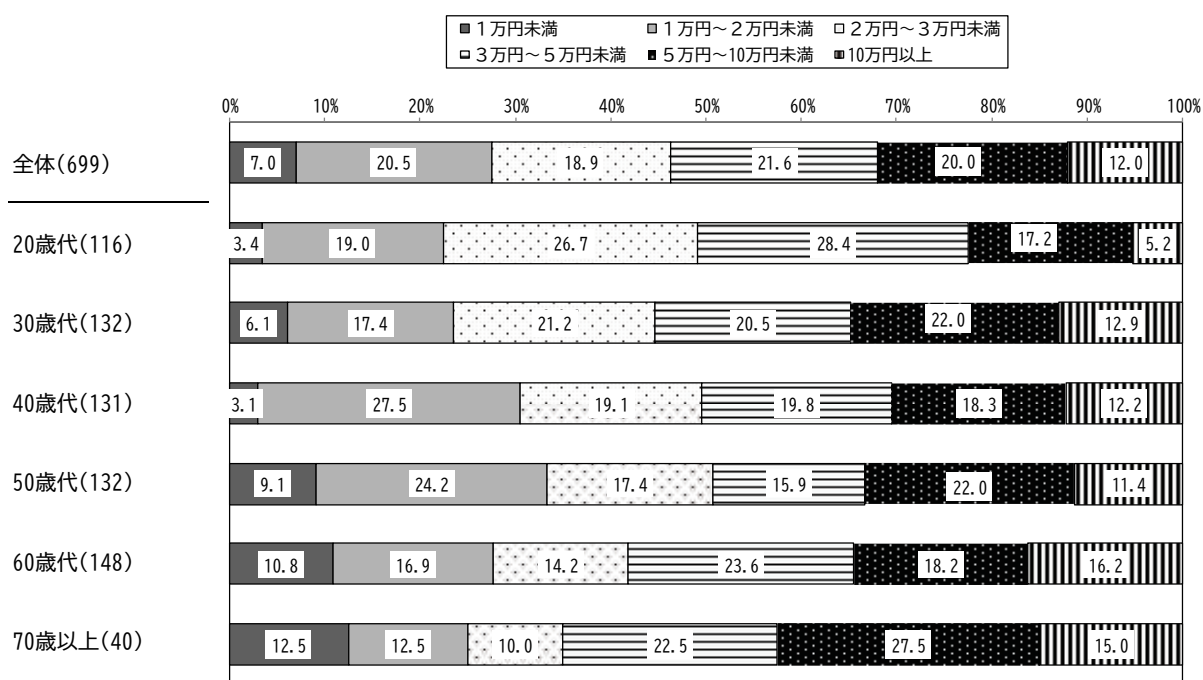


(宿泊)

全体では、「3万円～5万円未満」(21.6%)が2割を超えて最も高く、次いで「1万円～2万円未満」(20.5%)が約2割である。

年代別でみると、「60歳代」は「10万円以上」(16.2%)が他の年代と比べて最も割合が高い。

観光消費額と分布 (宿泊、年代別)



港区が提供する観光情報の内容に対する満足度はどれくらいですか。

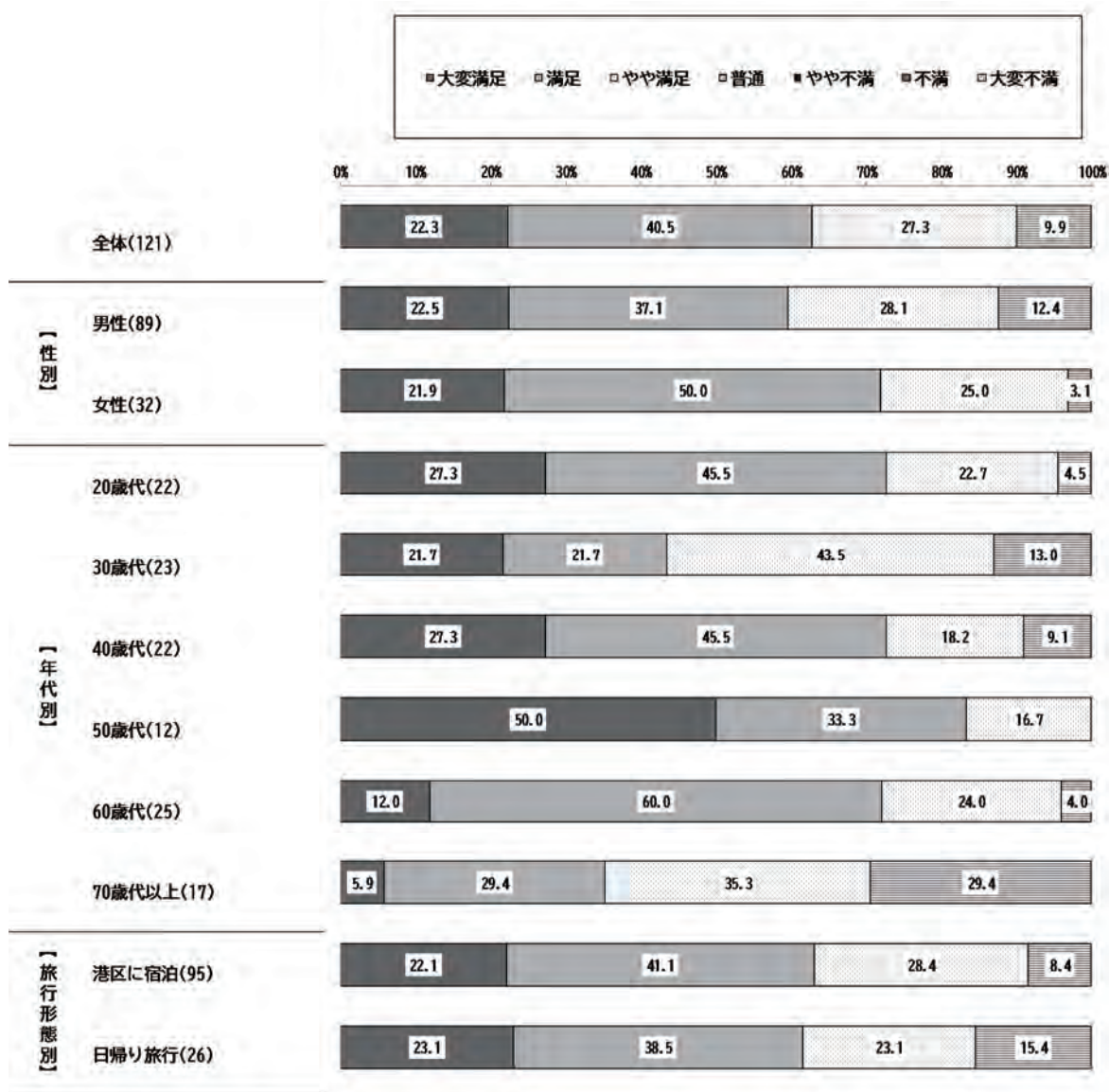
【観光情報の内容に対する満足度】

全体では、「満足」（40.5%）が約4割と最も高く、次いで「やや満足」（27.3%）、「大変満足」（22.3%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（90.1%）は9割である。

性別でみると、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』は男性が87.7%、女性は96.9%である。

旅行形態別でみると、「港区に宿泊」は「満足」（41.1%）が4割を超えて最も高く、次いで「やや満足」（28.4%）、「大変満足」（22.1%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（91.6%）は9割を超える。

観光情報の内容に対する満足度



交通アクセスの状況はいかがでしたか。

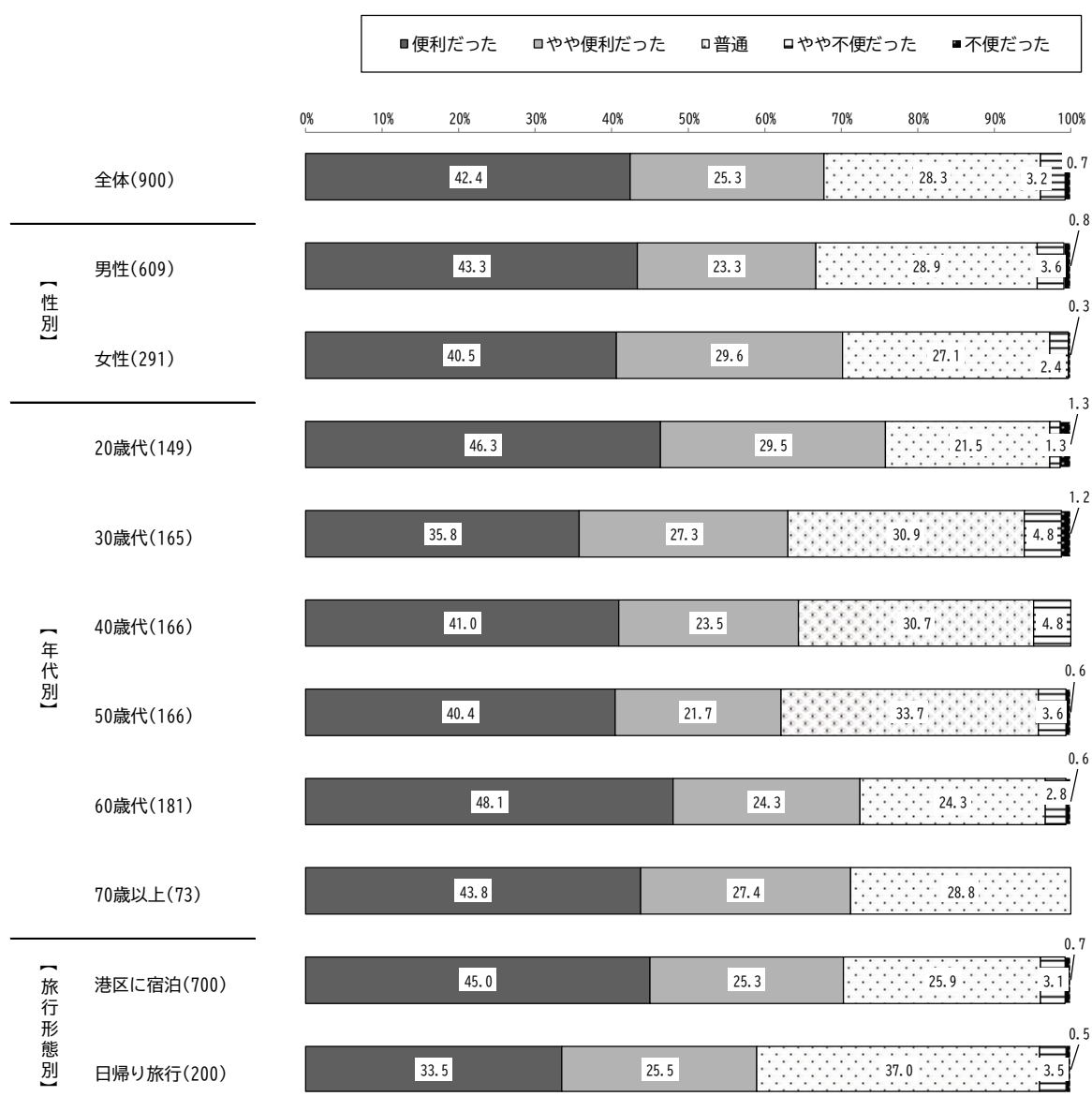
【交通アクセスの満足度】

全体では、「便利だった」(42.4%)が4割を超えて最も高く、次いで「普通」(28.3%)である。「便利だった」及び「やや便利だった」を合わせた『便利だった』(67.7%)は7割近い。

年代別でみると、「便利だった」がどの年代においても最も高い。

旅行形態別でみると、「港区に宿泊」が「便利だった」(45.0%)、「日帰り旅行」は「普通」(37.0%)が最も高い。

交通アクセスの満足度



2 観光関連施設等における観光客対応状況調査

(1) 調査概要

区内の宿泊施設、観光・文化関連施設、商業施設、飲食関連施設、物品販売関連施設を対象に、調査票を郵送し調査を実施した。

244 サンプルの回答を得て集計・分析を行った。

サンプル回収後、主要な施設（8施設）には、具体的な対応状況について、訪問又はオンライン形式によりヒアリングを実施した。

(2) 調査手法

① 調査期間

令和4年11月14日～12月20日

② 調査対象施設

区内の宿泊施設、観光・文化関連施設(美術館・博物館・主要建築物・アミューズメント施設等)、商業施設、飲食関連施設(和洋菓子・パン等の食品製造業を含む)、物品販売関連施設(家電・薬品等の量販店を含む)

③ サンプル数の設定

宿泊施設(70サンプル以上)、観光・文化関連施設(50サンプル以上)、商業施設(10サンプル以上)、飲食関連施設(70サンプル以上)、物品販売関連施設(30サンプル以上)

④ 回収数

244 サンプル(種別不明1施設を含む)

宿泊施設(51サンプル)、観光・文化関連施設(52サンプル)、商業施設(14サンプル)、飲食関連施設(89サンプル)、物品販売関連施設(37サンプル)

⑤ 個別ヒアリング

上記、回答を得た施設から個別にヒアリングを行った。

宿泊施設(1施設)、観光・文化関連施設(2施設)、商業施設(2施設)、飲食関連施設(1施設)、物品販売関連施設(2施設)

(3) 報告書の見方

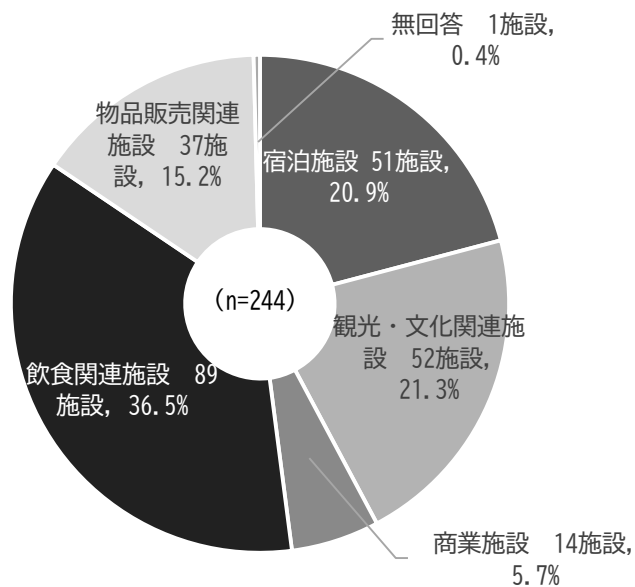
- ・調査結果の構成比率は、小数点第2位を四捨五入したものを記入しているため、構成比の合計が100%とならない場合がある。
- ・回答数が小さいもの(n=30未満)は、比率が上下しやすいため、表・グラフのみを参考として示すにとどめる。
- ・施設種別に調査票が異なるため、一部設問の設問番号が重複している場合がある。
- ・割合の表記は、次のとおりとしている。

割合 (%)	表記
20.0～20.4	2割
20.5～20.9	約2割
21.0～23.9	2割を超える
24.0～26.4	2割半ば
26.5～28.9	3割近く
29.0～29.4	約3割
29.5～29.9	3割

(4) 回答施設の属性

それぞれの施設種別の回答件数及び構成比は以下のとおりである。

対象施設の件数及び構成比（種別）



(5) 調査結果

過去1年間（令和3年10月～令和4年9月）で貴所に来訪されたお客様の人数（概数）をお答えください。そのうち、外国人が占める割合を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

【来訪者数】

来訪者数の判明している194施設から、直近1年間の来訪者数を聞いたところ、回答を得た施設の平均は、年間166,555人である。

来訪者数平均は、観光・文化関連施設が最も大きい。

直近1年間の来訪者数

	平均人数	最大人数（注1）	合計	回答施設数
全体	166,555	-	32,311,624	194
宿泊施設	36,732	168,623	1,652,941	45
観光・文化関連施設	219,710	1,439,081	9,447,517	43
商業施設	1,789,654	10,000,000	16,106,885	9
飲食関連施設	15,660	170,000	1,017,902	65
物品販売関連施設	131,737	1,200,000	4,083,840	31

（注1）各種別で来訪が最大の施設の来訪者数

（注2）施設種別の「無回答」（n=1）があるため、回答施設数を足し上げて、全体（n=194）と一致しない。

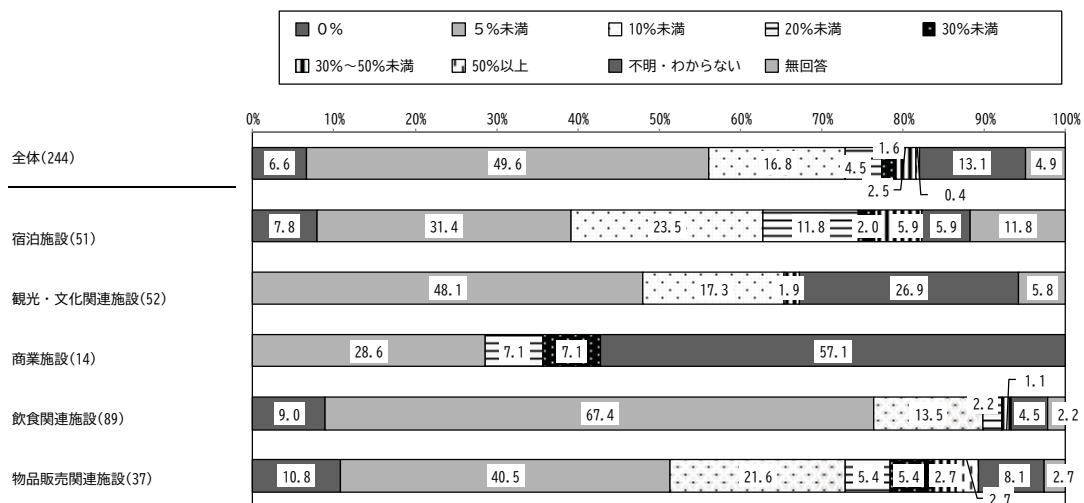
【外国人の来訪割合】

全体では、「5%未満」（49.6%）が最も高い。

施設種別でみると、「20%未満」は宿泊施設（11.8%）が最も高い。

ただし、観光・文化関連施設と商業施設（観光・文化関連施設は26.9%、商業施設は57.1%が「不明・わからない」と回答）は、必ずしも外国人の割合が把握できていない。

外国人の来訪割合



（注）施設種別の「無回答」を除外しているため、カッコ内の数値を足し上げて、全体（n=244）と一致しない場合がある（以降、同様）。

貴所（あるいは貴グループ）のホームページは、日本語以外のページがありますか。（あてはまるもの1つに○）
 <本問で「外国語のページがある」と回答した施設>
 日本語のページ以外は何語がありますか。（あてはまるものすべてに○）

【ホームページの外国語対応】

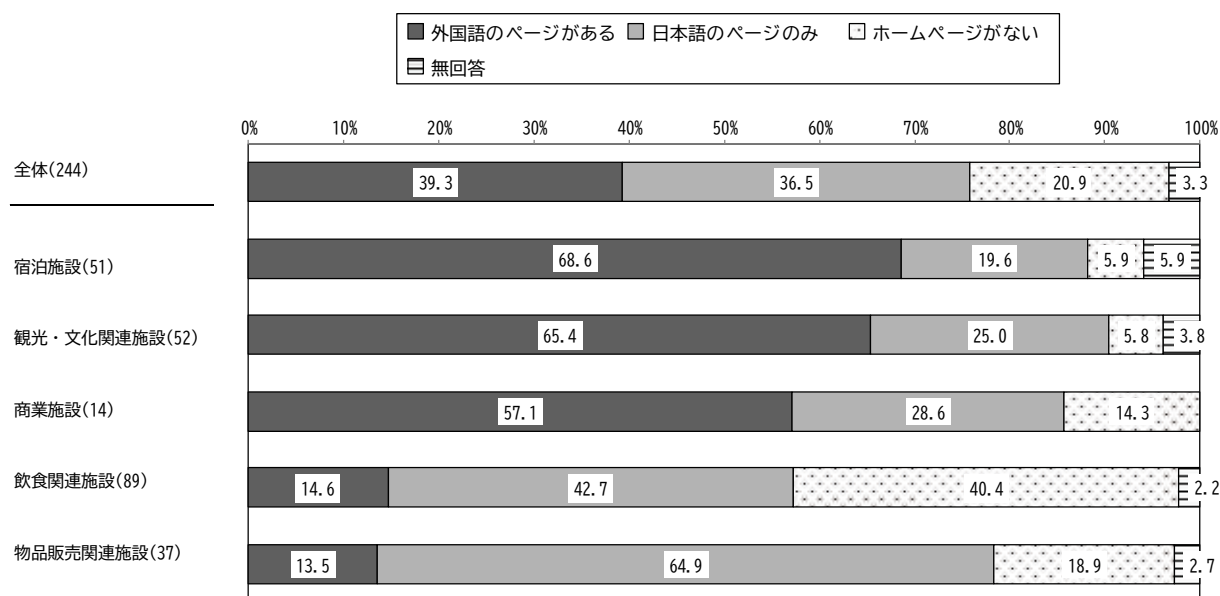
全体では、「外国語のページがある」（39.3%）が最も高く、次いで「日本語のページのみ」（36.5%）である。

施設種別でみると、「外国語のページがある」は宿泊施設（68.6%）が最も高く、次いで観光・文化関連施設（65.4%）である。

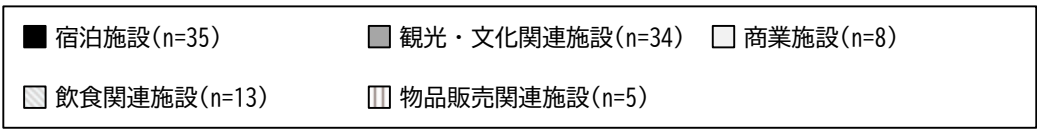
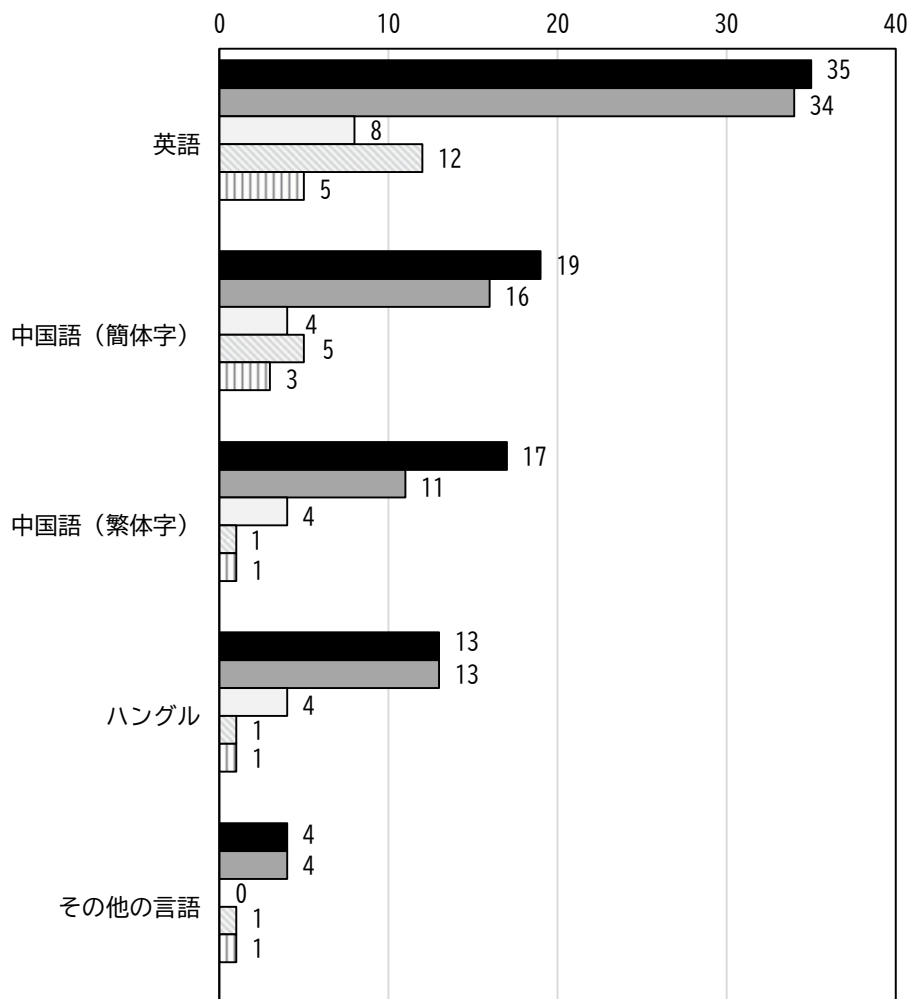
ホームページの使用言語は、「英語」が94件と最も多く、「外国語のページがある」と答えた施設の98.9%である。次いで「中国語（簡体字）」が47件、「中国語（繁体字）」が34件である。

「その他の言語」として、「フランス語」、「スペイン語」、「イタリア語」、「タイ語」等が挙げられた。

ホームページの外国語対応



ホームページの使用言語（施設種別：件数）



SNSでの情報発信を多言語で行っていますか。(あてはまるもの1つに○)
 <本問で「外国語でもSNSでの情報発信をしている」と回答した施設>
 ・外国語での情報発信は何語を使用していますか。(あてはまるものすべてに○)
 ・外国語での情報発信をしているSNSは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【SNSでの多言語発信状況】

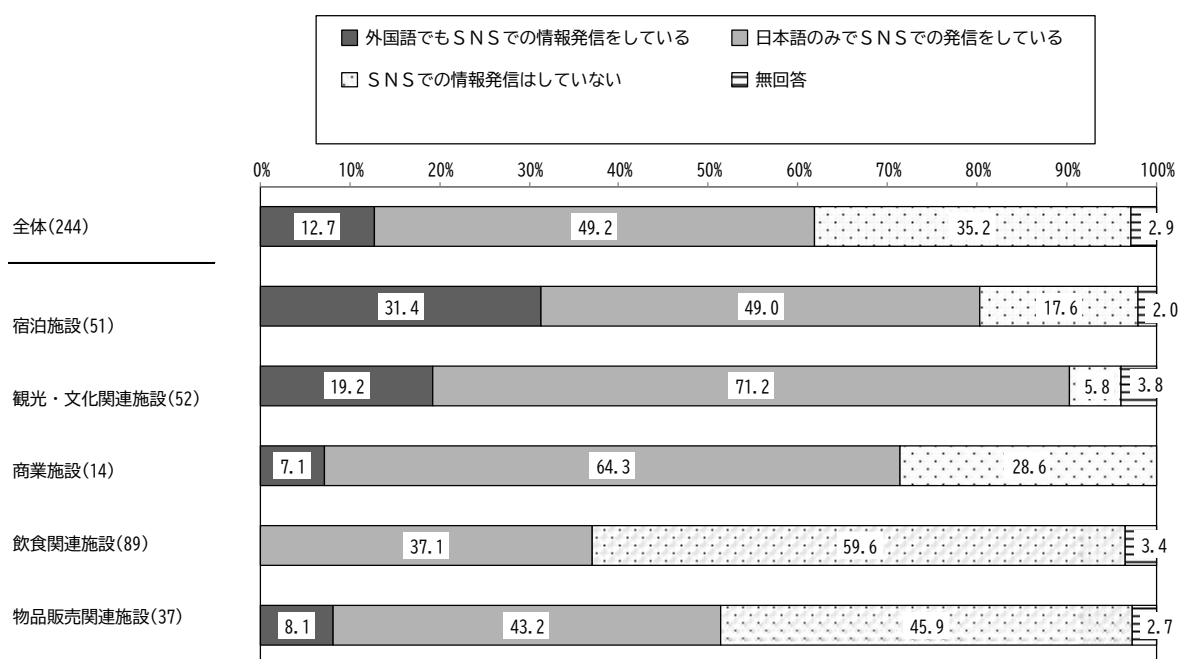
全体では、「日本語のみでSNSでの発信をしている」(49.2%)が最も高く、次いで「SNSでの情報発信はしていない」(35.2%)である。

施設種別でみると、「外国語でもSNSでの情報発信をしている」は宿泊施設(31.4%)が最も高く、次いで観光・文化関連施設(19.2%)である。

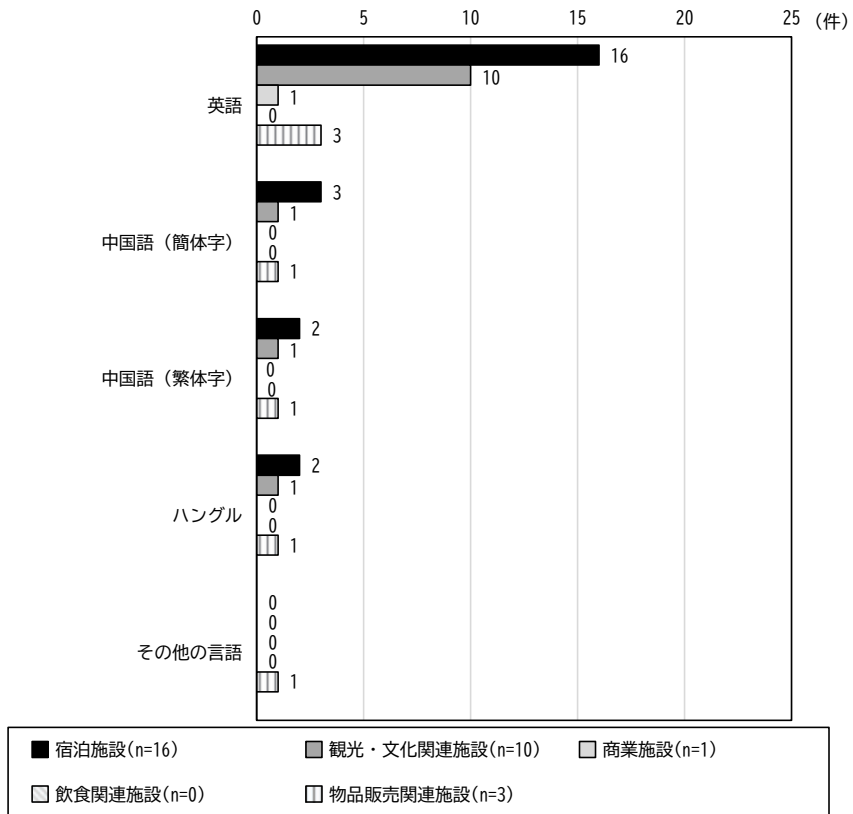
SNSの使用言語は、「英語」が30件と最も多く、次いで「中国語(簡体字)」が5件である。

情報発信をしているSNSの種類は、「Instagram」が21件と最も多く、次いで「Facebook」が19件である。

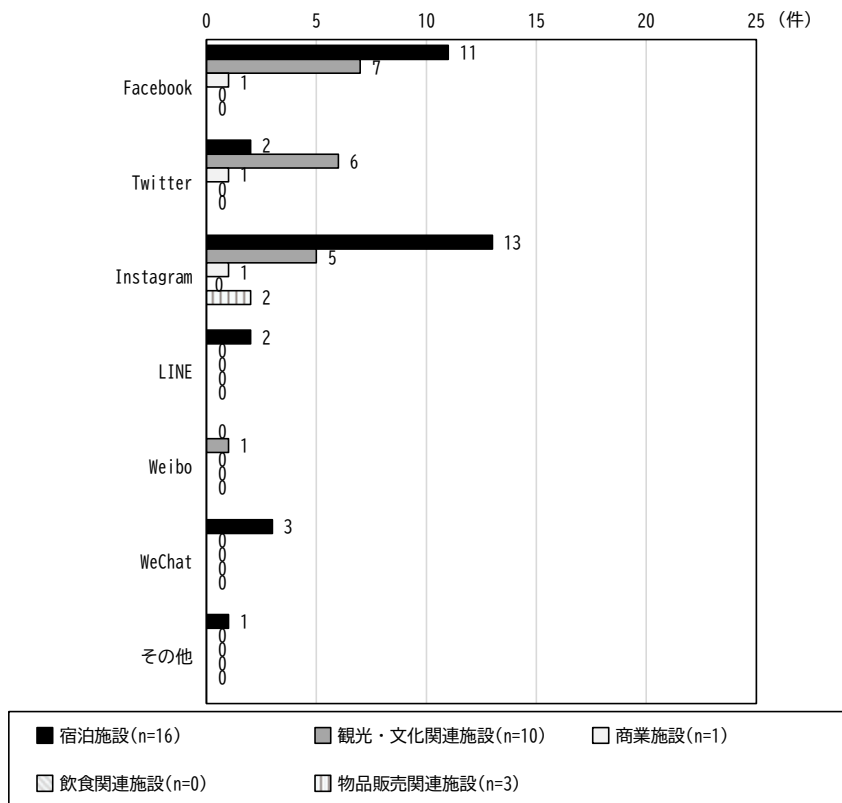
SNSでの多言語発信状況



SNSの使用言語（施設種別）



SNSの種類（施設種別）



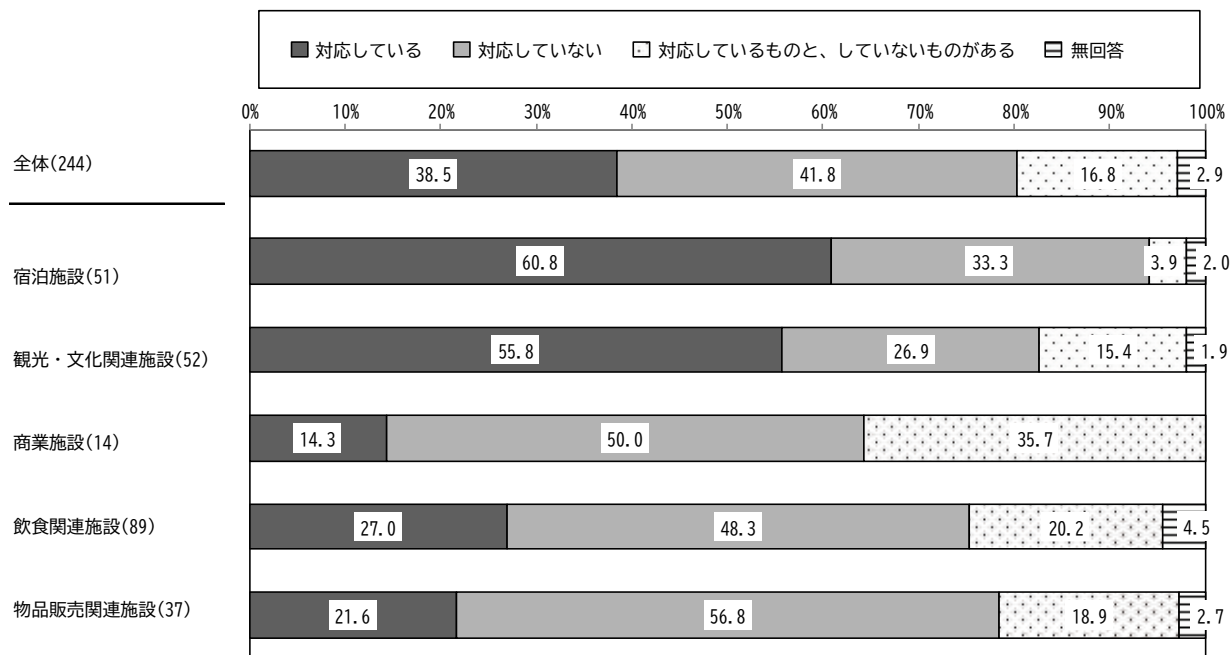
パンフレット、リーフレット、お店のチラシ、店内のメニュー（飲食関連施設の場合）は多言語対応されていますか。（あてはまるもの1つに○）
 <本問で「している」「しているものと、していないものがある」と回答した施設>
 ・何語のパンフレット、リーフレット、お店のチラシ等を作成していますか。（あてはまるものすべてに○）

【印刷物の多言語対応】

全体では、「対応していない」（41.8%）が最も高く、次いで「対応している」（38.5%）である。

施設種別でみると、「対応している」と「対応しているものと、していないものがある」を合わせた『対応している』は、観光・文化関連施設（71.2%）、宿泊施設（64.7%）である。

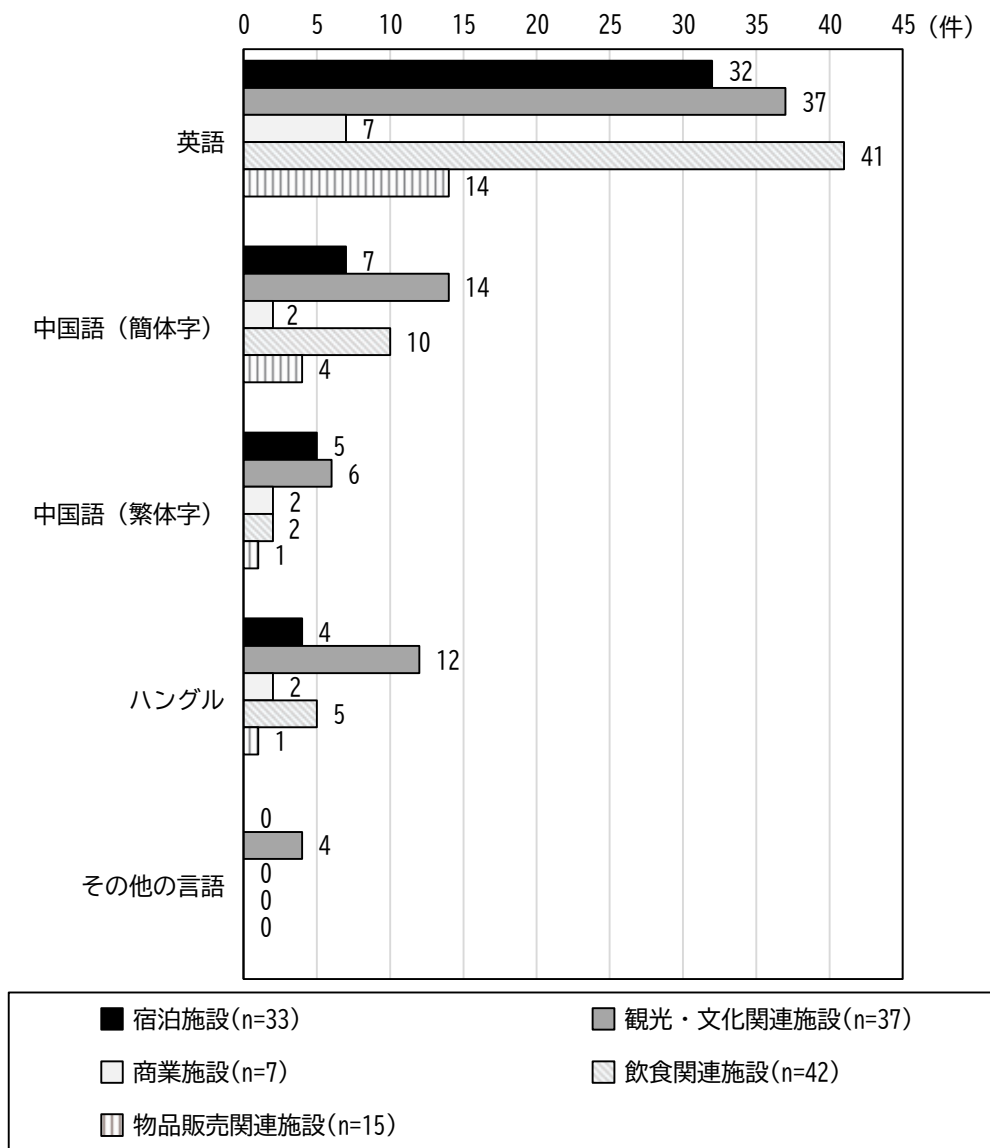
印刷物の多言語対応



【印刷物の多言語対応（言語別）】

パンフレット、メニュー等に使われる言語は、「英語」が131件と最も高い。英語・中国語・ハングル以外に「その他」の回答として、「フランス語」、「スペイン語」、「タイ語」が挙げられた。

印刷物の使用言語（施設種別）



多言語でのコミュニケーションに際して、どのようなツールを利用していますか。
(あてはまるものすべてに○)

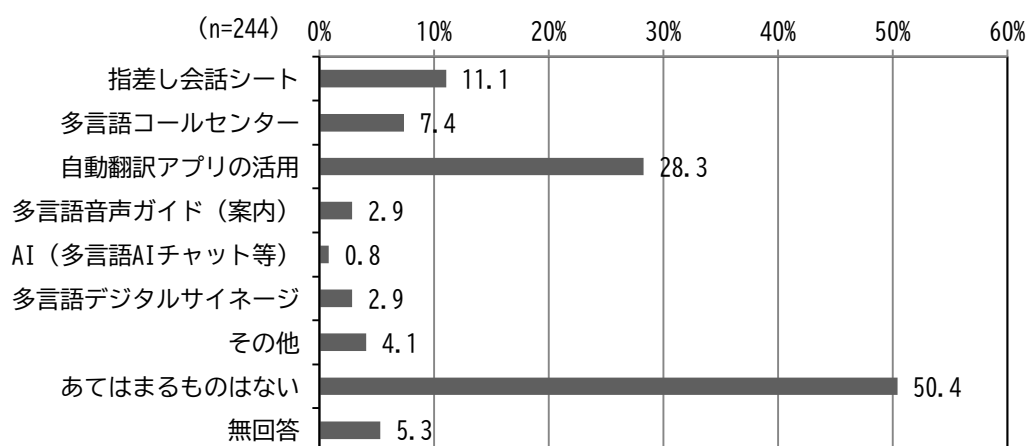
【コミュニケーションツールの利用】

全体では、「あてはまるものはない」を除くと、「自動翻訳アプリの活用」(28.3%)が最も高く、次いで「指差し会話シート」(11.1%)である。

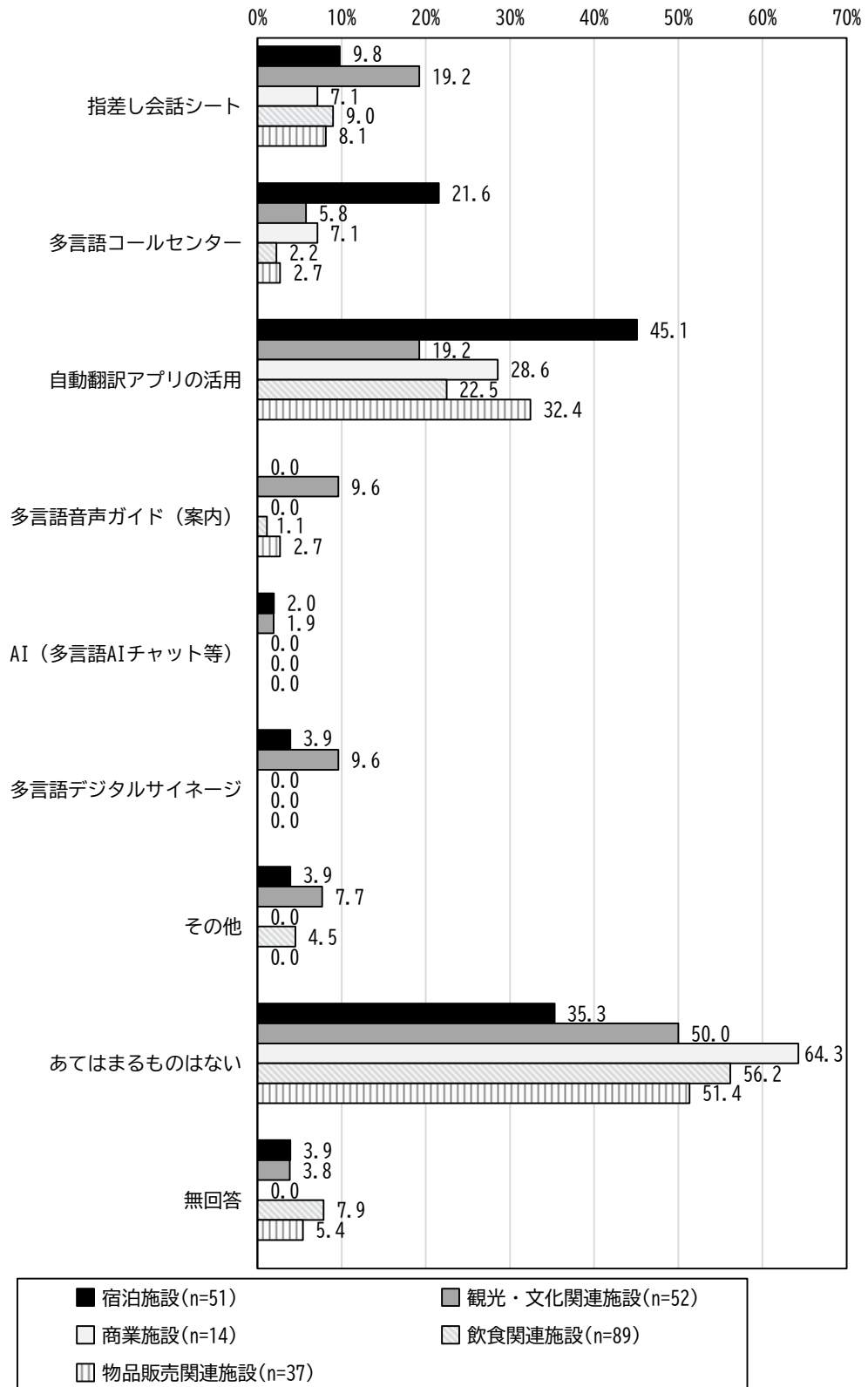
施設種別でみると、「自動翻訳アプリの活用」は宿泊施設(45.1%)での利用割合が最も高い。

「その他」の回答の中では、「ポケットーク」、「Google 翻訳」等が挙げられた。

コミュニケーションツールの利用 (全体)



コミュニケーションツールの利用（施設種別）

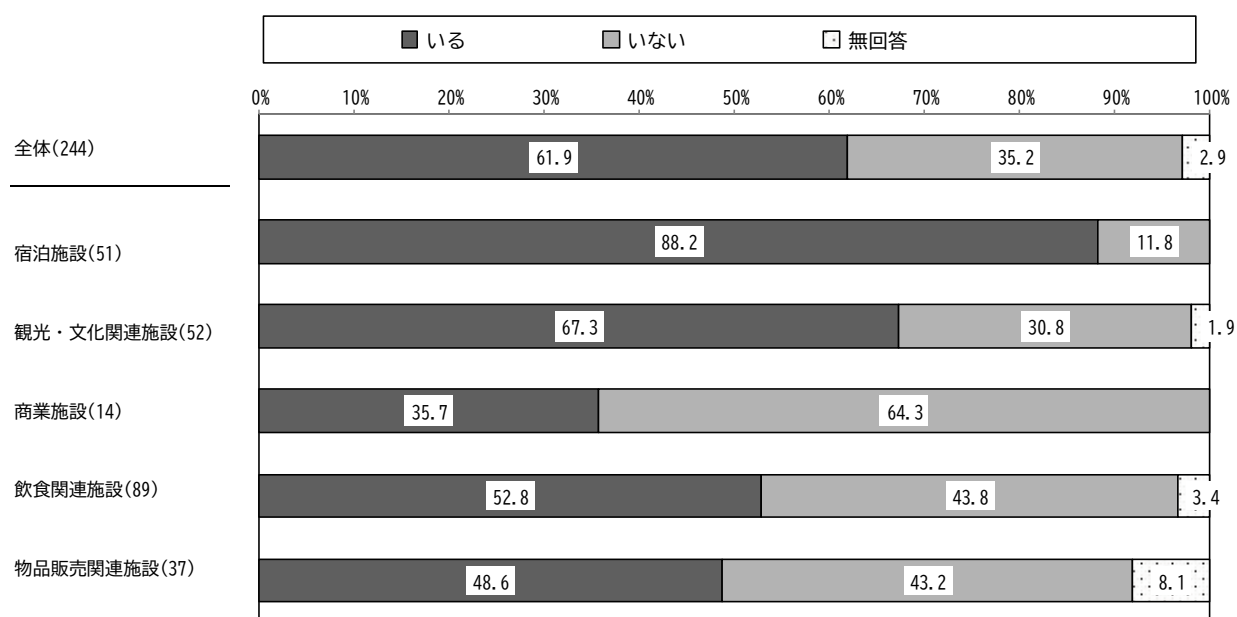


外国語を話せるスタッフはいますか。（あてはまるもの1つに○）
 <本問で「いる」と回答した施設>
 ・何語を話せるスタッフはいますか。（あてはまるものすべてに○）

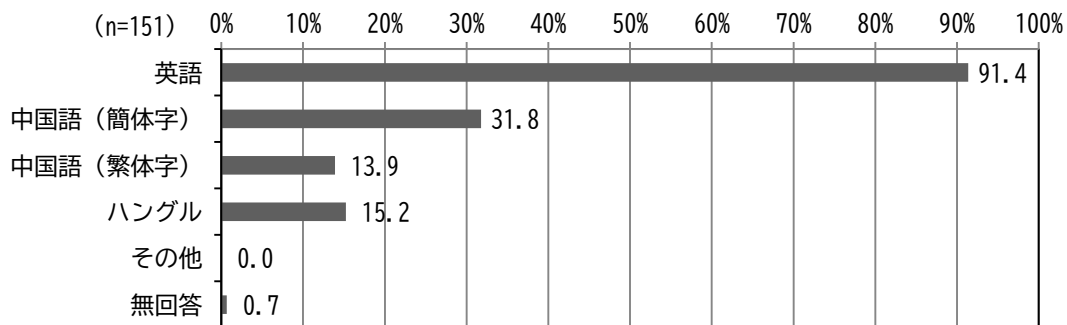
【スタッフの外国語対応】

全体では、外国語を話せるスタッフが「いる」（61.9%）が6割を超えている。
 施設種別でみると、外国語を話せるスタッフが「いる」は、宿泊施設（88.2%）が最も高く、次いで観光・文化関連施設（67.3%）、飲食関連施設（52.8%）である。
 スタッフの対応言語は、英語138件（91.4%）が最も高い。

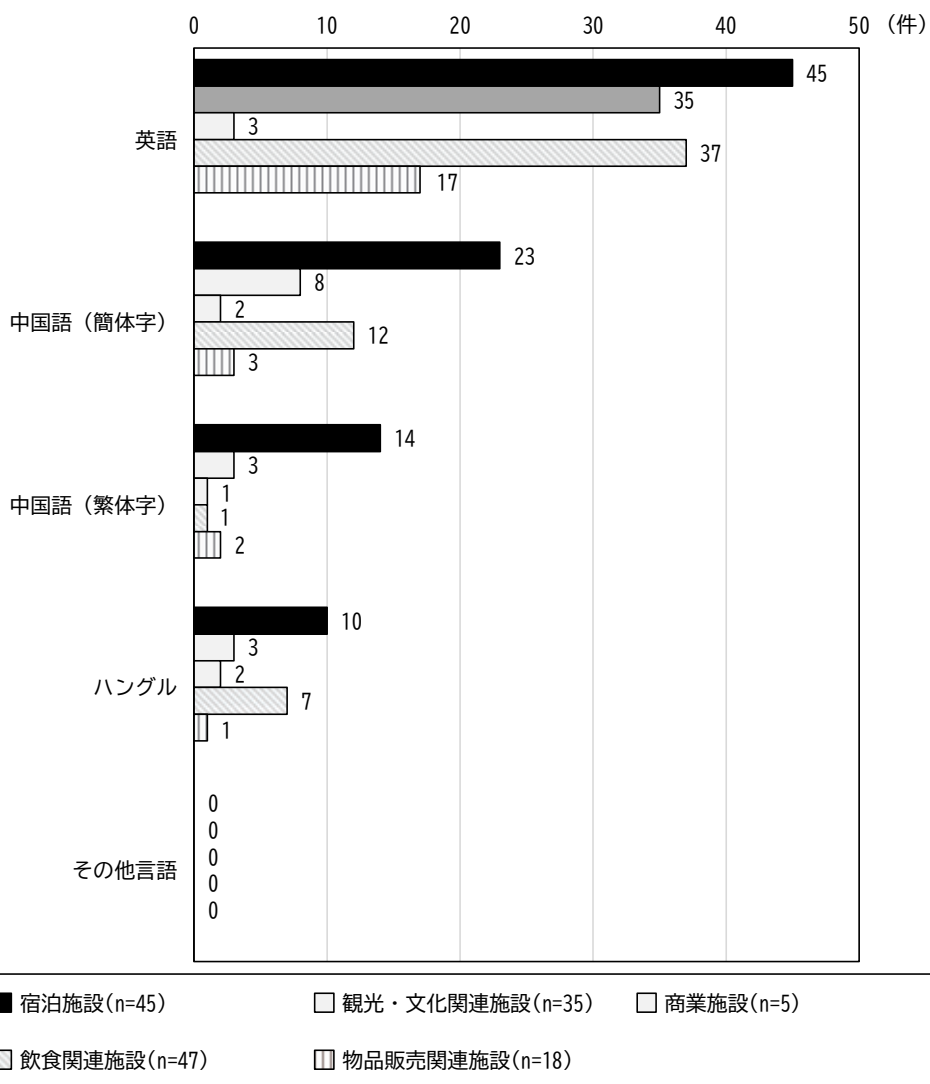
スタッフの外国語対応



スタッフの対応言語（全体）



スタッフの対応言語（施設種別）



今後の訪日外国人旅行者受入についてお答えください。（あてはまるもの1つに○）
 <本問で「あまり受け入れたくない」「受け入れたくない」と回答した施設>
 ・その理由は何ですか。（記述回答）

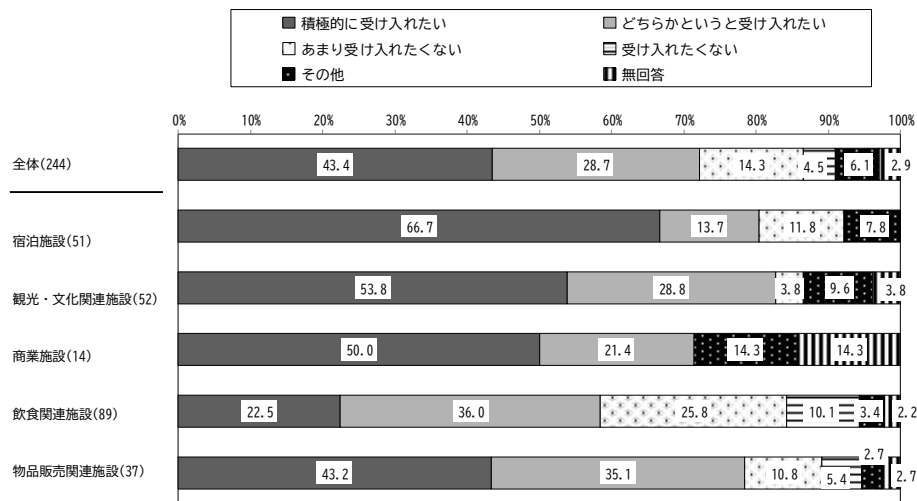
【訪日外国人旅行者受入に対する意向】

全体では、「積極的に受け入れたい」（43.4%）、「どちらかというと受け入れたい」（28.7%）を合わせた『受け入れたい』（72.1%）は7割を超える。

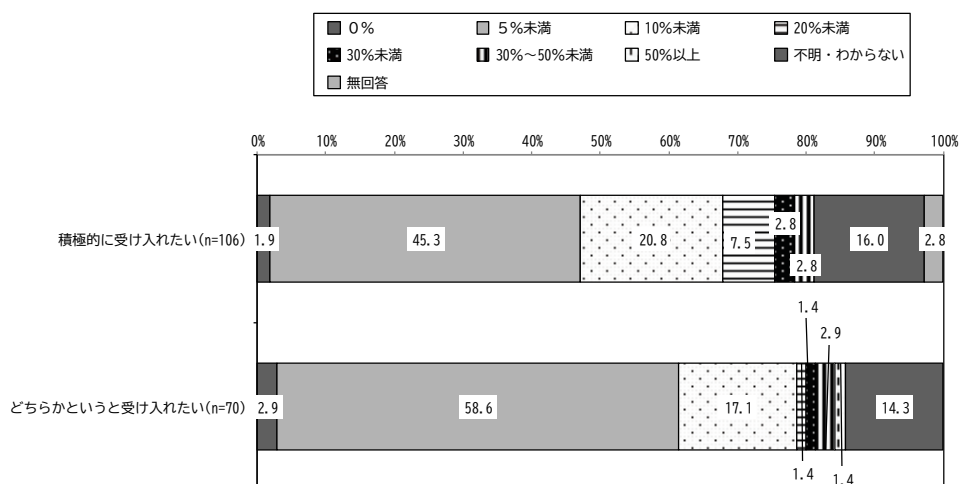
施設種別でみると、「積極的に受け入れたい」の割合は、宿泊施設（66.7%）、観光・文化関連施設（53.8%）と高い。

受入意向と現在の外国人来訪率の関係をみると、「積極的に受け入れたい」施設は、外国人来訪者の比率が「5%未満」（45.3%）、「10%未満」（20.8%）の施設で高い。受入に消極的な理由について、多言語対応できる体制整備が不十分であることが多く挙げられた。

訪日外国人旅行者受入に対する意向



訪日外国人旅行者受入に対する意向と外国人来訪者比率



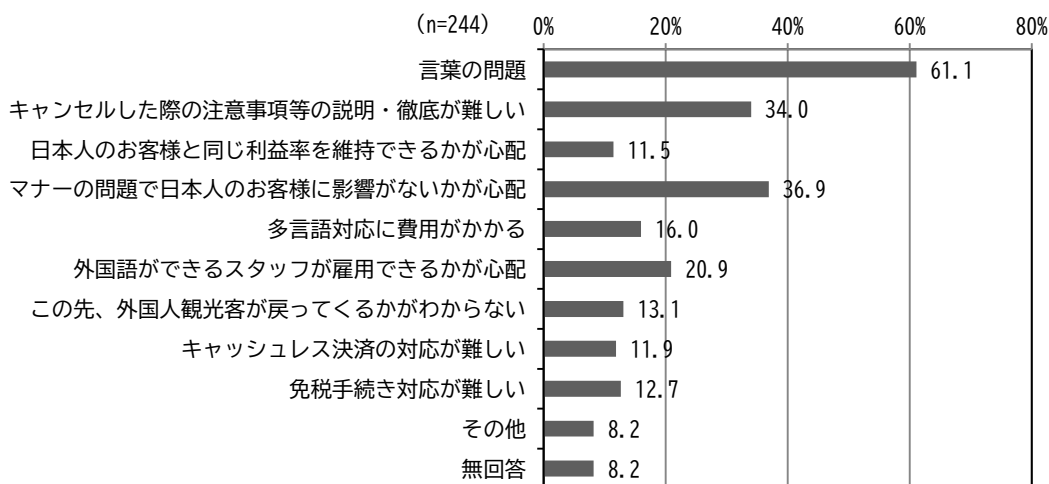
訪日外国人旅行者受入に当たっての懸念事項をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

【訪日外国人旅行者受入時の懸念事項】

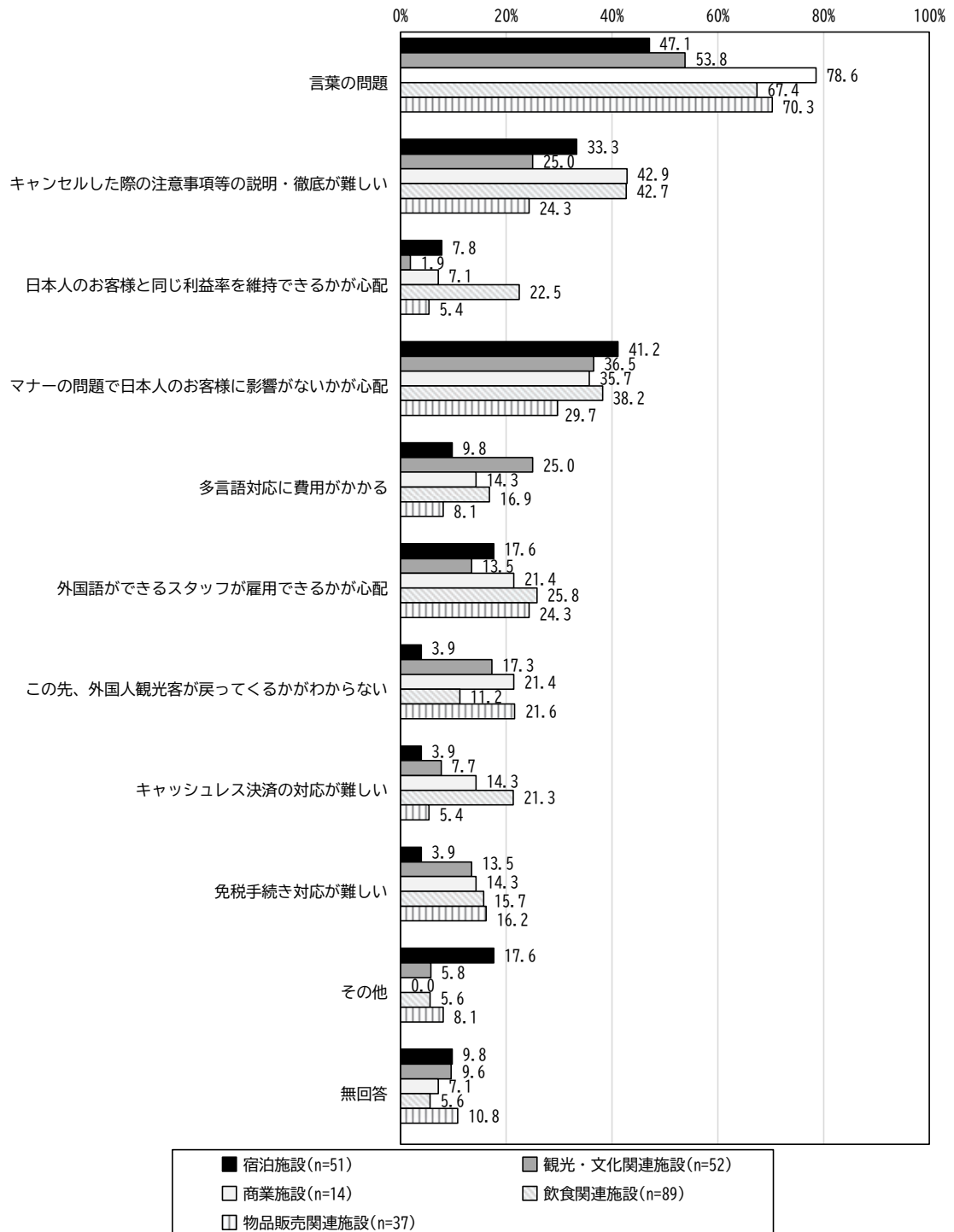
全体では、「言葉の問題」（61.1%）が最も高く、次いで「マナーの問題で日本人のお客様に影響がないかが心配」（36.9%）、「キャンセルした際の注意事項等の説明・徹底が難しい」（34.0%）である。

施設種別でみると、全ての種別で「言葉の問題」の割合が最も高い。

訪日外国人旅行者受入時の懸念事項（全体）



訪日外国人旅行者受入時の懸念事項（施設種別）



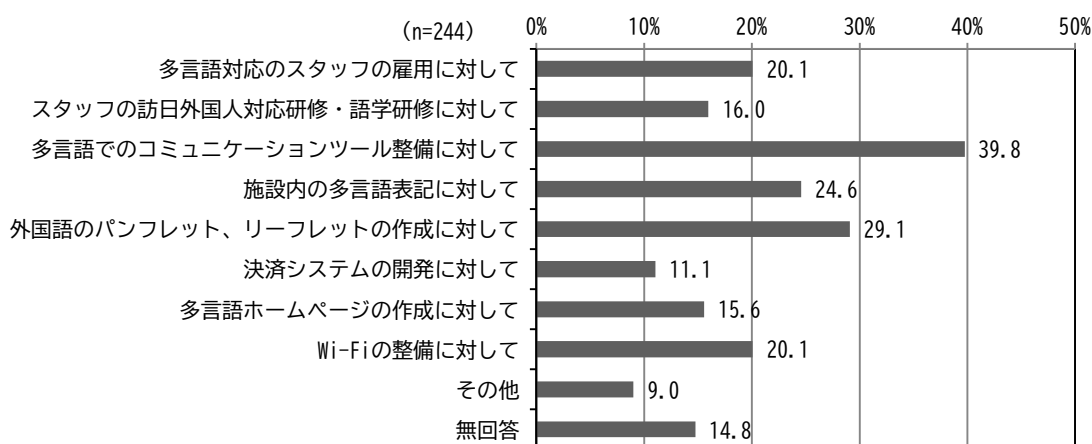
訪日外国人旅行者受入環境整備に当たっての行政支援等について、どのような支援等を要望されますか。（あてはまるものすべてに○）

【必要な行政支援】

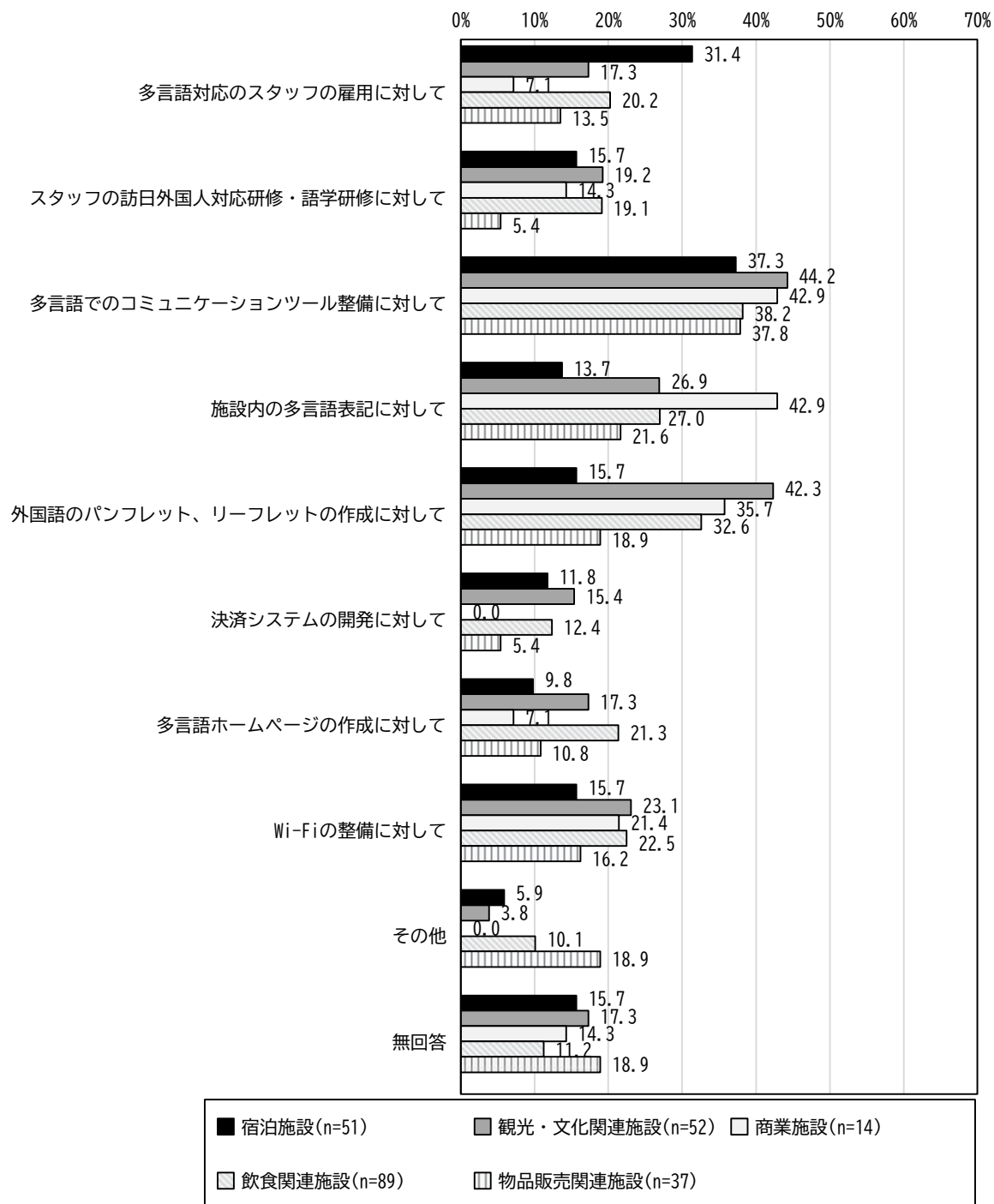
全体では、「多言語でのコミュニケーションツール整備に対して」（39.8%）が最も高く、次いで「外国語のパンフレット、リーフレットの作成に対して」（29.1%）、「施設内の多言語表記に対して」（24.6%）と多言語対応に関するものが上位を占めている。

施設種別でみると、宿泊施設では「多言語対応のスタッフの雇用に対して」（31.4%）、観光・文化関連施設では「外国語のパンフレット、リーフレットの作成に対して」（42.3%）が他の種別と比べて高い。

必要な行政支援（全体）



必要な行政支援（施設種別）



貴所内ではフリーWi-Fiを提供していますか。（あてはまるもの1つに○）

<本問で「している」と回答した施設>

・問① フリーWi-Fiの提供状況について最もあてはまるものはどれですか。（あてはまるもの1つに○）

<問①で「施設内でフリーWi-Fiを提供している」「施設内の一部でフリーWi-Fiを提供している」「施設のみでなく、建物全体にフリーWi-Fiが整備されている」のいずれかを回答した施設>

・問② フリーWi-Fiが可能であることは外国語で表示していますか。（あてはまるもの1つに○）

<問①で「施設内でフリーWi-Fiは提供していない」と回答した施設>

・問③ フリーWi-Fi環境を整備する予定はありますか。（あてはまるもの1つに○）

【フリーWi-Fiの提供の有無】

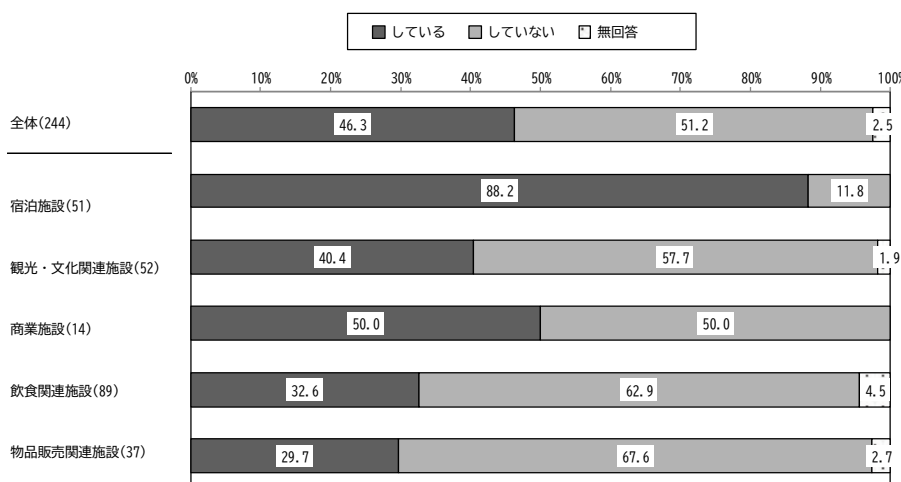
全体では、フリーWi-Fiを提供「している」（46.3%）が4割半ばである。

施設種別でみると、フリーWi-Fiを提供「している」は、宿泊施設（88.2%）が高い一方、観光・文化関連施設、飲食関連施設及び物品販売関連施設は「していない」（それぞれ57.7%、62.9%、67.6%）の割合が高い。

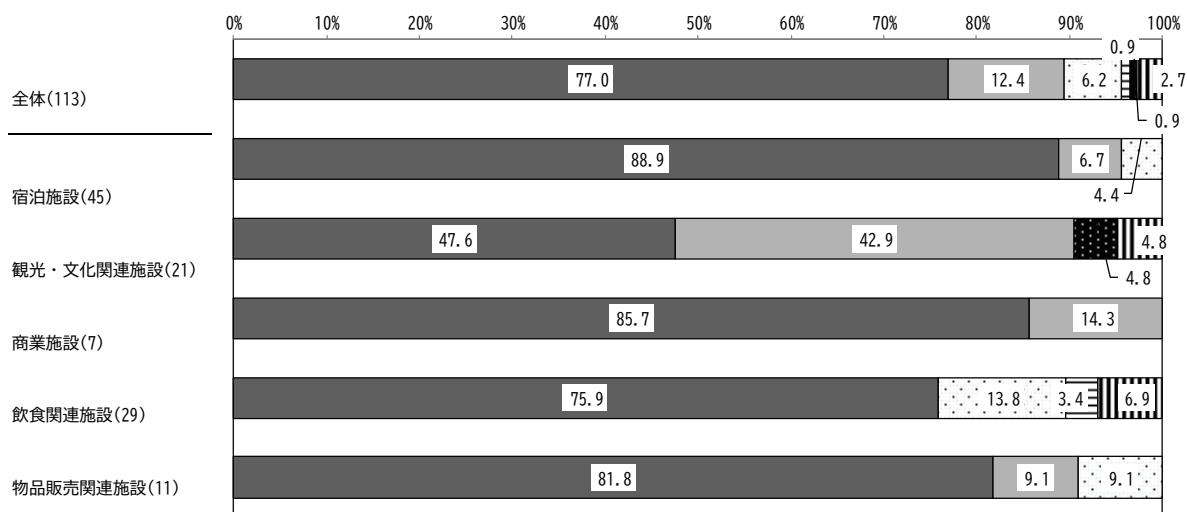
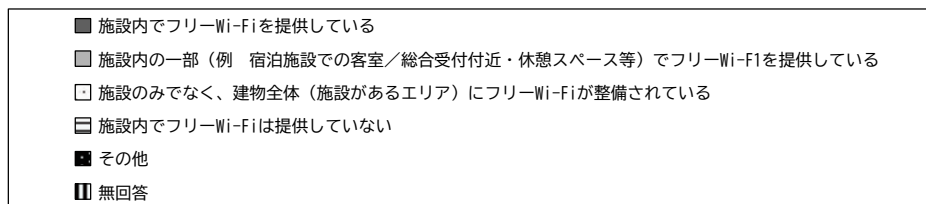
フリーWi-Fiを整備している施設のうち、全体では、「施設内でフリーWi-Fiを提供している」（77.0%）が最も高い。外国語でフリーWi-Fiが可能であることを「案内している」施設（65.7%）は、6割半ばである。

なお、問③の回答対象となる施設は11施設のみであり、整備意向については全施設「検討中」である。

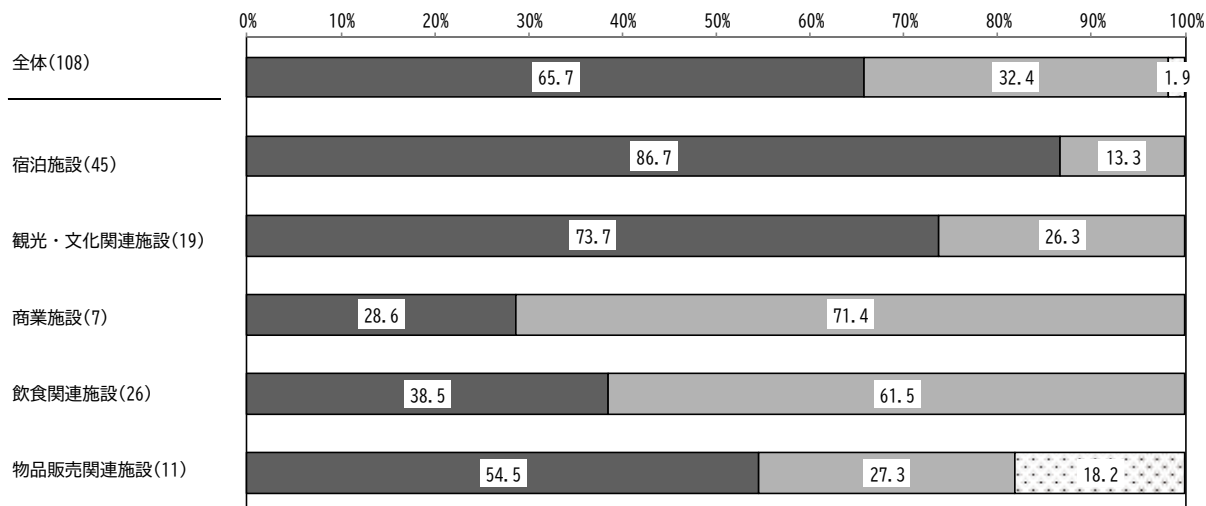
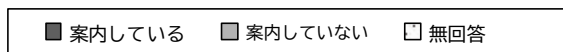
フリーWi-Fiの提供の有無



フリーWi-Fiの提供状況



フリーWi-Fiの提供に関する外国語での案内状況



料金支払いにおいて、キャッシュレス決済は導入されていますか。（あてはまるもの1つに○）

<本問で「導入している」と回答した施設>

・問① 導入している決済方法を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

<本問で「導入していない」と回答した施設>

・問② キャッシュレス決済を導入する予定はありますか。（あてはまるもの1つに○）

【キャッシュレス決済の導入】

全体では、「導入している」（77.9%）が8割近い。

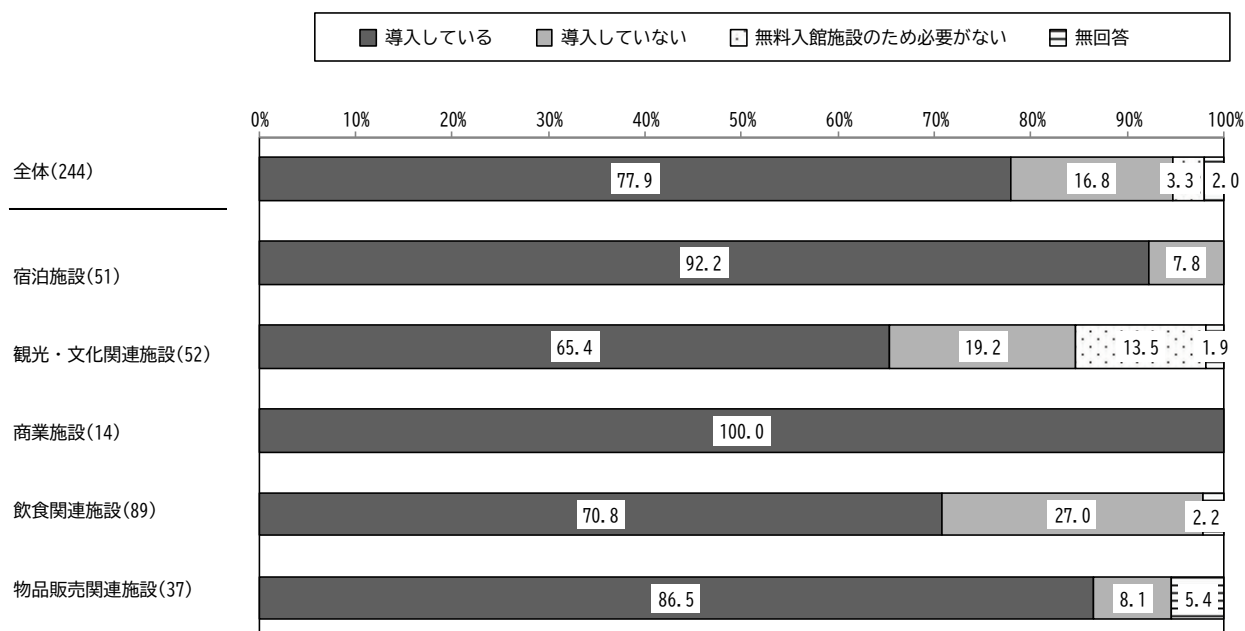
施設種別でみると、「導入している」は宿泊施設（92.2%）が最も高く、次いで物品販売関連施設（86.5%）、飲食関連施設（70.8%）である。

キャッシュレス決済の種類は、全体でみると「クレジットカード」（87.4%）が最も高く、次いで「電子マネー」（58.9%）、「モバイル決済」（58.4%）である。

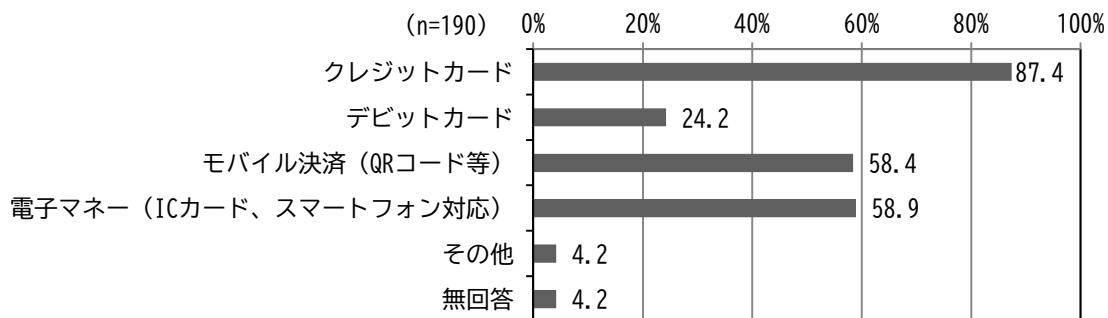
施設種別でみると、観光・文化関連施設では「モバイル決済」（64.7%）や「電子マネー」（73.5%）が他の種別に比べて高くなっている。

また、現在はキャッシュレス決済を導入していない施設の今後の導入意向は、全体的に「現在のところはない」が最も高い。

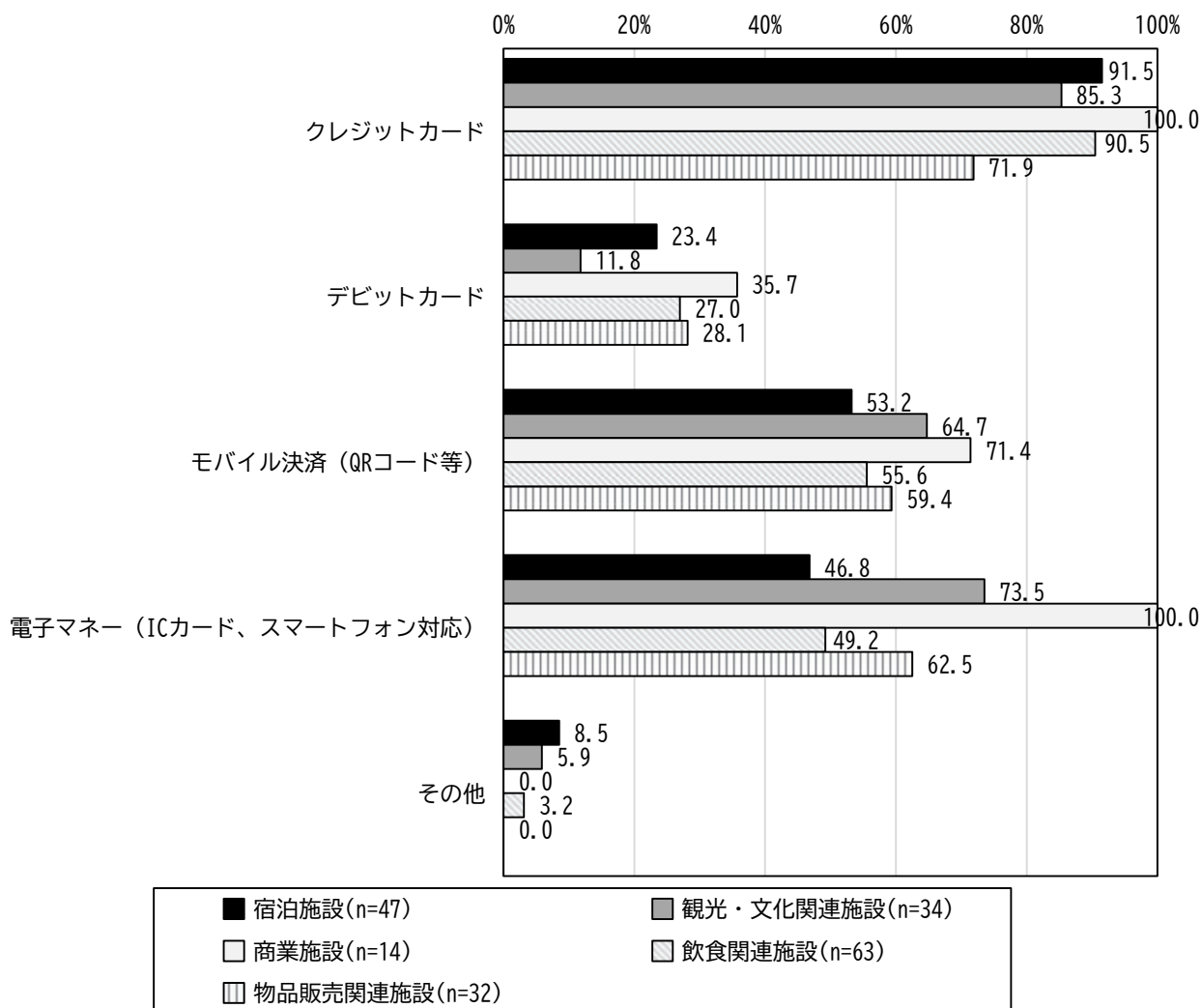
キャッシュレス決済の導入



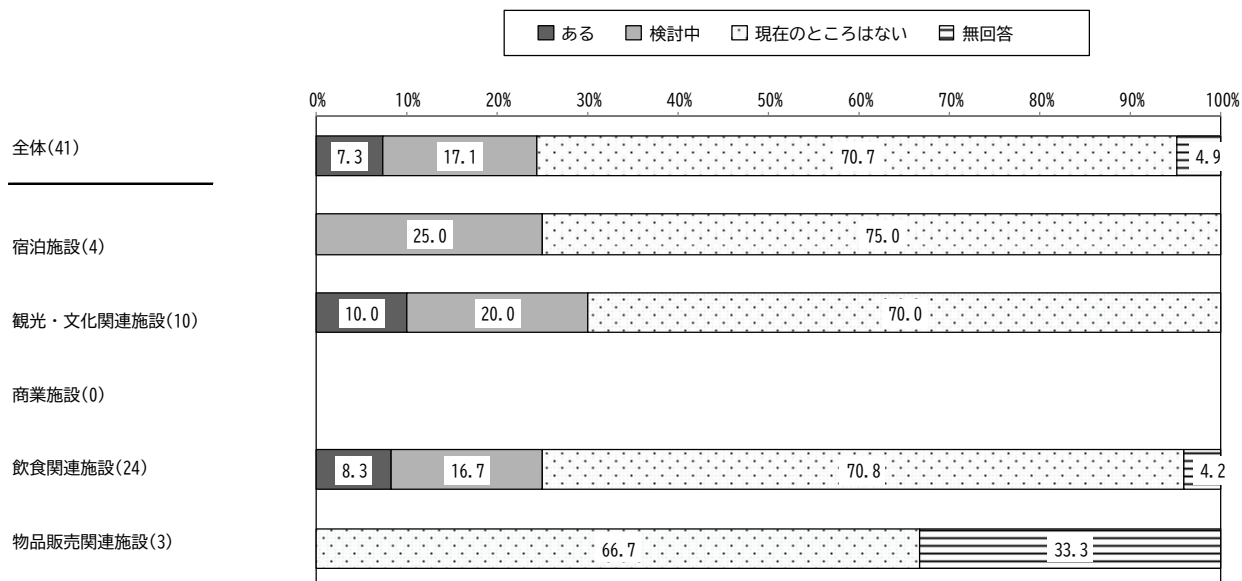
キャッシュレス決済の種類（全体）



キャッシュレス決済の種類（施設種別）



今後のキャッシュレス決済の導入意向



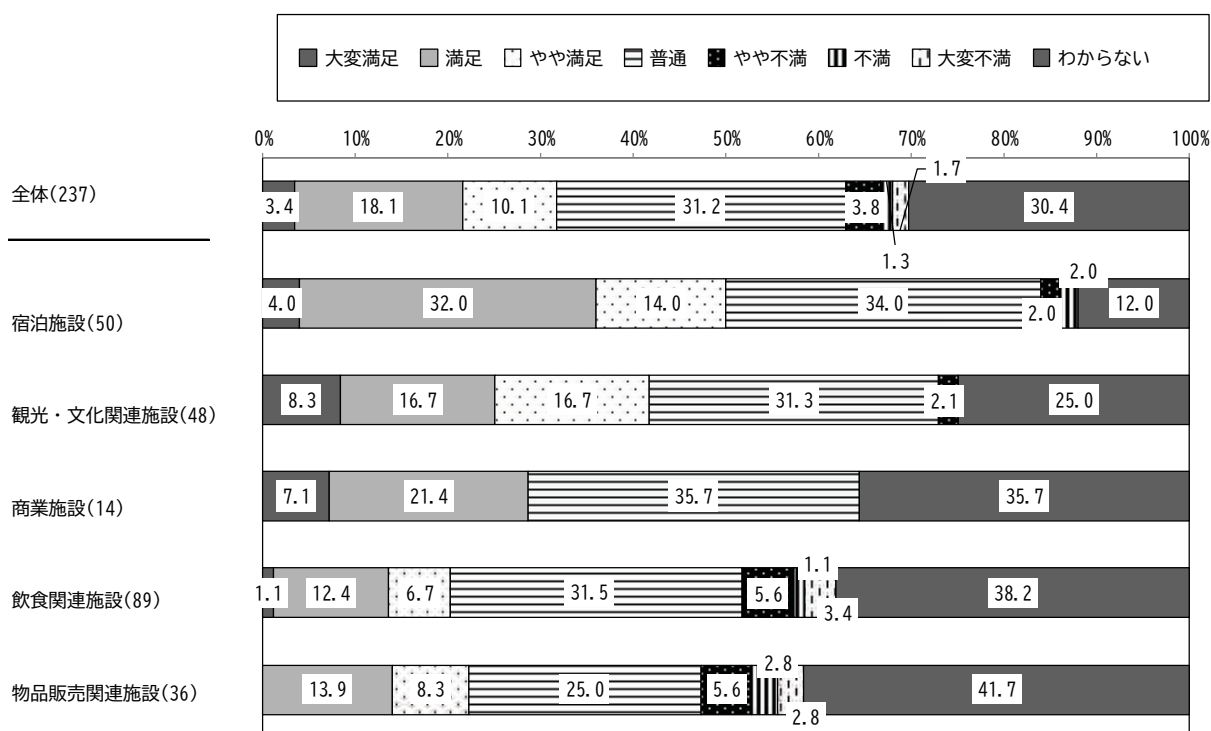
港区が提供する観光情報の内容に対する満足度はどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

【観光情報の内容に対する満足度】

全体では、「普通」（31.2%）が3割を超えて最も高く、次いで「わからない」（30.4%）、「やや満足」（18.1%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（31.6%）は3割を超えている。

施設種別でみると、『満足』の割合は、宿泊施設（50.0%）が最も高く、飲食関連施設（20.2%）が最も低い。

観光情報の内容に対する満足度



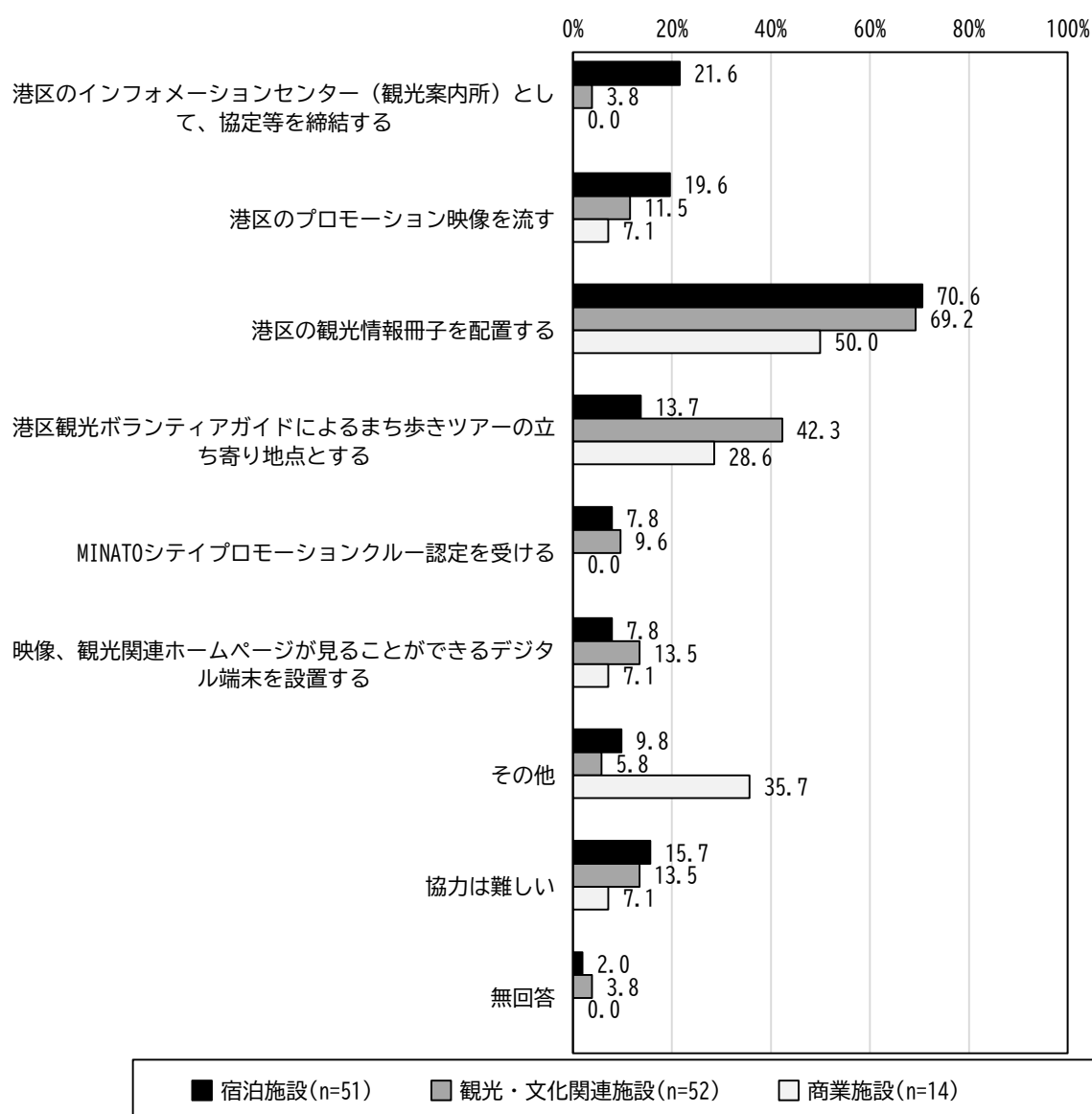
(注) 回答対象施設から「無回答」を除いて割合を算出している（例：「全体」の場合、無回答施設（n=7）を除いた、n=237を総数としている）。

現在、港区では訪日外国人旅行者向けに、観光情報の発信や観光ボランティアによるまち歩きツアーなど、施策を進めています。例えば、次のような形での協力をお願いすることは可能でしょうか。（あてはまるものすべてに○）

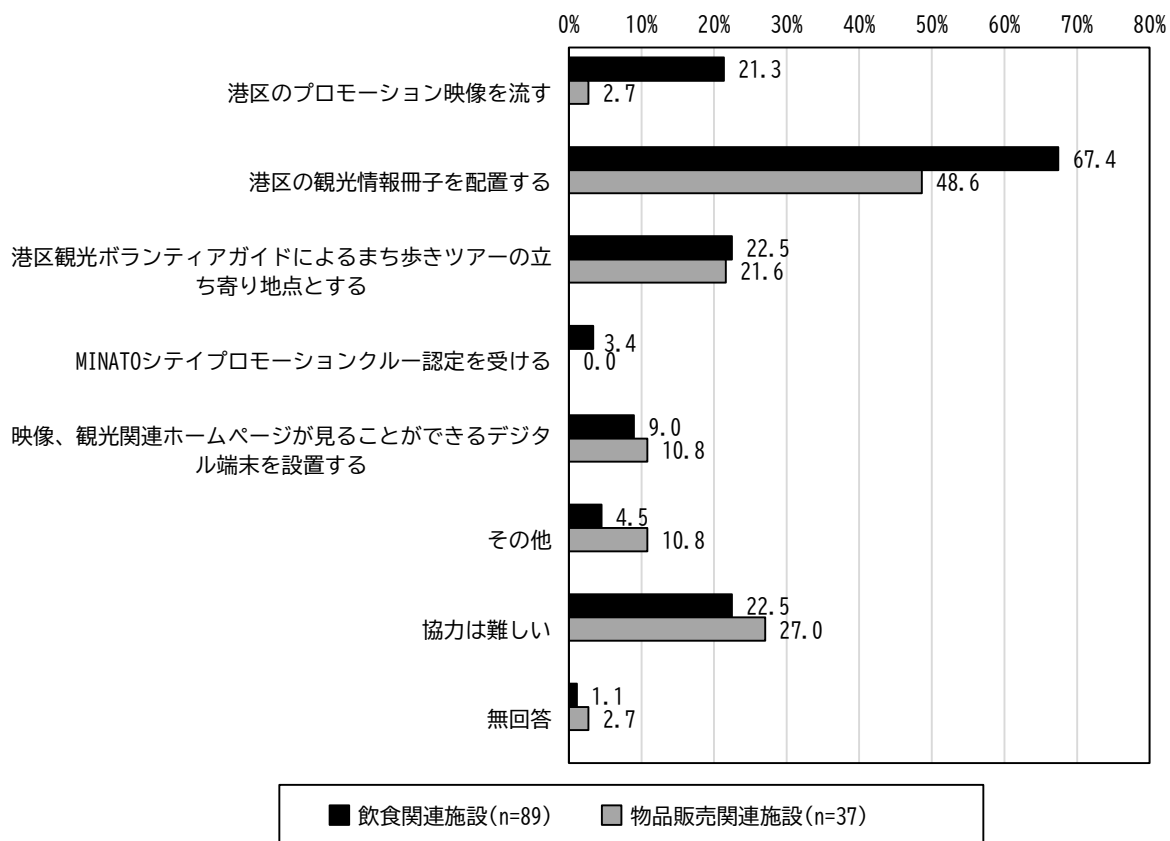
【港区の施策への協力意向】

宿泊施設、観光・文化関連施設、商業施設では、それぞれ「港区の観光情報冊子を配置する」（それぞれ70.6%、69.2%、50.0%）が最も高い。飲食関連施設、物品販売関連施設（各67.4%、48.6%）も同様である。

港区の施策への協力意向（宿泊施設、観光・文化関連施設、商業施設）



港区の施策への協力意向（飲食関連施設、物品販売関連施設）



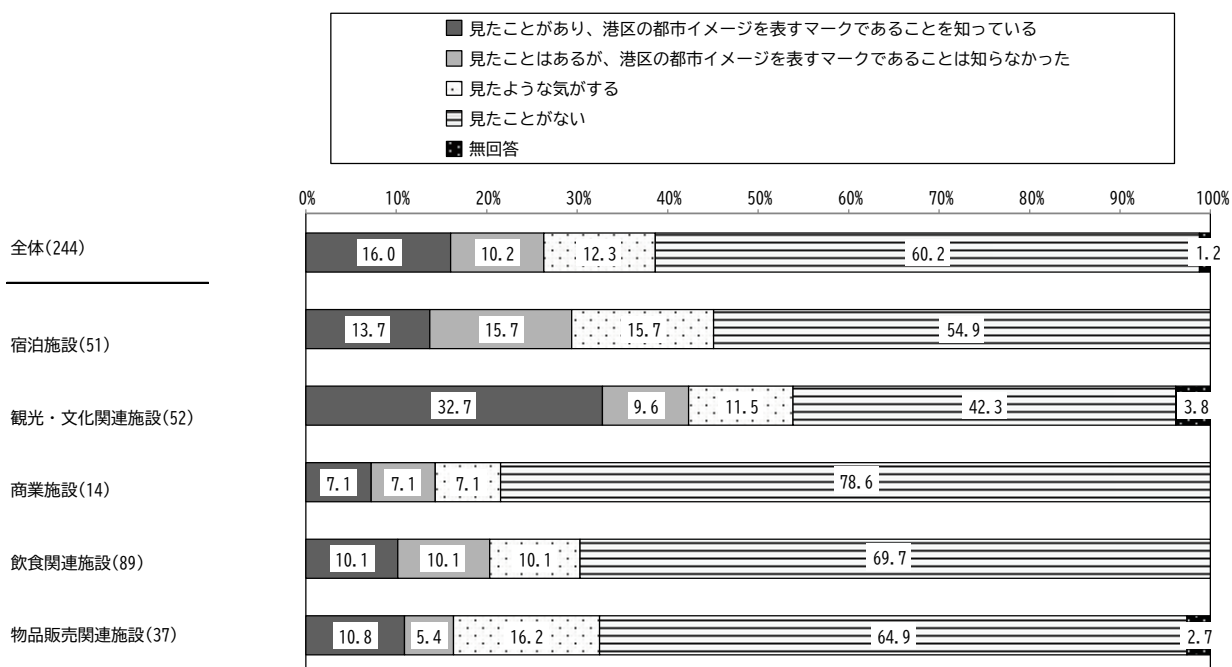
港区は平成 28 年 5 月に策定した「港区シティプロモーション戦略」に基づき、国内外の人々に港区の魅力やブランド、都市イメージを伝えるためのシティプロモーションを推進しています。その一環として、港区の都市イメージを表現し、魅力を伝える「シティプロモーションシンボルマーク」を作成し活用しています。あなたはシティプロモーションシンボルマークをご存じですか。（あてはまるもの 1 つに○）

【シティプロモーションシンボルマークの認知度】

全体では、「見たことがない」（60.2%）が最も高く、次いで「見たことがあり、港区の都市イメージを表すマークであることを知っている」（16.0%）である。

施設種別でみると、いずれも「見たことがない」が最も高い。

シティプロモーションシンボルマークの認知度

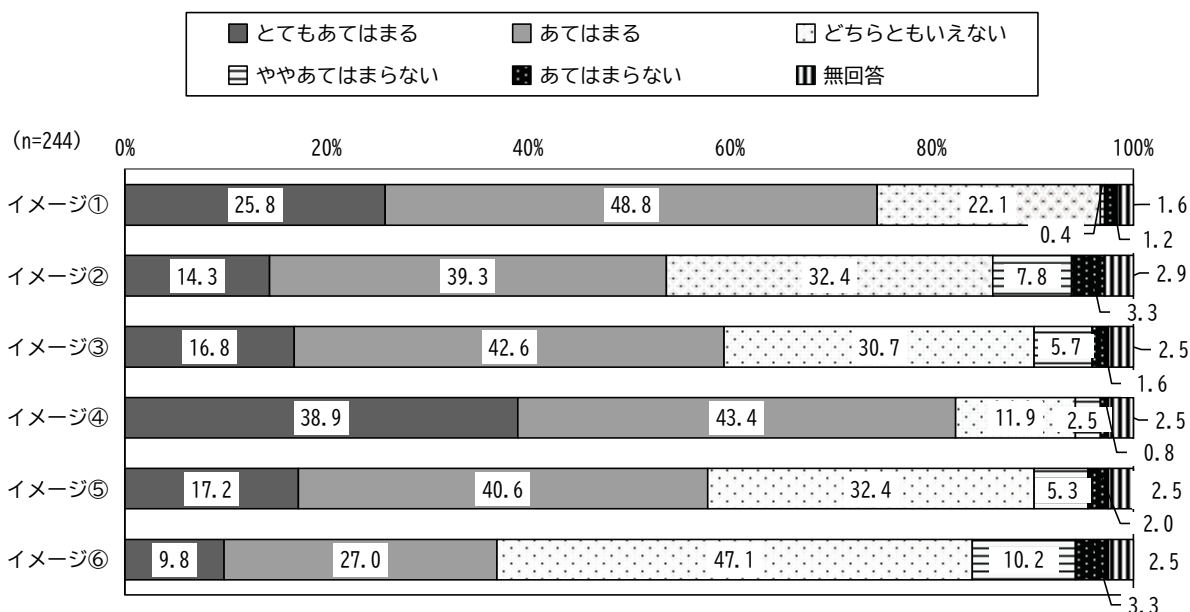


次に挙げる都市のイメージが港区に当てはまるかを教えてください。（イメージごとに当てはまるもの1つに○）

【都市イメージの評価】

全体では、「とてもあてはまる」及び「あてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も高いのは、イメージ④「アクセス性に富んだ便利な都市」（82.3%）であり、次いでイメージ①「国内外に開かれ多様性を受け入れる都市」（74.6%）である。

都市イメージの評価（全体）



※イメージ①～⑥の凡例

- イメージ① 国内外に開かれ多様性を受け入れる都市
- イメージ② 文化芸術の彩りと歴史が息づく都市
- イメージ③ 安全で安心できる都市
- イメージ④ アクセス性に富んだ便利な都市
- イメージ⑤ 街並みの美しさで魅了する都市
- イメージ⑥ 温かい優しさと活気に包まれる都市

3 港区民満足度調査

(1) 調査概要

20歳以上の港区民2,500人（住民基本台帳に基づく無作為抽出）を対象に、郵送及びインターネット調査を実施し、直近1年間の旅行や港区内におけるお出かけ状況（回数、時期、訪問スポット等）、旅行情報の入手経路、港区シティプロモーションシンボルマークの認知度及び6つの都市イメージの定着度等を把握した。

(2) 調査手法

① 調査期間

令和4年9月8日～10月24日

② 調査対象者

港区に住民登録している20歳以上の日本人及び外国人（令和4年8月5日現在）

③ サンプル数の設定

750サンプル

④ 回収数

750サンプル ※うちWEB回答212サンプル

⑤ 対応言語

日本語、英語、中国語（簡体字及び繁体字）、韓国語

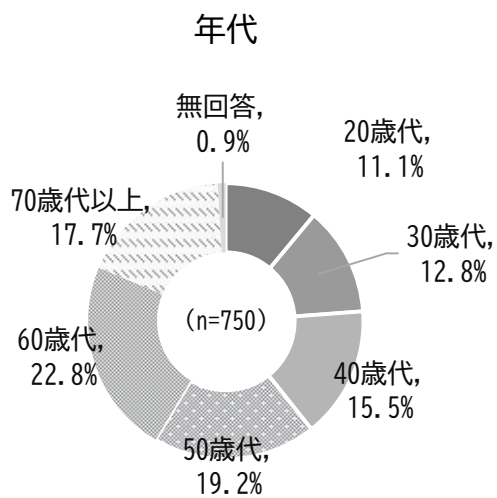
(3) 報告書の見方

- ・調査結果の構成比率は、小数点第2位を四捨五入したものを記入しているため、構成比の合計が100%とならない場合がある。
- ・回答数が小さいもの(n=30未満)は、比率が上下しやすいため、表・グラフのみを参考として示すにとどめる。
- ・割合の表記は、以下のとおりとしている。

割合 (%)	表記
20.0～20.4	2割
20.5～20.9	約2割
21.0～23.9	2割を超える
24.0～26.4	2割半ば
26.5～28.9	3割近く
29.0～29.4	約3割
29.5～29.9	3割

(4) 回答者の属性

年代別で見ると、「60歳代」(22.8%)が2割を超えており、次いで「50歳代」(19.2%)である。



(5) 調査結果

あなたが過去1年以内（令和3年9月～令和4年8月）に、観光目的で港区内へお出かけした回数を、日帰りと宿泊、それぞれお答えください。

【過去1年以内の港区内へのお出かけ回数（日帰り／宿泊）】

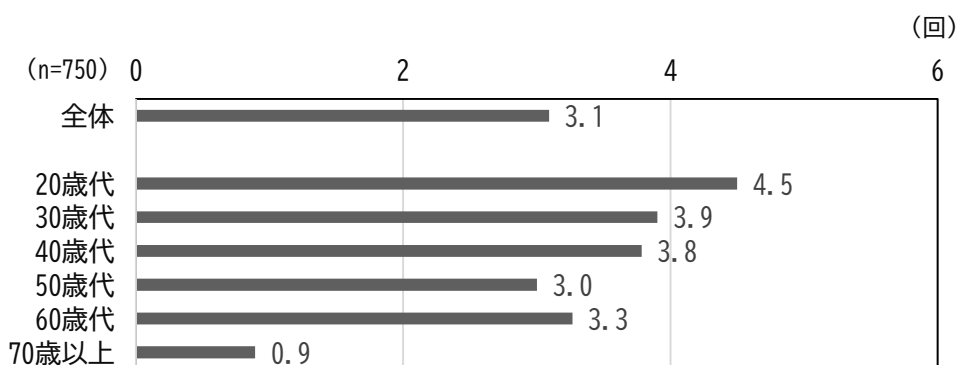
日帰りは、全体で平均3.1回である。

年代別で見ると、「20歳代」（4.5回）と最も多く、次いで「30歳代」（3.9回）である。

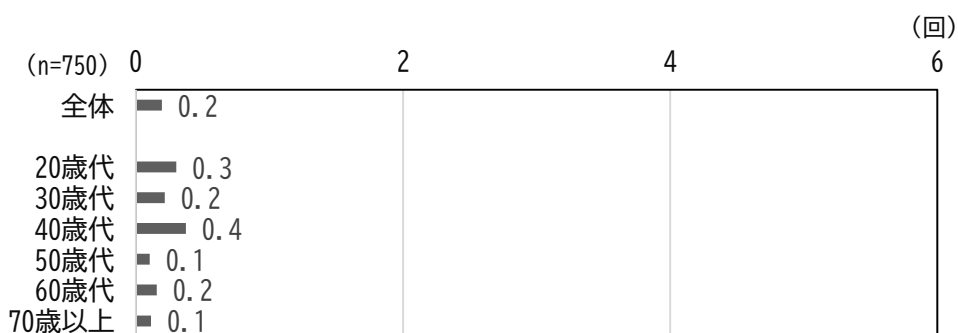
宿泊は、全体で平均0.2回である。

年代別で見ると、「40歳代」（0.4回）が最も多く、次いで「20歳代」（0.3回）である。

過去1年以内の港区内へのお出かけ平均回数（日帰り）



過去1年以内の港区内へのお出かけ平均回数（宿泊）



お出かけ時の主な目的をお答えください。（最もあてはまるもの1つに○）

【お出かけ時の主目的】

全体では、「買い物・飲食」（36.8%）が4割近くで最も高く、次いで「文化財鑑賞」（16.8%）である。

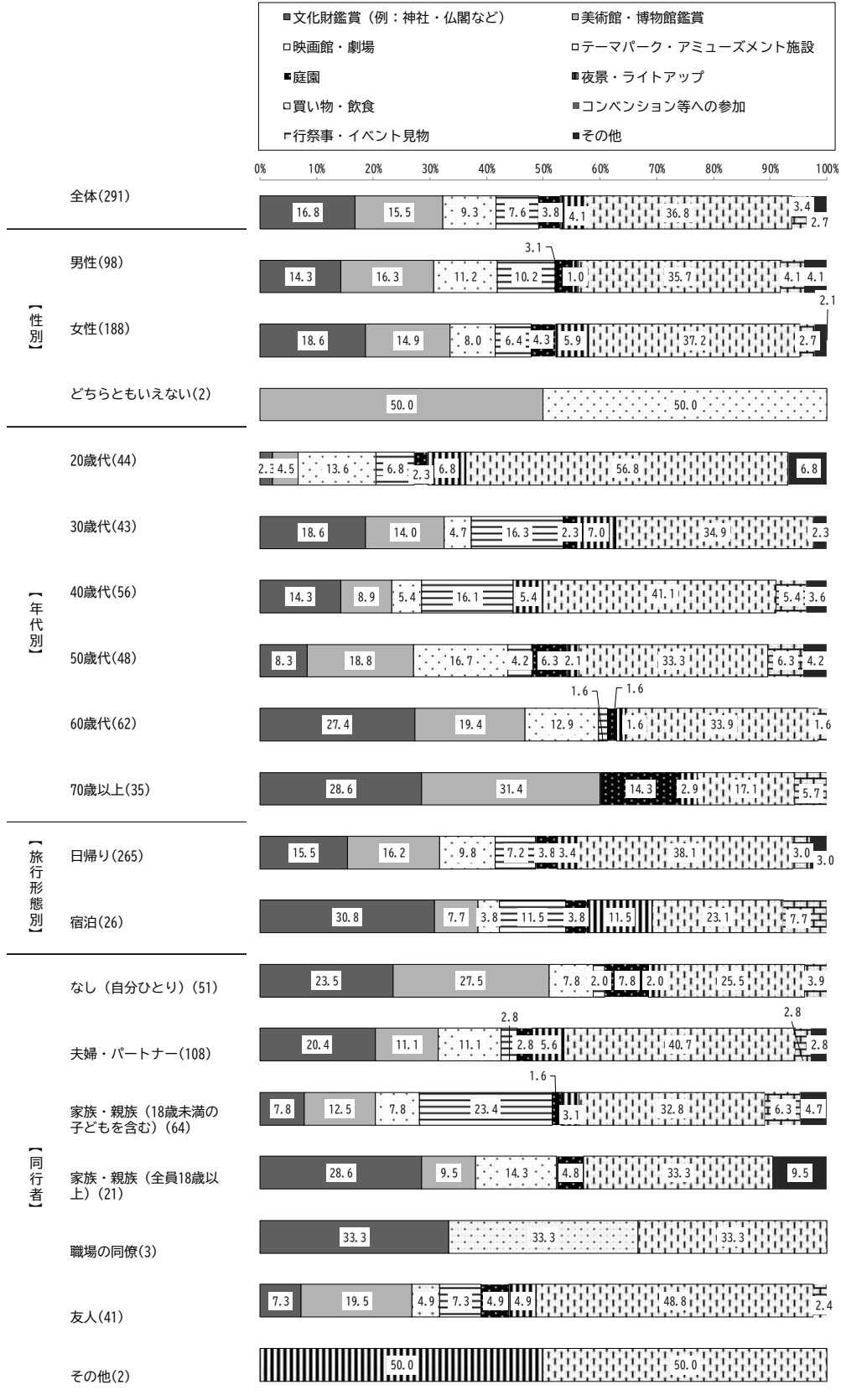
性別で見ると、男女ともに「買い物・飲食」（35.7%、37.2%）が最も高い。

年代別で見ると、「70歳代」以外は「買い物・飲食」が最も高く、特に「20歳代」は6割近い。「70歳代」は「美術館・博物館鑑賞」（31.4%）が最も高く、次いで「文化財鑑賞」（28.6%）である。

旅行形態別で見ると、「日帰り」は「買い物・飲食」（38.1%）が、「宿泊」は「文化財鑑賞」（30.8%）がそれぞれ最も高い。

同行者別で見ると、「なし（自分ひとり）」は「美術館・博物館鑑賞」（27.5%）が3割近く、「夫婦・パートナー」は「買い物・飲食」（40.7%）が約4割、「家族・親族（18歳未満の子どもを含む）」は「買い物・飲食」（32.8%）が3割を超え、「友人」は「買い物・飲食」（48.8%）が5割近くと、それぞれ最も高い。

お出かけ時の主目的



(注) 本設問では「無回答」がなかったため、図中の凡例では省略。

港区内へのお出かけ中のそれぞれの費用（消費額）をお答えください。（概ね千円単位）

【港区での観光消費額】

観光消費額全体の合計金額は5,697千円、平均金額は21千円である。

用途別に全体の平均金額をみると、「宿泊費」（24千円）と最も高く、次いで「飲食費」（10千円）である。

観光消費額全体の平均金額において、性別でみると、「男性」が18千円、「女性」が22千円である。年代別でみると、「20歳代」、「30歳代」が25千円と最も高くなっている。

港区での観光消費額

宿泊費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		20	488	24
旅行形態別	日帰り	0	0	0
	宿泊	20	488	24
飲食費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		256	2,568	10
旅行形態別	日帰り	236	2,359	10
	宿泊	20	209	10
施設入場料		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		215	536	2
旅行形態別	日帰り	203	508	3
	宿泊	12	28	2
ショッピング		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		210	1,824	9
旅行形態別	日帰り	194	1,712	9
	宿泊	16	112	7
交通費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		231	281	1
旅行形態別	日帰り	213	261	1
	宿泊	18	20	1
観光消費額計		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		276	5,697	21
性別	男性	93	1,702	18
	女性	178	3,907	22
年代別	20歳代	42	1,050	25
	30歳代	40	986	25
	40歳代	54	1,071	20
	50歳代	45	880	20
	60歳代	61	1,325	22
	70歳以上	32	361	11
旅行形態別	日帰り	251	4,840	19
	宿泊	25	857	34

(注)「(平均金額) ± 3 × (標準偏差)」にて算出した金額を上回る特異値を除外した上で、観光消費額を算出している。また、千円未満を四捨五入しているため、全体の値と費目の積み上げ値が一致しない場合がある。

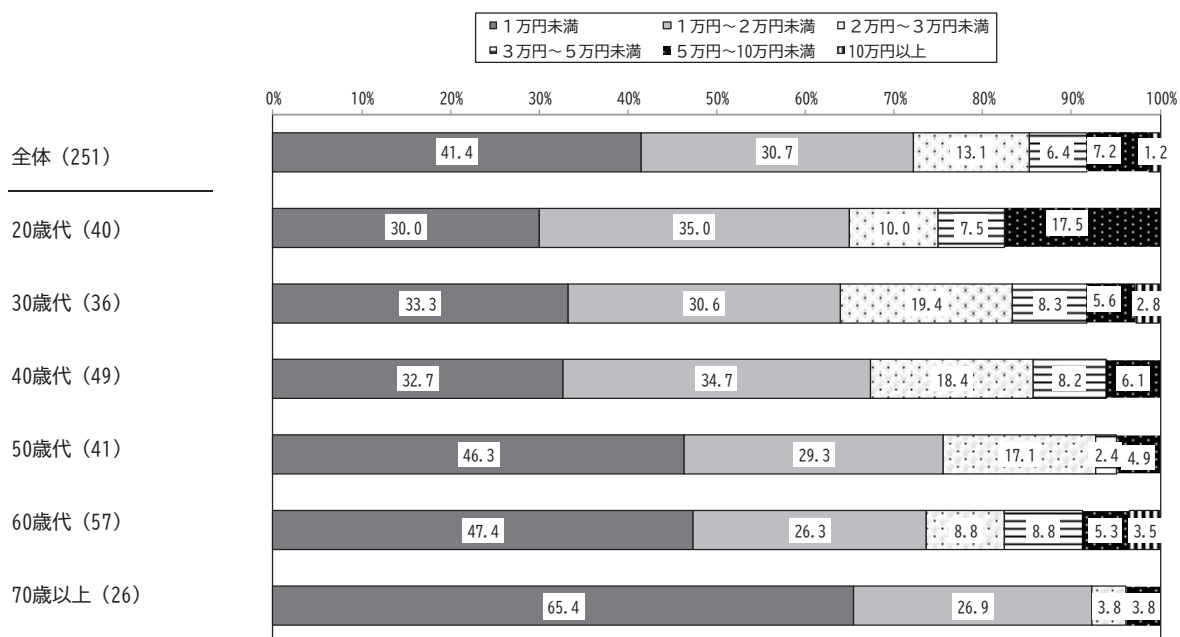
【観光消費額の分布】

(日帰り)

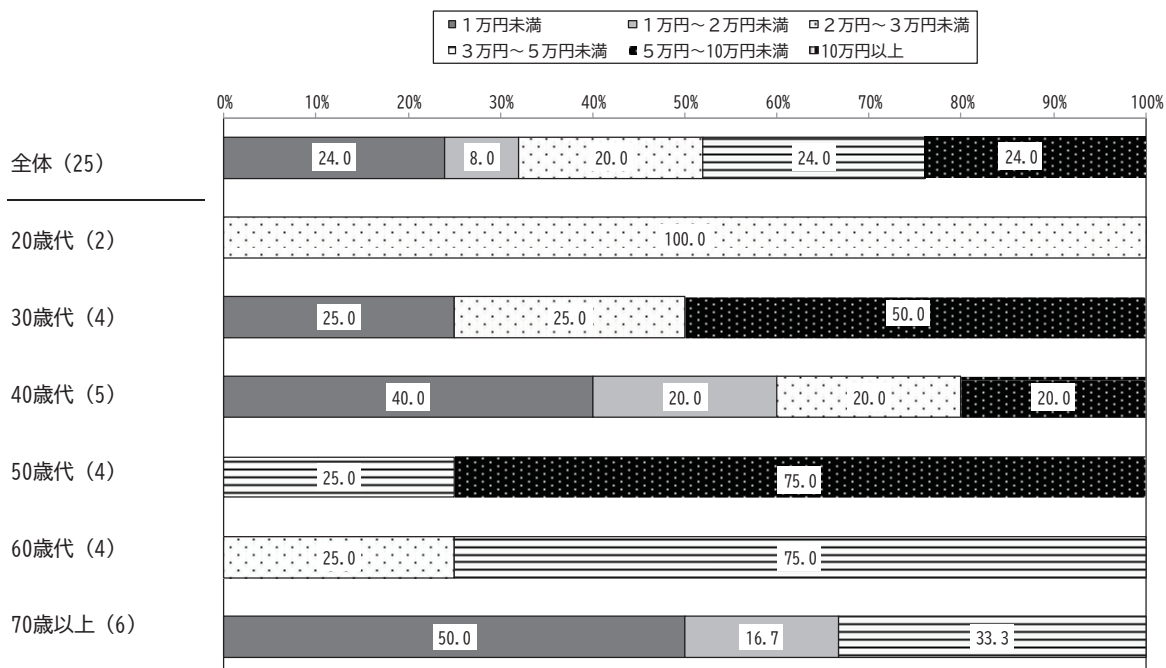
全体では、「1万円未満」(41.4%)が4割を超えて最も高く、次いで「1万円～2万円未満」(30.7%)が約3割である。

年代別で見ると、「20歳代」は「5万円～10万円未満」(17.5%)の割合が他の世代よりも高い。

観光消費額と分布 (日帰り、年代別)



観光消費額と分布 (宿泊、年代別)



出発前には、港区内へお出かけする情報を得るために、次のどの情報源を利用しましたか。（あてはまるもの全てに○）

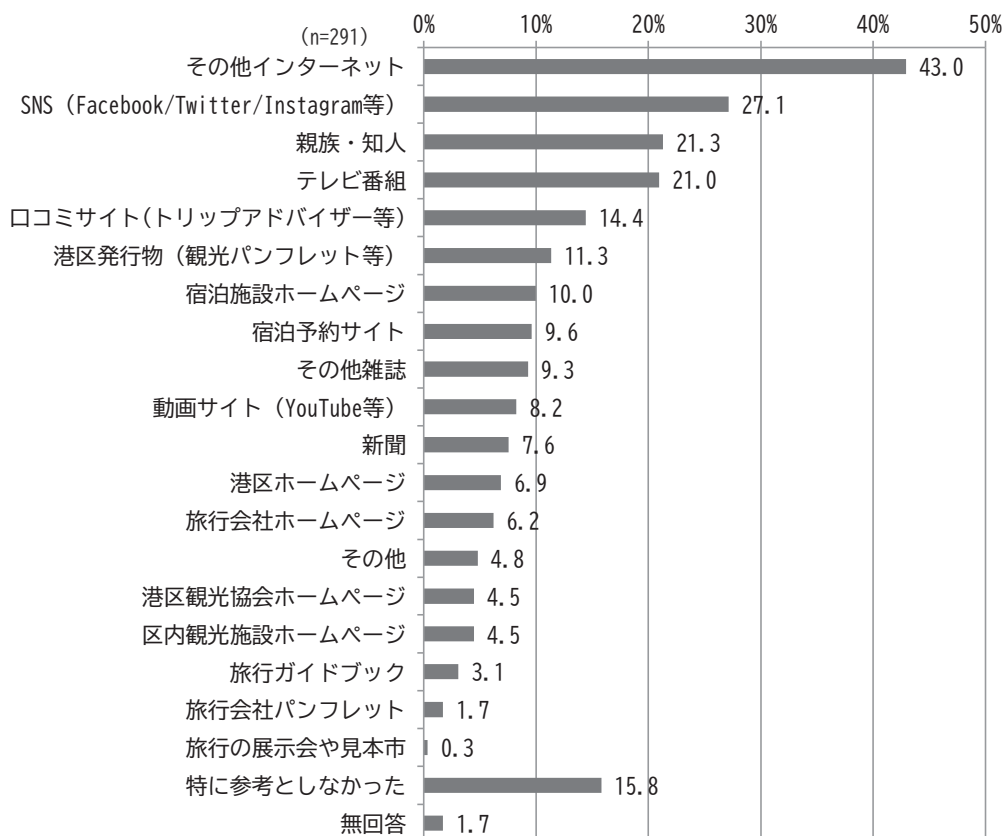
【出発前に参考にした情報源】

全体では、「その他インターネット」（43.0%）が4割を超えて最も高く、次いで「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」（27.1%）、「親族・知人」（21.3%）である。

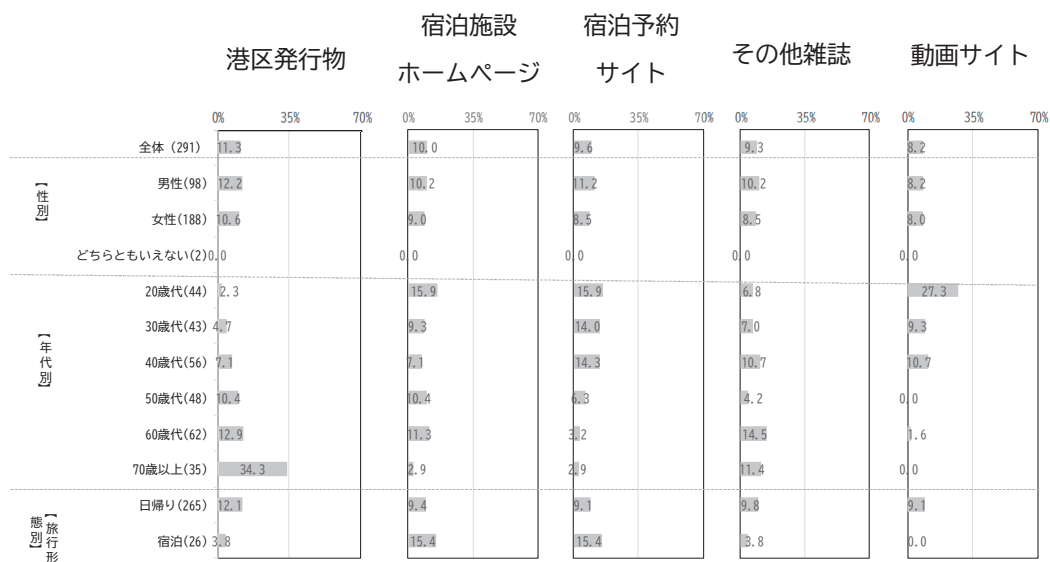
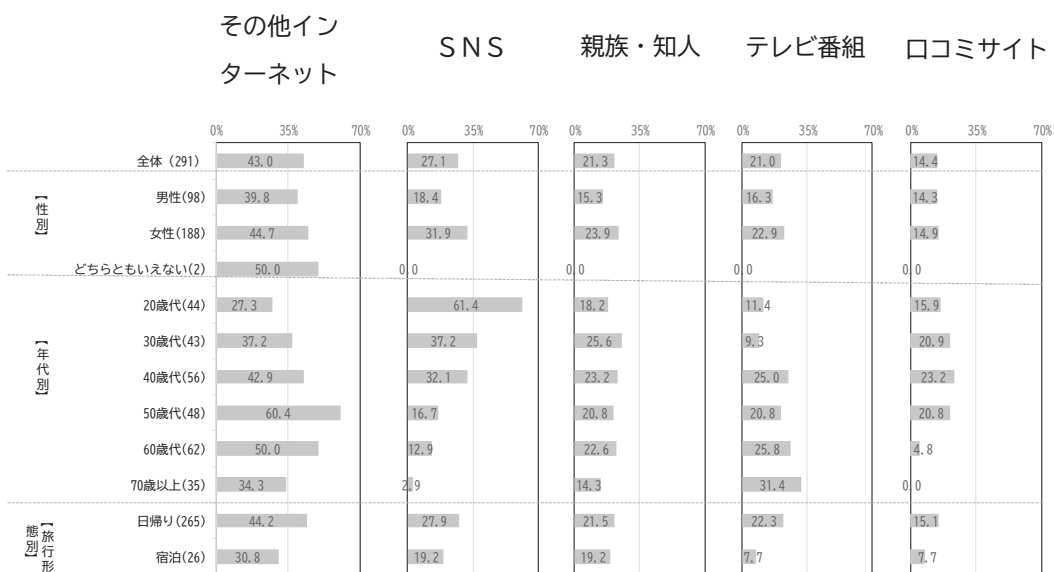
性別で見ると、「女性」が「男性」よりも10ポイント以上高い情報源として、「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」が13.5ポイント差（女性31.9%、男性18.4%）である。

年代別で見ると、「その他インターネット」は「20歳代」を除いた全ての年代で最も高くなっている。「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」は「20歳代」（61.4%）が最も高い。また、全体では10番目の「動画サイト（YouTube等）」（8.2%）は、「20歳代」（27.3%）の利用が目立つ。

出発前に参考にした情報源



出発前に参考にした情報源（上位 10 項目、性別・年代別・旅行形態別）



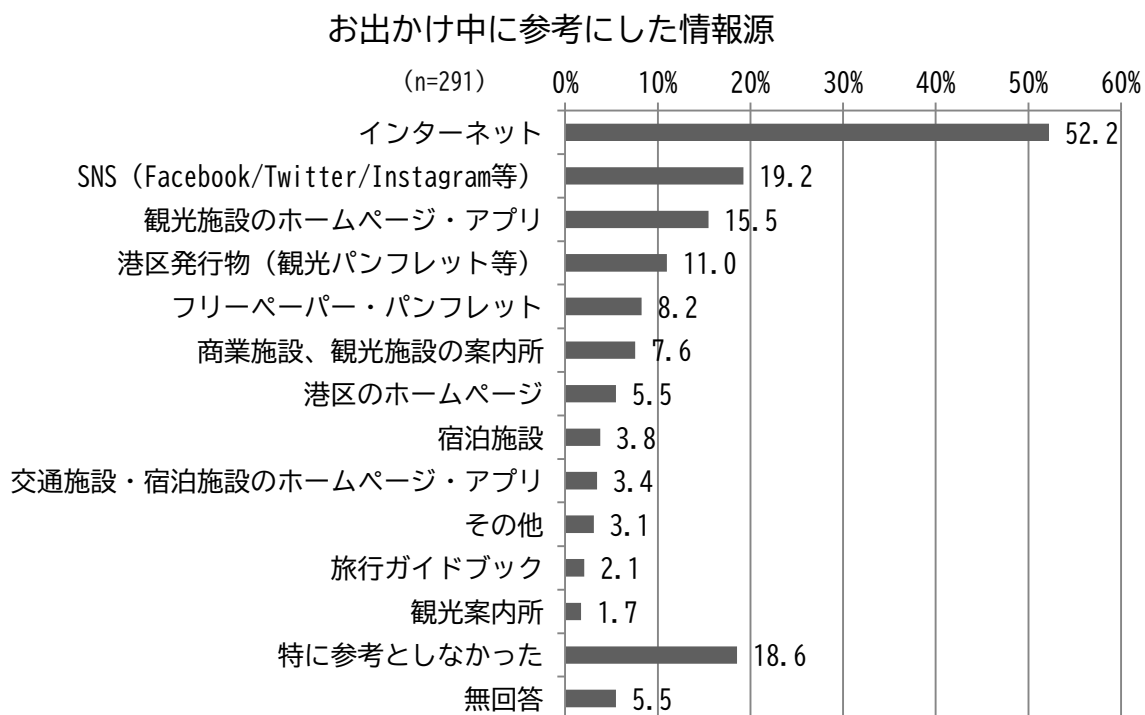
港区内でのお出かけ中には、港区に関する情報を得るのに、次のどの情報源を利用しましたか。（あてはまるもの全てに○）

【お出かけ中に参考にした情報源】

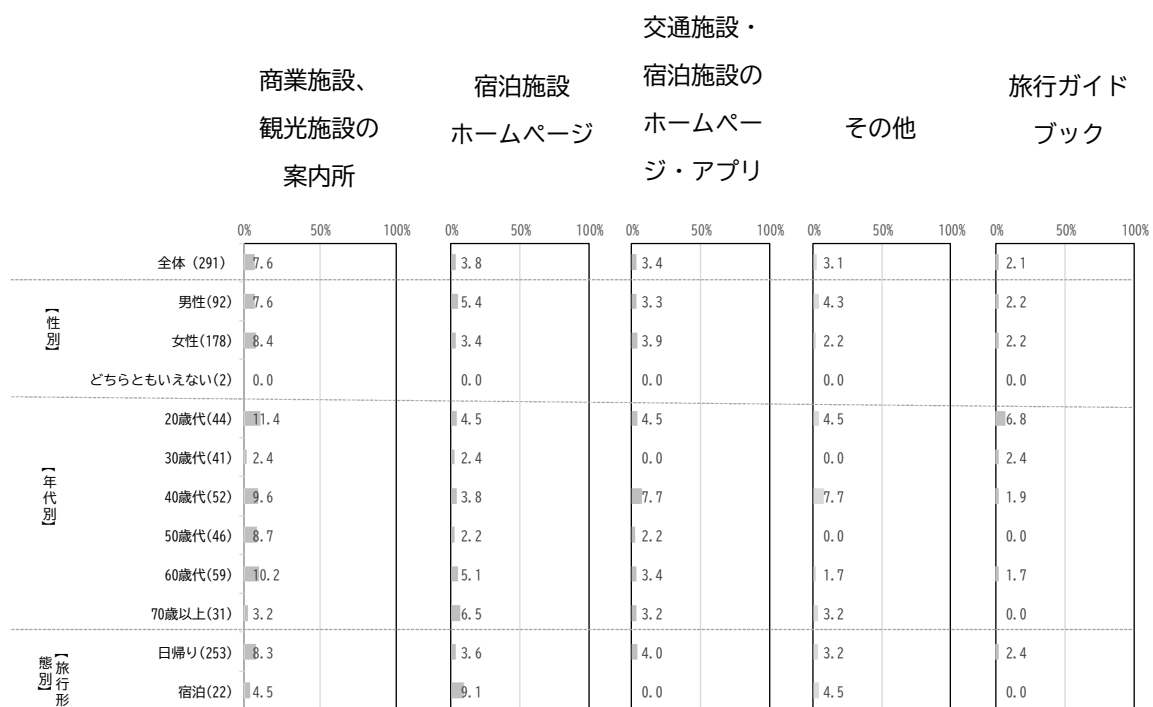
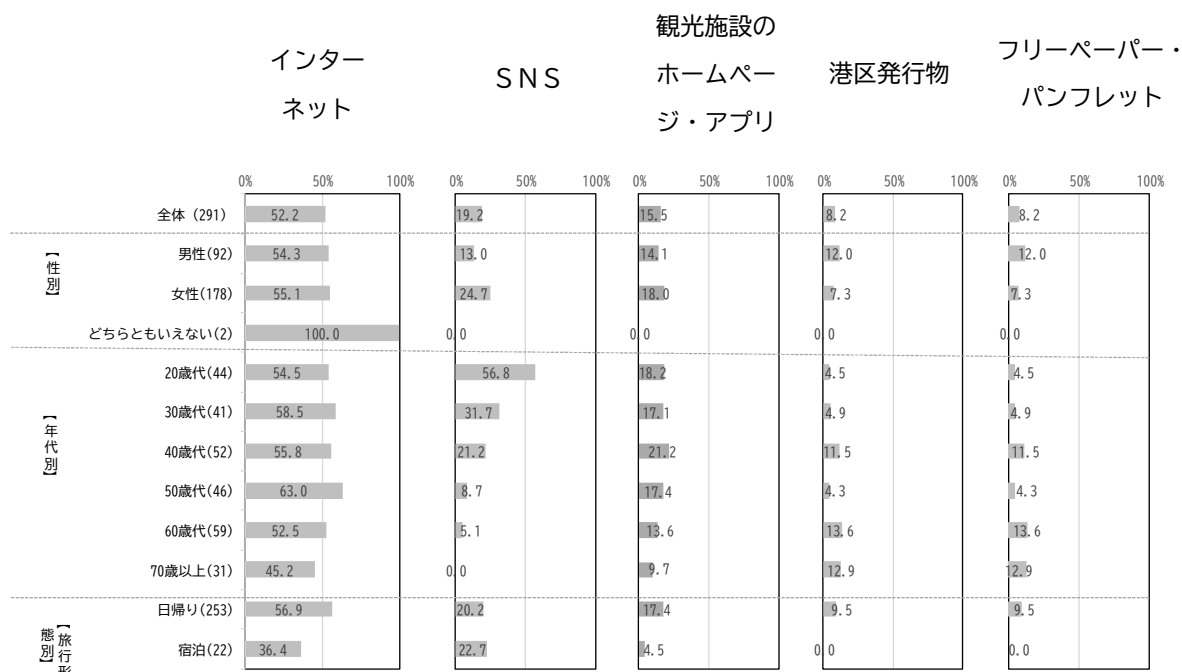
全体では、「インターネット」（52.2%）が5割を超えて最も高く、次いで「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」（19.2%）、「観光施設のホームページ・アプリ」（15.5%）である。

性別で見ると、「女性」が「男性」よりも10ポイント以上高い情報源として、「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」が11.7ポイント差（女性24.7%、男性13.0%）である。

年代別で見ると、「インターネット」は「20歳代」を除いた全ての年代で最も高くなっている。「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」は「20歳代」（56.8%）が最も高い。



お出かけ中に参考にした情報源（上位 10 項目、性別・年代別・旅行形態別）



港区が提供する観光情報の内容に対する満足度はどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

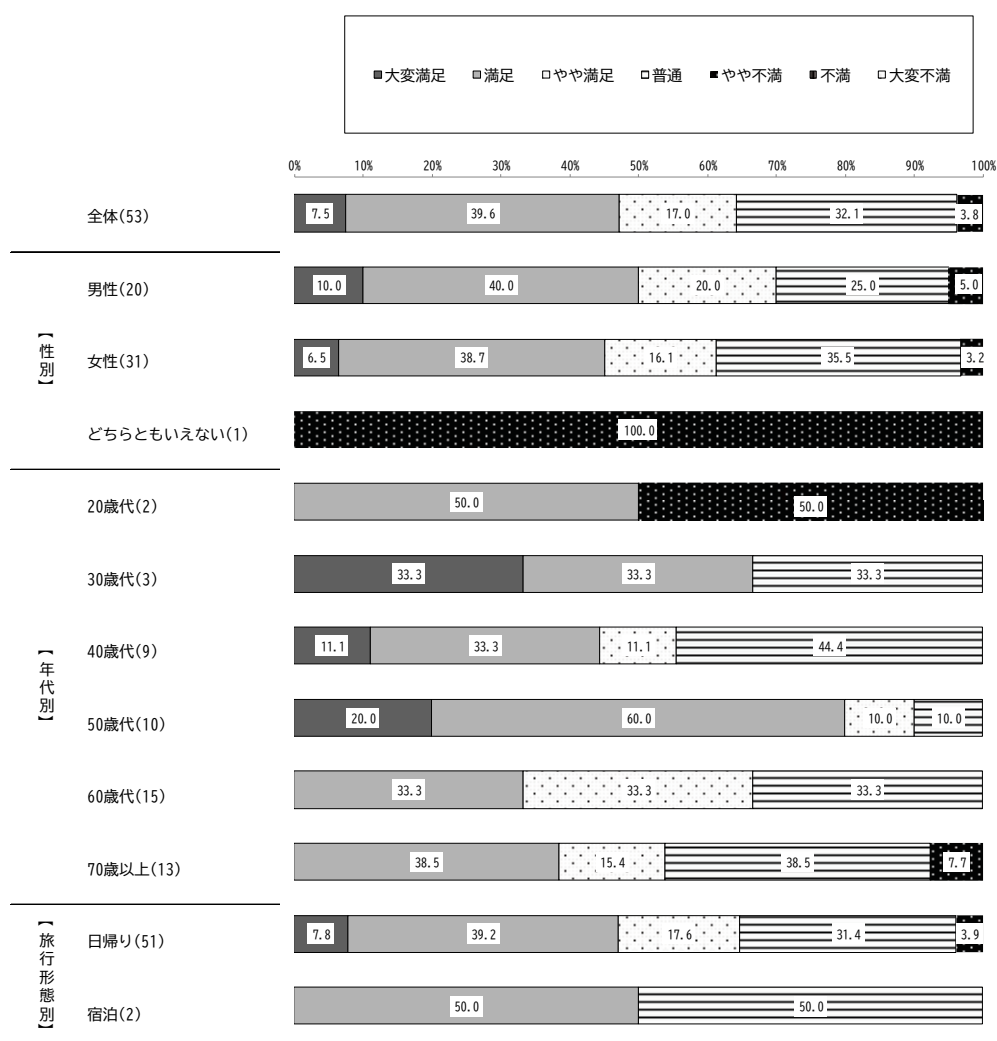
【観光情報の内容に対する満足度】

全体では、「満足」（39.6%）が4割と最も高く、次いで「普通」（32.1%）、「やや満足」（17.0%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（64.1%）は6割半ばである。

性別で見ると、「女性」は「満足」（38.7%）が4割近くと最も高く、次いで「普通」（35.5%）、「やや満足」（16.1%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（61.3%）は6割を超える。

旅行形態別で見ると、「日帰り」は「満足」（39.2%）が約4割と最も高く、次いで「普通」（31.4%）、「やや満足」（17.6%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（64.6%）は6割半ばである。

観光情報の内容に対する満足度



(注) 回答対象者から「無回答」を除いて割合を算出している（例：「全体」の場合、無回答者(n=16)を除いたn=53を総数としている）。以降の満足度を算出する設問は同様。

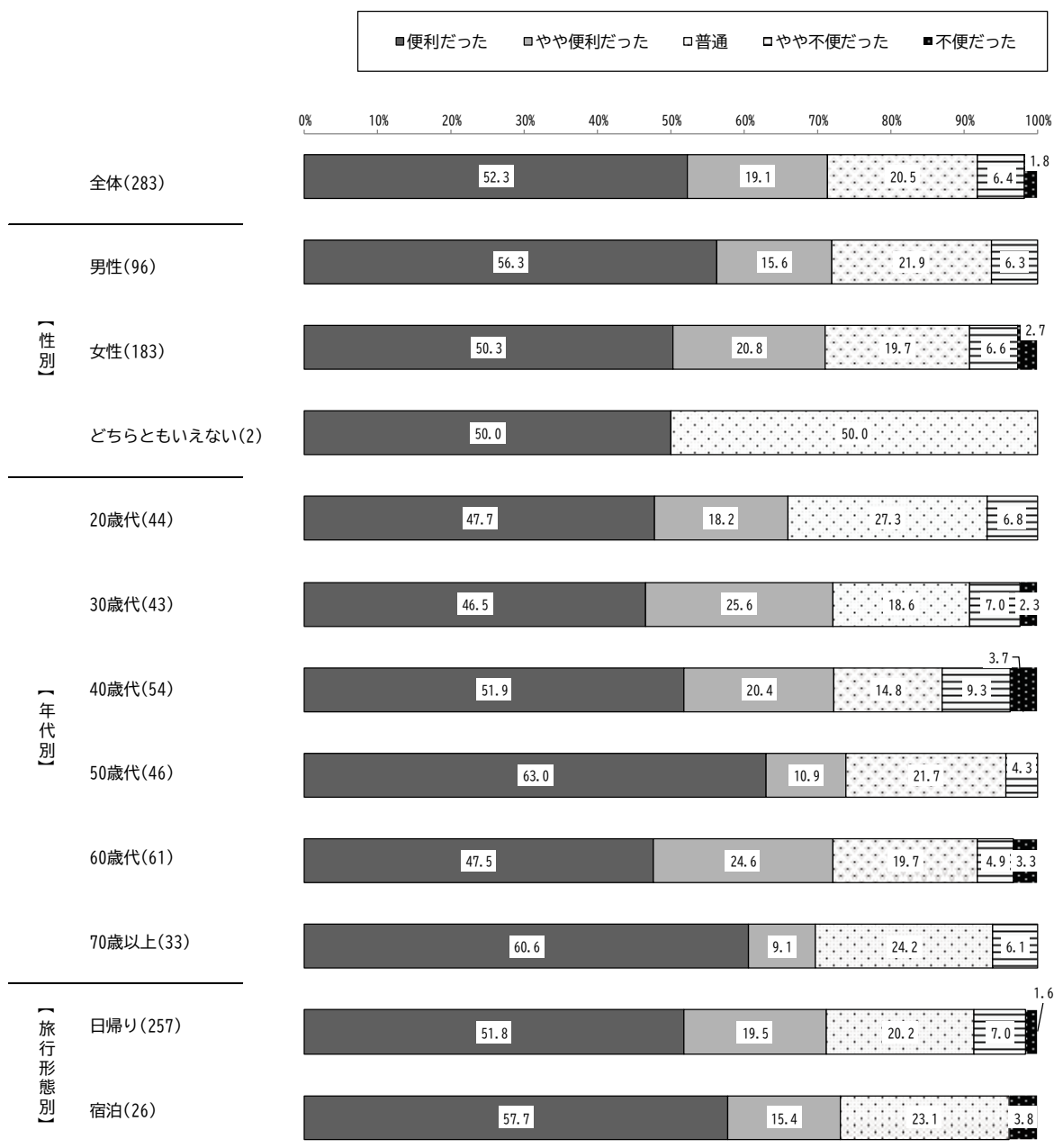
交通アクセスの状況はいかがでしたか。（あてはまるもの1つに○）

【交通アクセスの満足度】

全体では、「便利だった」（52.3%）が5割を超えて最も高く、次いで「普通」（20.5%）である。「便利だった」及び「やや便利だった」を合わせた『便利だった』（71.4%）は7割を超えている。

年代別でみると、「便利だった」がどの年代においても最も高い。

交通アクセスの満足度



港区は平成 28 年 5 月に策定した「港区シティプロモーション戦略」に基づき、国内外の人々に港区の魅力やブランド、都市イメージを伝えるためのシティプロモーションを推進しています。その一環として、港区の都市イメージを表現し、魅力を伝える「シティプロモーションシンボルマーク」を作成し活用しています。あなたはシティプロモーションシンボルマークをご存じですか。（あてはまるもの 1 つに○）

【シティプロモーションシンボルマークの認知度】

全体では、「見たことがない」（71.1%）が最も高く、次いで「見たような気がする」（10.9%）である。

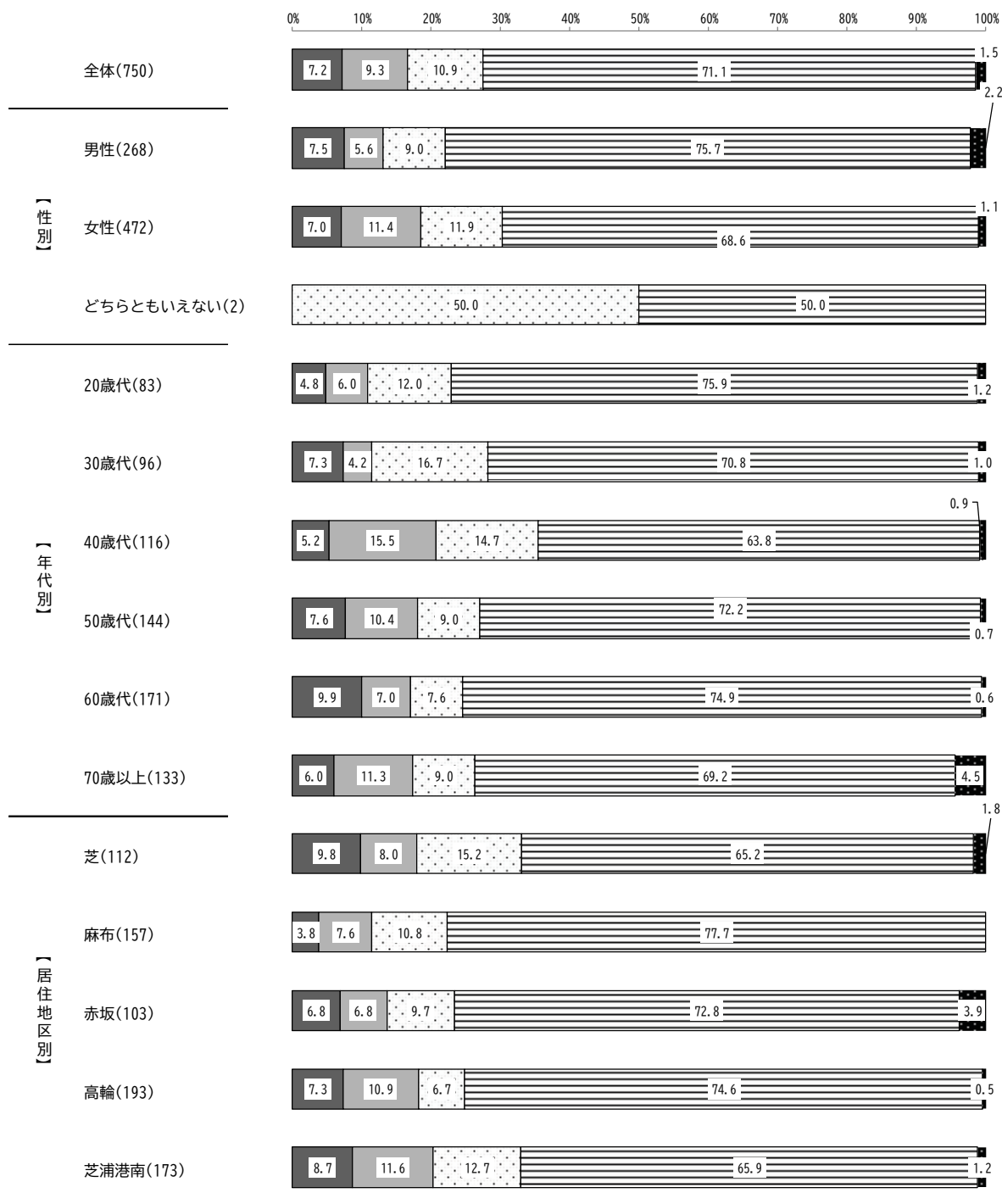
性別で見ると、「男性」よりも「女性」が「見たことはあるが、港区の都市イメージを表すマークであることは知らなかった」が 5 ポイント以上高い（男性 5.6%、女性 11.4%）。

年代別で見ると、「見たことがない」がどの年代においても最も高い。

居住地区別で見ると、「見たことがない」がどの地区においても最も高いが、「芝」（65.2%）と「芝浦港南」（65.9%）は全体（71.1%）と比べて 5 ポイント以上低く、他の 3 地区に比べると認知度が若干高いことが伺える。

シティプロモーションシンボルマークの認知度

- 見たことがあり、港区の都市イメージを表すマークであることを知っている
- 見たことはあるが、港区の都市イメージを表すマークであることは知らなかった
- ▨ 見たような気がする
- 見たことがない
- 無回答

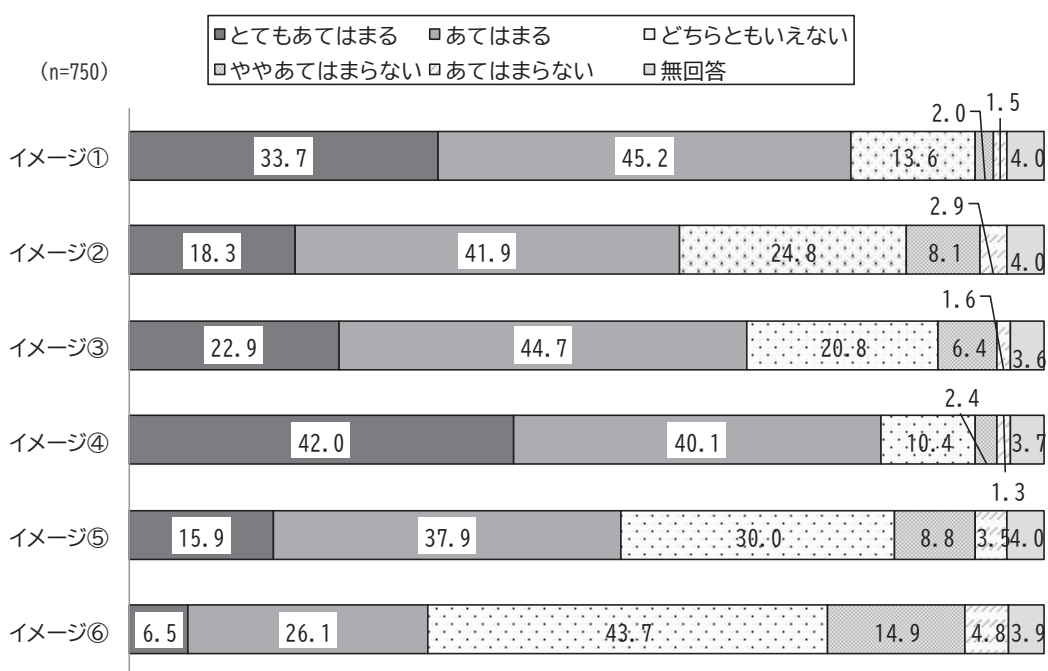


次に挙げる都市のイメージが港区に当てはまるかを教えてください。（イメージごとにあてはまるもの1つに○）

【都市イメージの評価】

全体では、「とてもあてはまる」及び「あてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も高いのは、イメージ④「アクセス性に富んだ便利な都市」（82.1%）であり、次いでイメージ①「国内外に開かれ多様性を受け入れる都市」（78.9%）である。

都市イメージの評価（全体）



※イメージ①～⑥の凡例

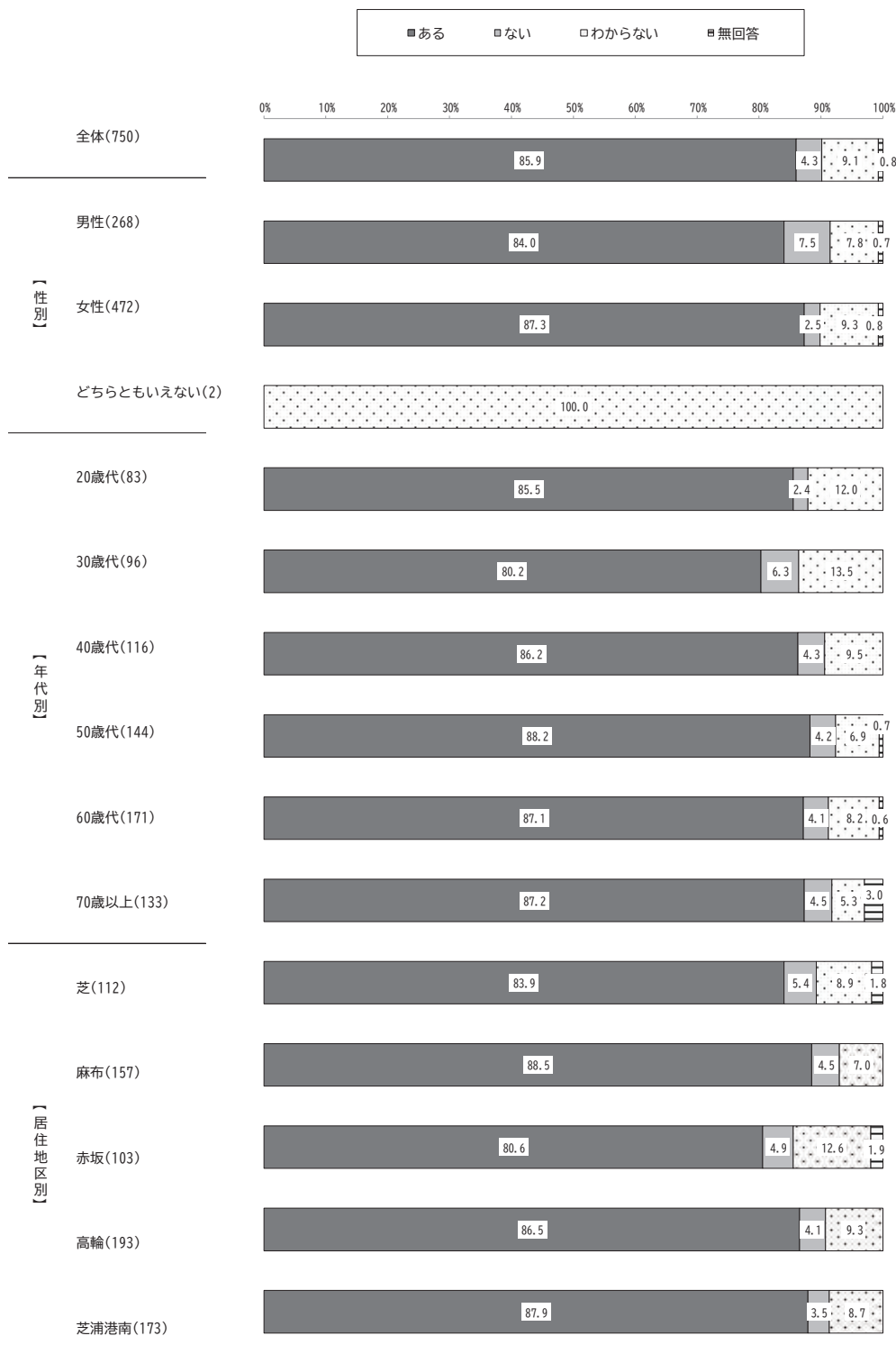
- イメージ① 国内外に開かれ多様性を受け入れる都市
- イメージ② 文化芸術の彩りと歴史が息づく都市
- イメージ③ 安全で安心できる都市
- イメージ④ アクセス性に富んだ便利な都市
- イメージ⑤ 街並みの美しさで魅了する都市
- イメージ⑥ 温かい優しさと活気に包まれる都市

港区に住んでいることについて誇りや愛着はありますか。（あてはまるもの1つに○）

【港区に住んでいることについての誇りや愛着】

全体では、「ある」（85.9%）が最も高く、8割半ばである。性別・年代別・居住地区別のいずれにおいても「ある」が最も高い。

港区に住んでいることについての誇りや愛着



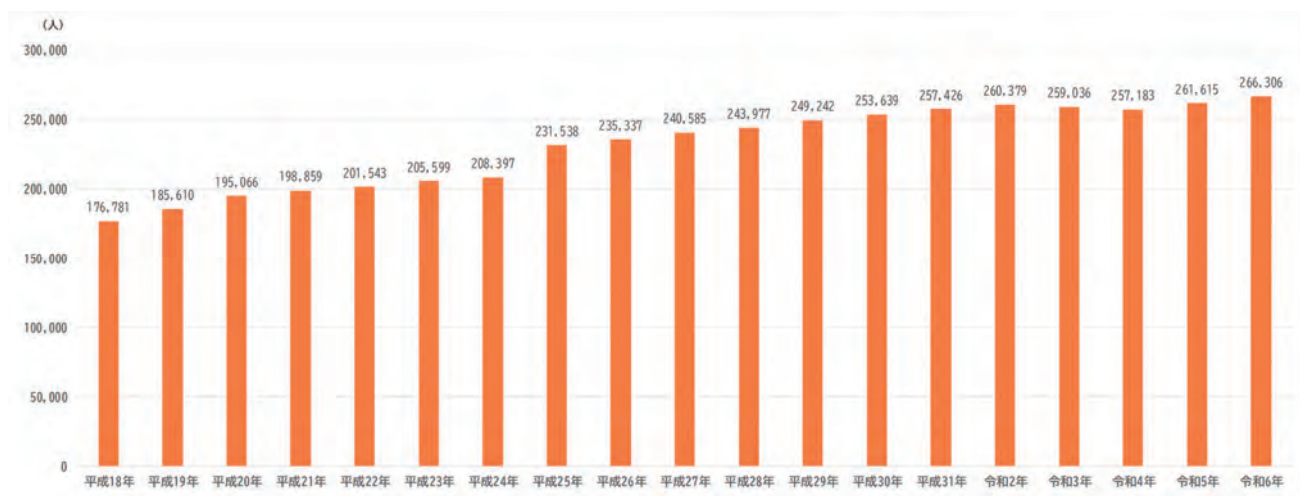
4 港区の人口等動向

(1) 人口

① 人口の推移

住民基本台帳によると、港区の人口は、平成8（1996）年に一時15万人を割り込む状況となりましたが、その後は増加傾向になり、平成29（2017）年2月15日には、昭和38（1963）年以来、54年ぶりに25万人に回復しました。令和6（2024）年1月1日時点では26万人を超えて推移しています。

港区の人口の推移

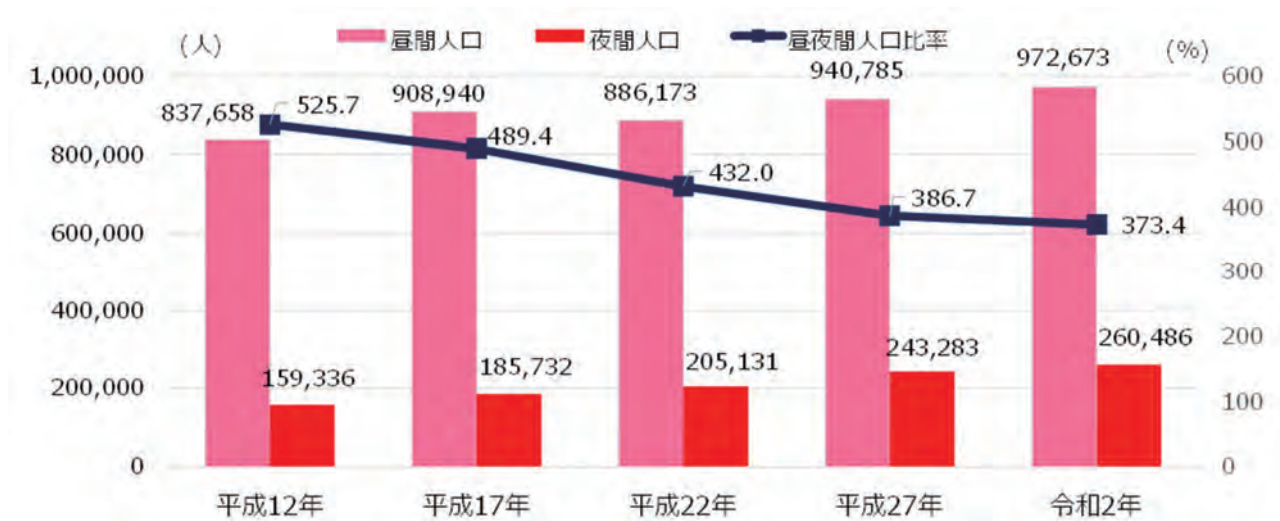


出典：「住民基本台帳」（港区）を基に、各年1月1日の数値を掲載

② 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率

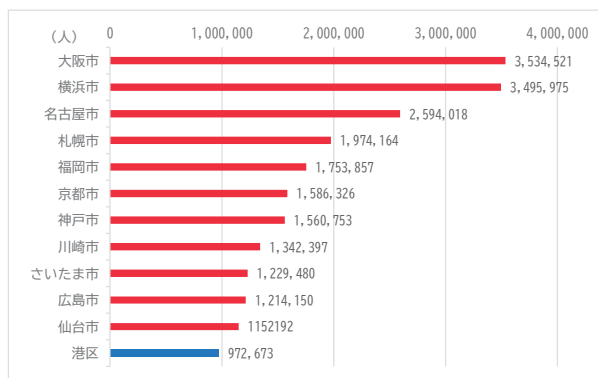
国勢調査によると、港区の昼間人口は令和2（2020）年時点で約97万人に達し、東京都内で最も多く、全国でも12番目に多くなっています。また、昼夜間人口比率は、千代田区、中央区に次いで3番目の約373%となっています。

昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移

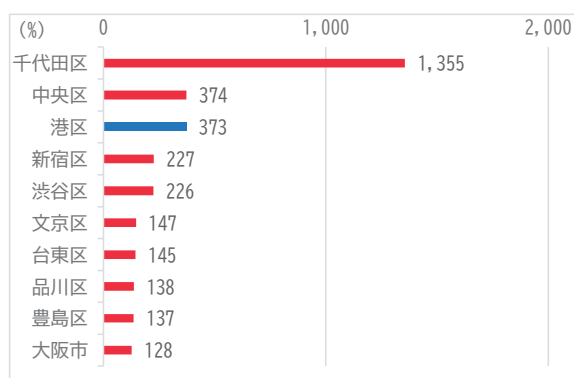


出典：「令和2年国勢調査」（総務省）

昼間人口の比較（上位12位）



昼夜間人口比率の比較（上位10位）

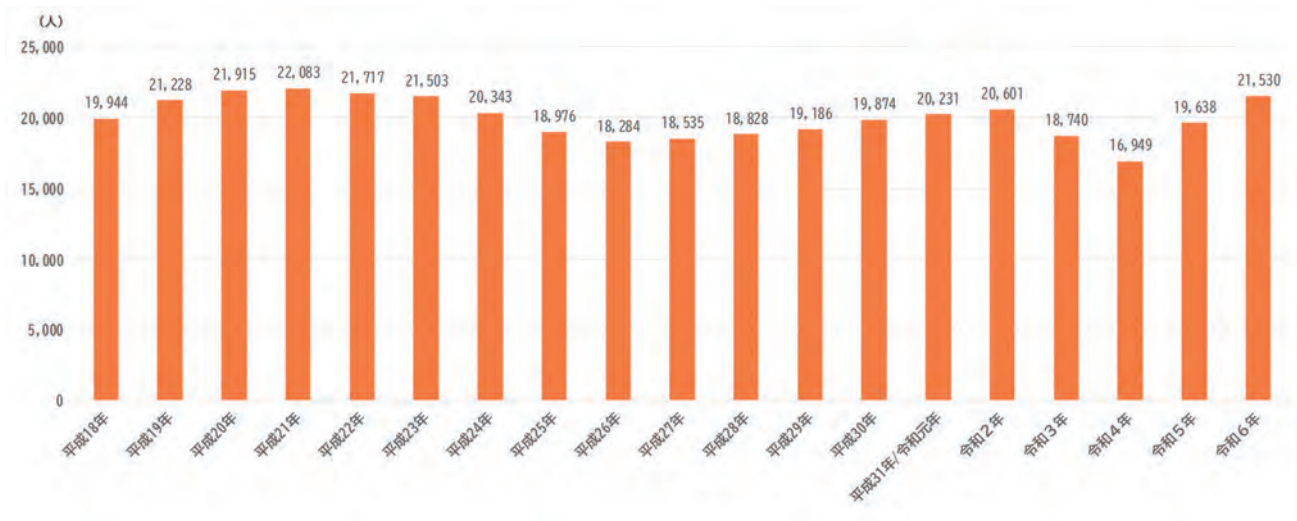


出典：「令和2年国勢調査」（総務省）を基に、政令指定都市及び東京都の区市町村で比較

③ 外国人住民数

港区の外国人住民数が総人口に占める外国人の割合は、令和6（2024）年で約8％となっています。令和3（2021）年・令和4（2022）年は減少したものの、令和5（2023）年より回復傾向に転じています。

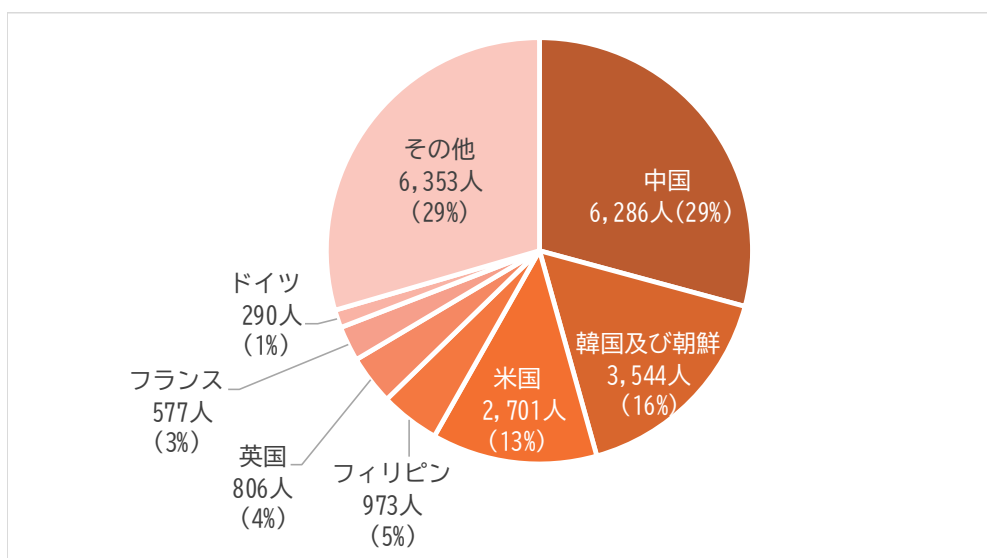
外国人住民数の推移



出典：平成24（2012）年以前は「外国人登録原票」（港区）、平成25（2013）年以降は「住民基本台帳」（港区）を基に、各年1月31日の数値を掲載

港区の外国人住民数を国籍別にみると、中国が6,286人（29％）と最も多く、次いで韓国及び朝鮮3,544人（16％）、米国2,701人（13％）となっています。

外国人住民の国籍



出典：「住民基本台帳」（港区）を基に、令和6（2024）年1月31日の数値を掲載

5 港区の文化財・美術館・博物館等

(1) 文化財 国指定

国宝・重要文化財（建造物）

NO	名称
1	旧台徳院霊廟惣門
2	旧朝香宮邸正門
3	旧朝香宮邸茶室
4	旧朝香宮邸本館
5	旧朝香宮邸倉庫
6	旧朝香宮邸自動車庫
7	旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）
8	慶応義塾三田演説館
9	慶応義塾図書館
10	瑞聖寺大雄宝殿
11	増上寺三解脱門
12	明治学院インブリー館
13	有章院（徳川家継）霊廟二天門
14	武家屋敷門

国宝・重要文化財（美術工芸品）

NO	名称
15	秋野蒔絵手箱
16	蘆屋松梅図真形釜
17	飛鳥井雅経筆懐紙（詠晚紅葉和歌）
18	雨漏茶碗
19	一山一掌墨蹟（正和丙辰十月下游）
20	井戸茶碗（柴田）
21	色絵花鳥文八角大壺〈伊万里／〉
22	色絵五艘船図大平鉢〈伊万里／〉
23	色絵山寺図茶壺〈仁清作／〉
24	江戸城造営関係資料（甲良家伝来）
25	小倉山蒔絵硯箱
26	解剖存真図（南小柿亭一筆）
27	春日山蒔絵硯箱
28	堅手茶碗（長崎）
29	唐物肩衝茶入〈銘松屋／〉
30	岩偶
31	岩版
32	観世音菩薩受記経
33	穰首養養地竜文尊〈図形文字一／〉
34	穰首養養地竜文方壘〈図形文字一／〉
35	居湮和尚墨蹟〈弔白雲惠曉偈／〉
36	清水・住吉図蒔絵螺鈿西洋双六盤
37	桐竹鳳凰蒔絵文台及硯箱
38	金欄手下蕪花生
39	月礪文明墨蹟〈拈香語／〉
40	月江正印墨蹟〈玉泉字号偈／至正八年仲冬〉

NO	名称
41	月江正印墨蹟〈与楚雙峯偈語／至正三年二月十八日〉
42	絹本著色愛染曼荼羅図
43	絹本著色愛染明王像
44	絹本著色愛染明王像
45	絹本著色阿弥陀如来像
46	絹本著色鶉図
47	絹本著色春日補陀落山曼荼羅図
48	絹本著色春日宮曼荼羅図
49	絹本著色華嚴五十五所繪
50	絹本著色五百羅漢図〈伝明兆筆／東福寺伝来〉
51	絹本著色金剛界八十一尊大曼荼羅図
52	絹本著色釈迦如来像
53	絹本著色釈迦八相図
54	絹本著色夕陽山水図〈馬麟筆／〉
55	絹本著色善光寺如来縁起絵
56	絹本著色銭塘觀潮図
57	絹本著色大威徳明王像
58	絹本著色大日如来像
59	絹本著色那智滝図
60	絹本著色普賢十羅刹女像
61	絹本著色仏涅槃図
62	絹本著色法相宗曼荼羅図
63	絹本墨画古木牧牛図〈毛倫筆／〉
64	絹本墨画羅漢図〈／（第五諾矩尊者）〉
65	高麗青磁蓮華唐草文水瓶
66	古今集〈藤原為氏筆／〉
67	後鳥羽院御抄〈并／〉越部禪尼消息
68	金光明最勝王經註釈〈卷第二断簡／（飯室切）〉
69	紺紙銀字華嚴經卷第卅六〈（二月堂焼経）／〉
70	金銅鉢
71	根本百一羯磨〈卷第六／〉
72	嵯峨山蔭絵硯箱
73	相良家文書
74	錆藍金絵繪替皿〈尾形乾山作／〉
75	子元祖元墨蹟（弘安三年中夏）
76	紙本淡彩山水図〈祥啓筆／〉
77	紙本著色三十六歌仙切〈（順）／佐竹家伝来〉
78	紙本著色四季花鳥図〈／六曲屏風〉
79	紙本著色酒伝童子絵巻〈狩野元信筆／〉
80	紙本墨画淡彩山水図〈曾我紹仙筆／〉
81	宗峰妙超墨蹟（元亨壬戌）
82	寿老図六角皿〈尾形乾山作／尾形光琳画〉
83	順正理論卷第六残卷
84	徐公文集（宋刊本）
85	青磁花瓶
86	青磁筒花生〈銘大内筒／〉
87	石造浮彫十一面観音龕
88	宋版韓集拳正
89	宋版大唐三蔵取経詩話（高山寺本）
90	双羊尊
91	染付松樹文三脚皿〈鍋島／〉
92	大かうさまくんきのうち〈太田牛一筆／〉
93	大乘掌珍論〈卷上残巻／〉
94	大乘法界無差別論疏〈成弁筆／〉
95	大唐内典録〈卷第九 第十残巻／〉
96	大般若経卷五十七残巻
97	大般若経卷第二十三
98	大般若経卷第二百六十七
99	短刀〈銘則重／〉
100	註楞伽經〈卷第七／〉

NO	名称
101	長生殿蒔絵手筥
102	対馬宗家関係資料
103	東大寺文書〈(二十四通)／六曲屏風〉
104	養養菱鳳文甌〈図形文字一／〉
105	養養菱鳳文方彝〈文字六／〉
106	養養馳竜文尊〈図形文字一／〉
107	養養文罍〈図形文字一／〉
108	養養文方盃〈文字一／〉
109	内大臣殿歌合〈／元永二年七月〉
110	日英修好通商条約
111	日仏修好通商条約
112	日米修好通商条約
113	日米条約調印書〈／安政四年五月二十六日〉
114	日米和親条約批准書交換証書〈／安政二年正月五日〉
115	鼠志野亀甲文茶碗(山端)
116	花白河蒔絵硯箱
117	不空三蔵表制集巻第五
118	浮線綾螺鈿蒔絵手箱
119	宝相華銀平文袈裟箱
120	丸壺茶入(相坂)〈瀬戸／〉
121	明極楚俊墨蹟(元徳二年仲春上澣五日)
122	明染付花卉文大皿
123	武蔵国日吉矢上古墳出土品
124	無量義經(裝飾経)
125	観普賢経〈(裝飾経)／〉
126	木造地藏菩薩立像
127	竜巖徳真墨蹟〈与無夢一清偈／至順二年辛未重陽後十日〉
128	紙本墨画漁村夕照図〈伝牧谿筆／〉
129	紙本金地著色燕子花図〈尾形光琳筆／六曲屏風〉
130	紙本墨画禅機図断簡〈因陀羅筆／(布袋図)〉
131	紙本墨画竹雀図
132	紙本著色病草紙断簡(不眠の女)
133	紙本淡彩山水図〈伝周文筆／〉
134	紙本淡彩観瀑図
135	紙本墨画風雨山水図
136	紙本著色瓜虫図〈呂敬甫筆／自賛がある〉
137	紙本金地著色藤花図〈円山応挙筆／六曲屏風〉
138	紙本著色絵過去現在因果経〈巻第二／〉
139	紙本著色天狗草紙
140	紙本著色十二因縁絵巻
141	紙本墨画善教房絵詞
142	紙本金地著色泰西王侯騎馬図〈／四曲屏風〉
143	紙本金地著色南蛮人渡来図〈／六曲屏風〉
144	紙本著色鶏飼図〈狩野探幽筆／六曲屏風〉
145	銅造〈釈迦如来／多宝如来〉並坐像
146	石造如来立像

史跡名勝天然記念物

NO	名称
147	浅野長矩墓および赤穂義士墓
148	江戸城外堀跡
149	荻生徂徠墓
150	旧芝離宮庭園
151	旧白金御料地
152	旧新橋停車場跡及び高輪築堤跡
153	佐藤一斎墓
154	品川台場
155	善福寺のイチョウ
156	高輪大木戸跡
157	東禅寺

登録有形文化財（建造物）

NO	名称
158	大倉集古館陳列館
159	大橋茶寮表門
160	大橋茶寮茶室葵
161	大橋茶寮茶室桂
162	大橋茶寮茶室守貧庵
163	大橋茶寮茶室如庵写
164	大橋茶寮茶室山吹
165	大橋茶寮中門
166	大橋茶寮不老門
167	大橋茶寮堀
168	菊池寛実記念智美術館別館
169	キリスト友会フレンズセンター
170	廣度院表門及び練堀
171	国際文化会館本館
172	常行院納骨堂
173	常照院本堂内陣
174	心光院表門
175	心光院本堂
176	東京水産大学雲鷹丸
177	東京タワー
178	虎ノ門大坂屋砂場店舗
179	堀商店
180	三菱電機高輪荘蔵
181	三菱電機高輪荘主屋
182	三菱電機高輪荘洋館
183	妙定院上土蔵
184	妙定院熊野堂

出典：文化庁「国指定文化財データベース」

(令和4(2022)年12月「第4次港区観光振興ビジョン策定にかかる観光動態基礎調査」時)

東京都指定

天然記念物

NO	名称
1	芝東照宮のイチヨウ
2	旧細川邸のシイ

史跡

NO	名称
3	西久保八幡貝塚
4	亀塚
5	芝丸山古墳
6	杉田玄白墓

旧跡

NO	名称
7	最初のアメリカ公使宿館跡
8	最初のフランス公使宿館跡
9	最初のオランダ公使宿館跡
10	安島直円墓
11	巖谷小波宅跡
12	毛利甲斐守邸跡
13	浅野土佐守邸跡
14	水野監物邸跡
15	大田隆正墓
16	英一蝶墓
17	曾根吉正墓
18	勝安房邸跡
19	佐藤直方墓
20	井部香山墓
21	林鶴梁墓
22	西郷・勝両氏会見地
23	江川氏訓練場跡
24	福沢・近藤両翁学塾跡

有形文化財（古文書）

NO	名称
25	善福寺文書

有形文化財（考古資料）

NO	名称
26	萩藩毛利家下屋敷跡出土地鎮具
27	飯田町遺跡735号遺構出土理兵衛焼
28	東片町遺跡 第199号遺跡講出土品一括

有形文化財（彫刻）

NO	名称
29	木造十六羅漢像（三解脱門安置）
30	木造阿彌陀如来坐像
31	木造釈迦如来及び両脇侍像（三解脱門安置）
32	木造四天王立像 康伝作
33	木造広目天立像
34	木造徳川家康坐像

有形文化財（建造物）

NO	名称
35	氷川神社社殿
36	増上寺経蔵
37	旧赤坂仮皇居御会食所（明治記念館本館）

有形文化財（絵画）

NO	名称
38	紙本着色神馬額 「豊久図」とある（六曲屏風貼付）
39	紙本着色神馬額絵 落款を逸す（六曲屏風貼付）
40	紙本着色獅子額絵 「豊久図」とある（六曲屏風貼付）
41	紙本木版着色融通念仏縁起

出典：東京都「東京都文化財情報データベース」（令和6（2024）年1月現在）

港区指定

有形文化財（建造物）

NO	名称
1	明治学院記念館
2	増上寺旧方丈門
3	旧乃木邸及び馬小屋
4	明治学院礼拝堂
5	銅鳥居
6	増上寺景光殿(旧広書院)表門
7	清正公堂及び山門
8	善福寺本堂
9	旧協働会館
10	大門
11	承教寺鐘楼
12	旧公衆衛生院
13	旧畠山一清邸 翠庵・明月軒・沙那庵・浄楽亭・毘沙門堂
14	高輪プリンスホテル観音堂・鐘楼・山門

有形文化財（絵画）

NO	名称
15	五百羅漢図
16	長沢芦雪筆人物図
17	一の谷・屋島合戦図屏風
18	羅漢図
19	法然上人行状絵
20	法然上人伝絵詞
21	琴棋書画図屏風
22	阿弥陀三尊図
23	英一蝶筆釈迦如来画像
24	寒山拾得図
25	涅槃図
26	涅槃図
27	月岡芳年筆『ま』組火消し絵馬
28	釈迦八相祇園精舎曼荼羅 付『萬松山曼陀羅之記』 『文化五辰年於阿弥陀寺泉岳寺開帳全』
29	絹本着色普照国師(隱元隆琦)像 土佐光起筆高泉性とん賛
30	広尾稲荷拝殿天井墨龍図 高橋由一筆
31	涅槃図
32	紙本着色蓮舟観音図 加藤信清筆
33	箱根詣図 建部崇兆筆
34	五百羅漢図下図 狩野一信筆
35	五百羅漢図下図 狩野一信筆
36	紙本着色出山釈迦図 加藤信清筆
37	円山応挙筆 絹本着色出山釈迦図
38	絹本着色当麻曼荼羅図
39	絹本着色観智国師肖像
40	紙本着色琴棋書画図屏風

有形文化財（彫刻）

NO	名称
41	木造毘沙門天像
42	銅造阿弥陀如来及両脇侍立像
43	木造釈迦如来及阿難・迦葉像
44	神楽面 付神楽面目錄
45	木造阿弥陀如来立像
46	閻魔大王坐像および司録・司命半跏像
47	木造阿弥陀如来坐像
48	漆喰造彩色 天野屋利兵衛像 入江長八作
49	木造仁王像
50	木造僧形坐像
51	木造二天立像
52	木造歴代上人坐像

有形文化財（工芸品）

NO	名称
53	増上寺梵鐘
54	圓通寺梵鐘
55	承教寺梵鐘

有形文化財（書跡）

NO	名称
56	奈良時代写経
57	瑞聖寺所蔵墨蹟
58	松平不昧 狂歌小幅
59	大田蜀山人筆 狂歌屏風・漢詩屏風
60	勝海舟書画卷
61	白隠慧鶴筆「金剛窟」（室号）
62	増上寺所蔵浄土三部経（紺紙金字）

有形文化財（古文書）

NO	名称
63	松平不昧・月潭書状
64	足利直義御教書
65	足利成氏文書
66	徳川將軍家朱印状 付目錄・条目・写し
67	吉良氏朱印状
68	増上寺所蔵文書
69	伊奈半十郎忠治書状
70	天文・永祿年間 古券巻
71	増上寺十三世正誉廂山自筆涅槃図置文
72	源誉存応関係文書
73	反町文書
74	久保家文書
75	麻布本村町沽券図
76	宇田川家文書
77	山本家文書
78	観智国師書状〈伝通院宛〉
79	曲直瀬家文書

有形文化財（古記録）

NO	名称
80	亜墨利加ミニストル旅宿記
81	外国書願留
82	御祭礼番附留
83	『芝新銭座町御高礼物揚場諸事記録』
84	弘化年間『屋舗五方相對替一件』記録
85	門前水帳
86	善福寺出張中日記

有形文化財（考古資料）

NO	名称
87	伊皿子貝塚遺跡出土遺物
88	雁木坂上遺跡N地点出土遺物
89	西久保八幡貝塚出土遺物

有形文化財（歴史資料）

NO	名称
90	広尾の庚申塔 付 水鉢
91	弥陀種子板碑
92	黒田清輝墓誌および副葬品
93	魚籃観世音靈験記等版木
94	金杉町焼印札
95	弥陀種子板碑
96	明治学院インブリー館建設関係資料
97	伝真柄直基所用 野郎頭兜
98	元禄七年銘 納経石塔
99	弥陀三尊種子板碑
100	古写真<井関盛良コレクション>
101	官軍兵士軍服 付 外套・シャツ
102	大巖宗碩関係資料
103	桜田学校設立奉賀帳
104	徳川家霊廟天井板
105	石製胞衣容器蓋 丹波篠山藩青山家中屋敷跡出土
106	牛供養塔及び二千七百六十人之霊供養塔
107	後久洋家具店製作家具図面及び関連書類
108	亀山碑
109	メーソン&ハムリン社製 リードオルガン
110	海蔵寺の庚申塔
111	青山の庚申塔
112	弥陀種子板碑
113	倉松屋嘉兵衛町屋敷絵図
114	東禅寺事件銀製メダル及び江幡家文書
115	紅葉館資料
116	品川台場関連資料
117	日本楽器製造株式会社製初期グランドピアノ

有形文化財（絵画及び歴史資料）

NO	名称
118	狩野一信関連資料（逸見家伝来）

有形文化財（歴史資料及び絵画）

NO	名称
121	松平不昧関係遺品

有形文化財

（歴史資料及び有形民俗文化財）

NO	名称
119	仙台藩伊達家胞衣桶 付 青銅製外容器及び内容物一括
120	会津松平家由来 常香盤（香盤時計）

無形文化財

NO	名称
122	工芸技術・指物制作
123	工芸技術・江戸表具
124	工芸技術・三味線製作

有形民俗文化財

NO	名称
125	芝金杉の漁具
126	銅造地藏菩薩坐像
127	魚籃寺奉納絵馬及び掛軸
128	芝大神宮の力石
129	日限地藏尊略縁起等版木
130	祭礼山車行列額絵
131	浄瑠璃人形頭及び衣装
132	奉納絵馬
133	市川莚升 大星由良之助図
134	赤坂氷川祭の山車人形 附 山車附属品

旧跡

NO	名称
141	尾崎紅葉生誕の地
142	大槻玄沢埋葬の地
143	日本近代初等教育発祥の地
144	永井荷風旧居「偏奇館」跡
145	明和の大火死者供養墓

天然記念物

NO	名称
147	増上寺のカヤ
148	氷川神社のイチヨウ

史跡

NO	名称
135	普光観智国師墓
136	ヒュースケン墓
137	伊澤蘭軒墓
138	肥前佐賀藩主鍋島家墓所
139	日本経緯度原点
140	看護婦教育所発祥の地

名勝

NO	名称
146	旧岩崎邸庭園

出典：港区立郷土歴史館「港区文化財総合目録登録一覧」（令和5（2023）年10月時点）

(2) 博物館・美術館

	館名		所在地
1	秋山庄太郎写真芸術館	107-0062	港区南青山4-18-9
2	味の素食の文化センター 食の文化ライブラリー	108-0074	港区高輪3-13-65 (味の素グループ高輪研修センター内)
3	アド ミュージアム 東京	108-7090	港区東新橋1-8-2 カレッタ汐留
4	NHK放送博物館	105-0002	港区愛宕2-1-1
5	大倉集古館	105-0001	港区虎ノ門2-10-3
6	岡本太郎記念館	107-0062	港区南青山6-1-19
7	外務省 外交史料館	106-0041	港区麻布台1-5-3
8	菊池寛実記念 智美術館	105-0001	港区虎ノ門4-1-35
9	気象庁気象科学館	105-8431	港区虎ノ門3-6-9
10	北里柴三郎記念館	108-8641	港区白金5-9-1
11	旧新橋停車場 鉄道歴史展示室	105-0021	港区東新橋1-5-3
12	共同通信社 ニュースアート	105-7201	港区東新橋1-7-1
13	慶應義塾大学アート・センター	108-8345	港区三田3-2-5
14	福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館	108-8345	港区三田2-15-45
15	慶應義塾ミュージアム・commons	108-8345	港区三田2-15-45
16	国立科学博物館附属自然教育園	108-0071	港区白金台5-21-5
17	国立新美術館	106-8558	港区六本木7-22-2
18	サントリイ美術館	107-8643	港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン
19	赤十字情報プラザ	105-8521	港区芝大門1-1-3
20	泉屋博古館東京	106-0032	港区六本木1-5-1
21	泉岳寺 赤穂義士記念館	108-0074	港区高輪2-11-1
22	増上寺宝物展示室	105-0011	港区芝公園4-7-35
23	TEPIA 先端技術館	107-0061	港区北青山2-8-44
24	21 21 DESIGN SIGHT	107-0052	港区赤坂9-7-6 東京ミッドタウン
25	東京海洋大学 マリンサイエンスミュージアム	108-8477	港区港南4-5-7
26	東京都庭園美術館	108-0071	港区白金台5-21-9
27	東京都立中央図書館	106-8575	港区南麻布5-7-13
28	東京ミッドタウン・デザインハブ	107-6205	港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階
29	TOTOギャラリー・間	107-0062	港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル
30	虎屋 赤坂ギャラリー	107-8401	港区赤坂4-9-22
31	ニコミュージアム	108-6290	港区港南2-15-3 品川インターシティC棟2階
32	根津美術館	107-0062	港区南青山6-5-1
33	畠山記念館	108-0071	港区白金台2-20-12
34	パナソニック汐留美術館	105-8301	港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
35	フジフィルムスクエア	107-0052	港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン
36	物流博物館	108-0074	港区高輪4-7-15
37	紅ミュージアム	107-0062	港区南青山6-6-20
38	マクセル アクアパーク品川	108-8611	港区高輪4-10-30 品川プリンスホテル
39	松岡美術館	108-0071	港区白金台5-12-6
40	港区立郷土歴史館	108-0071	港区白金台4-6-2
41	港区立みなと科学館	105-0001	港区虎ノ門3-6-9
42	明治学院歴史資料館	108-8636	港区白金台1-2-37
43	森美術館	106-6150	港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階
44	ヤマトグループ歴史館 クロネコヤマトミュージアム	108-0075	港区港南2-13-26 ヤマト港南ビル6階
45	ヨックモックミュージアム	107-0062	港区南青山6-15-1

(3) 大使館

NO	名称	住所
1	イタリア大使館	港区三田 2-5-4
2	オーストラリア大使館	港区三田 2-1-14
3	オランダ王国大使館	港区芝公園 3-6-3
4	キルギス共和国大使館	港区三田 1-5-7
5	コソボ共和国大使館	港区西新橋 3-13-7 VORT虎ノ門サウスビル10階
6	チリ共和国大使館	港区芝 3-1-14 芝公園阪神ビル8階
7	ナイジェリア連邦共和国大使館	港区虎ノ門 3-6-1
8	ハンガリー大使館	港区三田 2-17-14
9	ボツワナ共和国大使館	港区芝 4-5-10 ACN田町ビル6階
10	マーシャル諸島共和国大使館	港区西新橋 3-13-7 VORT虎ノ門South3階
11	マルタ共和国大使館	港区虎ノ門 4-3-20 神谷町MTビル14階 41~43号室
12	ウルグアイ東方共和国大使館	港区芝大門 1-2-1 大門KSビル7階
13	ノルウェー王国大使館	港区芝公園 3-4-30 32芝公園ビル9階
14	ポリビア多民族国大使館	港区芝公園 3-4-30 32芝公園ビル802、804号室
15	アフガニスタン・イスラム共和国大使館	港区麻布台 2-2-1
16	アルゼンチン共和国大使館	港区元麻布 2-14-14
17	イラン・イスラム共和国大使館	港区南麻布 3-13-9
18	ウクライナ大使館	港区西麻布 3-5-31
19	エクアドル共和国大使館	港区麻布台 3-5-7 麻布アメレックスビル8階
20	エルサルバドル共和国大使館	港区西麻布 3-20-5 西麻布清美堂ビル
21	オーストリア共和国大使館	港区元麻布 1-1-20
22	カザフスタン共和国大使館	港区麻布台 1-8-14
23	カタール国大使館	港区元麻布 2-3-28
24	ガーナ共和国大使館	港区西麻布 1-5-21
25	キプロス共和国大使館	港区南麻布 4-6-28 ヨーロッパハウス4階
26	キューバ共和国大使館	港区東麻布 1-28-4
27	ギリシャ共和国大使館	港区西麻布 3-16-30
28	グアテマラ共和国大使館	港区東麻布 1-10-11 東麻布アベビル4階
29	コスタリカ共和国大使館	港区六本木 6-2-2 R-WEST
30	サウジアラビア王国大使館	港区六本木 1-8-4
31	サモア独立国大使館	港区麻布台 3-5-7 麻布アメレックスビル5階
32	サンマリノ共和国大使館	港区元麻布 3-5-1
33	ジャマイカ大使館	港区元麻布 2-13-1
34	シンガポール共和国大使館	港区六本木 5-12-3
35	スイス大使館	港区南麻布 5-9-12
36	スペイン王国大使館	港区六本木 1-3-29
37	スロバキア共和国大使館	港区元麻布 2-11-33
38	大韓民国大使館	港区南麻布 1-2-5
39	中華人民共和国大使館	港区元麻布 3-4-33
40	ドイツ連邦共和国大使館	港区南麻布 4-5-10
41	トンガ王国大使館	港区麻布台 1-9-10 飯倉ITビル2階
42	ナミビア共和国大使館	港区麻布台 3-5-7 AMEREXビル
43	ハイチ共和国大使館	港区東麻布 1-10-11 東麻布アベビル7階
44	パキスタン・イスラム共和国大使館	港区南麻布 4-6-17
45	パナマ共和国大使館	港区六本木 3-15-5
46	パラオ共和国大使館	港区東麻布 2-21-11
47	フィジー共和国大使館	港区麻布台 2-3-5 ノア・ビルディング14階
48	フィリピン共和国大使館	港区六本木 5-15-5
49	フィンランド共和国大使館	港区南麻布 3-5-39
50	フランス共和国大使館	港区南麻布 4-11-44
51	ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	港区南麻布 5-3-29 ガーデニアビルディング2階、3階
52	ポルトガル大使館	港区西麻布 3-6-6
53	ホンジュラス共和国大使館	港区東麻布 1-10-11 東麻布アベビル5階
54	マダガスカル共和国大使館	港区元麻布 2-3-23
55	マルディフ共和国大使館	港区麻布台 1-9-10 飯倉ITビル8階
56	ラオス人民民主共和国大使館	港区西麻布 3-3-22
57	リトアニア共和国大使館	港区元麻布 3-7-18
58	ルーマニア大使館	港区西麻布 3-16-19
59	ロシア連邦大使館	港区麻布台 2-1-1
60	スウェーデン王国大使館	港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル16階
61	アメリカ合衆国大使館	港区赤坂 1-10-5
62	アルメニア共和国大使館	港区赤坂 1-11-36 Residence Viscountess#230
63	カナダ大使館	港区赤坂 7-3-38
64	カンボジア王国大使館	港区赤坂 8-6-9
65	コンゴ民主共和国大使館	港区南青山 2-9-21
66	ジョージア大使館	港区赤坂 1-11-36 Residence Viscountess#220
67	シリア・アラブ共和国大使館	港区赤坂 6-19-45 ホームマツ・ジェイド
68	スロベニア共和国大使館	港区南青山 7-14-12
69	バーレーン王国大使館	港区赤坂 1-11-36 レジデンス・バイカンテス710号
70	ブラジル連邦共和国大使館	港区北青山 2-11-12
71	モロッコ王国大使館	港区南青山 5-4-30
72	レソト王国大使館	港区赤坂 7-5-47 U&M赤坂ビル1丁目1階、3階
73	アイスランド大使館	港区高輪 4-18-26
74	ウズベキスタン共和国大使館	港区高輪 2-1-52
75	エチオピア連邦民主共和国大使館	港区高輪 3-4-1 高輪偕成ビル2階
76	エリトリア国大使館	港区白金台 4-7-4 白金台STビル第401号室
77	クウェート国大使館	港区三田 4-13-12
78	ジンバブエ共和国大使館	港区白金台 5-9-10
79	スリランカ民主社会主義共和国大使館	港区高輪 2-1-54
80	セルビア共和国大使館	港区高輪4-16-12
81	マラウイ共和国大使館	港区高輪 3-4-1 高輪偕成ビル5階、7階

6 各総合支所の主な観光関連事業

(1) 芝地区

事業名	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ「芝」～ 	<p>芝地区区民参画組織「芝会議」の「まちの魅力発掘部会」が芝地区の魅力を発掘・発信・創造します。「芝の語り部」による多彩なまち歩きツアーや歴史にまつわる講座を実施し、区内外の人に芝地区の歴史や文化、自然等を広く発信するとともに次世代の人材を育成します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹芝プロジェクト ～ともにつながる未来へ～ 	<p>竹芝エリアのまちづくりに関わる多様な主体と区民参画組織の連携・協働を深め、地域イベントの実施や、区民が竹芝を身近に体感できる取組等の企画を推進し、魅力と活気にあふれる地域づくりをめざします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSや地域情報誌等による地域情報の発信・共有 	<p>区民の編集委員とともにつくる芝地区地域情報誌や、芝地区総合支所の公式X（旧Twitter）、Instagram、ホームページ及び区設掲示板など様々な情報媒体を活用し、幅広い世代の多くの人と地域の情報を共有するとともに、アフターコロナに向けて新たな交流や地域活動のきっかけづくりを促進します。</p>

(2) 麻布地区

事業名	内容
・地域事業活性化プロジェクト	地域事業の携わった区民等が「麻布る縁さ～」となって、麻布地区に関する多様な情報を掲載する地域事業活性化プロジェクト専用のウェブサイトで、麻布の魅力を継続的に発信し、「麻布る縁さ～」の地域事業の経験を生かしたイベントを実施します。
・麻布地域の魅力伝承事業	今と昔の写真収集や撮影した写真の展示、講演会やまち歩きガイドツアーの実施、あざぶカルタなどを使用したイベントの開催など、麻布地区の地域事業と連携を図りながら、幅広い世代に麻布の魅力を発信します。
・SNSや地域情報紙等の活用による発信力の強化	区民等が主体となって編集する地域情報紙「ザ・AZABU」や区ホームページ、麻布地区総合支所のX（旧 Twitter）や港区 LINE 公式アカウント、地域SNSアプリ「PIAZZA」、「地域事業活性化プロジェクト」等で、地域事業の取組やイベント情報を積極的に発信します。また、外国人を含む多様な人々が住む麻布地区の特性や受け手のニーズの視点に立った情報発信のあり方を、区民とともに検討します。

(3) 赤坂地区

事業名	内容
・魅力発信プロジェクト ～赤坂親善大使&MY HOME TOWN～	赤坂・青山のマスコットキャラクター「赤坂親善大使」が、地域の行事やイベントに出演し地域の活性化を図ります。また、赤坂・青山イメージソング「MY HOME TOWN」をあらゆる場面で活用するなど、地域の行事やイベントに興味を持ってもらえるよう様々な手法により、効果的に情報発信を行います。
・赤坂・青山 魅力“知伝活”事業	区民参画によるICTを活用して、地域への関心の喚起や地域の愛着の醸成を図るため、地域の魅力発信事業を行います。
・連携自治体とのつながりを生かした魅力発信	区の施策や事業、課題に対して、全国の自治体との連携によって施策の実現、事業の発展、課題の解決を図るという視点を持ち、これまで交流を深めてきた岐阜県郡上市との更なる連携の発展や新たな分野での連携を検討します。また、赤坂地域に歴史的な縁のある和歌山県和歌山市との交流を推進します。

(4) 高輪地区

事業名	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高輪情報局 	<p>町会・自治会、商店会等が実施する催し物や日常の地域活動に関する情報などを収集し、高輪地区内のデジタルサイネージを用いて日常的に発信します。また、施設内にブラインドを設置しコンテンツを投影したり、双方向型のタッチパネル式デジタルサイネージの導入を検討するなど、区民が地域の情報を容易に入手できるよう活用する媒体を増やします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私が語る高輪今昔物語 	<p>区民参画メンバーが収集してきた過去や現在の写真などを、多様な切り口や視点から整理し、新しいホームページ上で公開。高輪地区の今と昔に関するストーリーをまとめ、まち歩き、展示会、動画配信等で発信します。また、メンバーが勧める高輪地区に関する書籍等を紹介する「高輪今昔物語ライブラリー」をホームページ上に開設するなど、高輪地区の魅力を地域の内外に広く発信します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて楽しむ地域の魅力発見・共有・発信 	<p>地域の区民や観光客など幅広い人々に高輪地区の歴史や文化などを発信し、地域の魅力に触れる機会を設けることで、まちの活性化につなげます。そのために、地域の自然や歴史的資産を区ホームページ、SNS、デジタルサイネージ、地域情報紙「みなとっぷ」で紹介するなど、歩いて楽しむ地域の魅力を発信します。また、地域の旧町名を刻んだ「旧町名由来板」を維持・管理し、幅広い人々にまちの歴史や魅力を知る機会を提供します。</p>

(5) 芝浦港南地区

事業名	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ みなとパーク芝浦等ふれあい交流事業 	<p>みなとパーク芝浦の各施設等や伝統文化交流館がそれぞれの特色を生かしながら連携し、世代を超える地域コミュニティの醸成及び地域の活性化を図ります。また、みなとパーク芝浦の共用部を、地域における世代間交流の場として提供します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ みずまちプロデュース事業 	<p>区民等との協働により「まち歩き」などのイベントを開催し、水辺への愛着と理解を深めます。また、芝浦港南地区の地域資源である運河や海辺の活用を図り、誰もが安らぎを感じられる、憩いの場として人々が集える環境づくりを推進します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運河の魅力向上の推進 	<p>運河に架かる橋りょう等のライトアップを行うことで、水辺空間の魅力向上を図るとともに、魅力的な夜間景観を創出し、地域と協働した運河クルーズ等を実施することで、芝浦港南地区の魅力 را 区内外に発信します。また、運河沿いの夜間景観を明るくすることで、地域のより安全・安心なまちづくりにつなげます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化交流館の運営 	<p>区指定有形文化財を港区立伝統文化交流館として活用し、一般に公開するとともに、伝統文化に関する公演や講座、展示を実施します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ お台場プラージュ 	<p>「泳げる海、お台場」の実現に向けた取組の一環として、主に地域住民との協働により、海水浴を開催します。また、令和6(2024)年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市であり、「泳げるセーヌ川」の復活をめざすパリ市と連携し、都心での海水浴事業の促進に向けて両区市で相互に協力しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区情報誌の発行 	<p>地域の区民と区がともに考え、行動する組織「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」を設置し、「人と人、町と町をつなぐふれあい情報誌」として創刊します。誌面を通して、人と町がふれあえるきっかけとなるような地域の魅力向上のための地区情報誌を発行します。</p>

7 港区観光振興プラン検討委員会 委員名簿

(敬称略)

区分	氏名	所属・肩書き
学識経験者 (委員長)	朝倉 はるみ	淑徳大学 経営学部 観光経営学科 教授
観光関係者	渡邊 仁久	一般社団法人港区観光協会 会長
	澤田 健	株式会社TOKYO TOWER 執行役員(ライツ・広報担当) 営業部長
	石坂 順子 (第1回～第3回)	東京モノレール株式会社 地域連携・観光開発推進室長
	江尻 祐子 (第4回～第5回)	東京モノレール株式会社 地域連携・観光開発推進室 主査
商業関係者	長尾 哲治	港区商店街連合会 副会長 ニュー新橋ビル商店連合会 連合会長
	小野田 賀人	東京商工会議所港支部 事務局長
	窪田 理恵子	株式会社八芳園 コンテンツプロデュース事業部 エグゼクティブプロデューサー
国際交流関係者	柴崎 早苗	一般財団法人港区国際交流協会 事務局長
	Chow Sophie (周 カン)	インフルエンサー／フリーランス
区民	唐木 ひろ子	港区観光ボランティアの会
	山口 謙二	港区観光ボランティアの会

8 港区シティプロモーション推進委員会 委員名簿

区分	氏名	所属
委員長	上村 隆	産業・地域振興支援部長
副委員長	宮内 宏之	産業・地域振興支援部観光政策担当課長
委員	西本 亨	芝地区総合支所協働推進課長
委員	河本 良江	麻布地区総合支所協働推進課長
委員	坂本 俊行	赤坂地区総合支所協働推進課長
委員	中村 美生	高輪地区総合支所協働推進課長
委員	中村 ゆかり	芝浦港南地区総合支所協働推進課長
委員	荒川 正行	産業・地域振興支援部国際化・文化芸術担当課長事務取扱 (文化芸術事業連携担当部長)
委員	中林 淳一	産業・地域振興支援部産業振興課長
委員	小笹 美由紀	企画経営部区長室長
臨時委員	佐藤 雅紀	街づくり支援部地域交通課長

9 港区観光振興プラン検討委員会 設置要綱

○港区観光振興プラン検討委員会設置要綱

平成22年7月21日

22港産第531号

(設置)

第1条 次期港区観光振興プランの策定に当たり、その内容について検討するため、港区観光振興プラン検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 港区観光振興プランの検証に関すること。
- (2) 港区観光振興プランの策定に関すること。
- (3) その他委員会が必要と認める事項

(構成)

第3条 委員会の構成は、次のとおりとし、委員は区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 1人
- (2) 観光関係者 3人
- (3) 商業関係者 3人
- (4) 国際交流関係者 2人
- (5) 港区観光ボランティアガイド 2人（港区民とする。）

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委員の委嘱日から当該委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、学識経験者の委員をもって充てる。

3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名し、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(招集)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して委員会への出席を求め、その意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第8条 委員会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、産業・地域振興支援部産業振興課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成22年7月21日から施行する。

付 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成29年6月1日から施行する。

付 則

この要綱は、令和2年6月1日から施行する。

付 則

この要綱は、令和5年9月1日から施行する。

10 港区シティプロモーション推進委員会 設置要綱

○港区シティプロモーション推進委員会設置要綱

平成27年9月7日
27港産観第383号

(設置)

第1条 区の魅力や取組を効果的に発信することで、将来にわたり区民や観光客、企業に選ばれ続けること、港区への区民の愛着や誇りをより一層高めていくことを目的として、港区観光振興プラン（以下「プラン」という。）の検討及び策定並びに港区シティプロモーション戦略（以下「戦略」という。）の推進のため、港区シティプロモーション推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) プランの検討及び策定に関すること。
- (2) 戦略の推進に関すること。
- (3) 港区観光大使に関すること。
- (4) その他戦略に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、産業・地域振興支援部長をもって充て、会務を統括する。

3 副委員長は、産業・地域振興支援部観光政策担当課長をもって充て、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

4 委員は、次に掲げる者で区長が任命する委員をもって構成する。

- (1) 芝地区総合支所協働推進課長
- (2) 麻布地区総合支所協働推進課長
- (3) 赤坂地区総合支所協働推進課長
- (4) 高輪地区総合支所協働推進課長
- (5) 芝浦港南地区総合支所協働推進課長
- (6) 産業・地域振興支援部国際化・文化芸術担当課長
- (7) 産業・地域振興支援部産業振興課長
- (8) 産業・地域振興支援部観光政策担当課長
- (9) 企画経営部区長室長

5 委員長は、前項各号に掲げる委員のほかに、必要と認める者を臨時委員として指名することができる。

(運営)

第4条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議録を作成し、これを保存しなければならない。

(定足数)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(意見聴取)

第6条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して委員会への出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、部会を置くことができる。

2 部会は、部会長及び部会員をもって組織する。

3 部会長及び部会員は、委員長が指名する。

4 部会の運営について必要な事項は、部会長が定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、産業・地域振興支援部観光政策担当において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成27年10月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成28年8月31日から施行する。

付 則

この要綱は、平成29年6月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成30年11月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、令和4年2月25日から施行する。

付 則

この要綱は、令和5年9月1日から施行する。

11 関連計画等一覧

計画名・計画期間	内 容
港区まちづくりマスタープラン 計画期間： 平成 29 年度からおおむね 20 年後	都市計画に関する基本的な方針を示す港区の街づくり分野の最上位の計画です。港区における今後のまちづくりの“道しるべ”となり、区民、企業等、行政がまちの将来像を共有するためのよりどころとなるものです。
港区バリアフリー基本構想 計画期間： 令和 3 年度～令和 12 年度	高齢者、障害者など誰もが安全に安心して快適に移動できるバリアフリー空間の計画的な整備を進めていく方針を定める基本構想です。
港区総合交通計画 計画期間： 令和 5 年度～令和 14 年度	持続可能な交通手段を確保するための地域交通に関する新たな方針を示すとともに、地域交通や新たなモビリティ、MaaS等の新たな取組を推進していくための交通に関する総合的な計画です。
港区生活安全行動計画 計画期間： 令和 6 年度～令和 8 年度	防犯、防火などの生活安全の観点から区を取り巻く課題を示し、今後の方向性と取組を具体的に明らかにするアクションプランです。
港区国際化推進プラン 計画期間： 令和 3 年度～令和 8 年度	国籍や民族が異なる人々が文化的違いを認め合いながら、一人ひとりの人権を尊重し、地域社会の一員としてともに考え、行動し、支え合う「多文化共生社会」の実現をめざす計画です。
港区産業振興プラン 計画期間： 令和 3 年度～令和 8 年度	これからの港区の産業のあるべき姿と、その実現に向けた施策を反映するとともに、社会経済情勢の変化を的確に把握し、区内中小企業の発展、地域経済の一層の活性化の実現を目的とした計画です。
港区文化芸術振興プラン 計画期間： 令和 3 年度～令和 8 年度	「多様な人と文化が共生し文化芸術を通じて皆の幸せをめざす世界に開かれた『文化の港』を将来像とし、誰もが文化芸術を通じて心ゆたかで潤いのある生活を送ることができる社会をめざす計画です。
港区生涯学習推進計画 計画期間： 令和 3 年度～令和 8 年度	区における生涯学習を推進する体制を整えるとともに、全ての人の学びの意欲に応え、学習の成果を生かせるよう自主的な学習支援に取り組むための基本的な考え方や施策を示した計画です。

<p>港区DX推進計画 計画期間： 令和3年度～令和8年度</p>	<p>区民生活に関わるデジタル環境の変化に的確に対応するとともに、港区基本計画で示された目標の実現に向けて、DXの視点から施策の方向性を示す計画です。</p>
<p>港区シティプロモーション戦略 策定時期： 平成28年度</p>	<p>港区の魅力やブランドを国内外に広く発信し、世界中から人を呼び込み、区内での回遊と消費を促し、地域を活性化させることを目的とした戦略です。地域活性化を通じて、区民の地域への愛着や誇り（シビックプライド）がより一層醸成される好循環の創出をめざします。</p>







※関連計画等の詳細は右の二次元コードからご確認いただけます。



12 シティプロモーションシンボルマーク



シティプロモーション戦略に掲げる6つの都市イメージとイメージカラー

	いまよういろ 今様色	国内外に開かれ多様性を受け入れる都市
	かきつばた 杜若	文化芸術の彩りと歴史が息づく都市
	とびいろ 鳶色	安全で安心できる都市
	ときわいろ 常盤色	街並みの美しさで魅了する都市
	るりいろ 瑠璃色	アクセス性に富んだ便利な都市
	あかだいだい 赤橙	温かい優しさと活気に包まれる都市



(港区ホームページ)